

富山市障害福祉に関する アンケート調査報告書（案）

令和8年3月

富山県 富山市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類と概要	1
3	回収状況	2
4	調査結果の表示方法	2
II	アンケート調査結果（障害のある市民）	3
1	回答者の基本属性	3
	（1）回答者	3
	（2）年齢	4
	（3）性別	5
	（4）家族の人数	6
	（5）配偶者の有無	7
	（6）住まいについて	8
	（7）主な介助者	14
2	障害の状況について	17
	（1）手帳の種類	17
	（2）差別や嫌な思いをしたことの有無	19
	（3）差別や嫌な思いをしたことの内容	21
3	就労状況や昼間の活動の場について	22
	（1）障害支援区分の状況	22
	（2）強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況	23
	（3）生活費の入手方法	24
	（4）就業状況	25
	（5）平日昼間の過ごし方	32
	（6）活動の場についての不満	33
	（7）学校・施設等に望むこと	33
4	就学等の状況や将来について	34
	（1）通園・通学の状況	34
	（2）通園・通学で困っていること	35
	（3）幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと	36
	（4）学校卒業後の希望	37

5	福祉サービスについて.....	38
	（1）障害福祉サービスの利用状況.....	38
	（2）障害福祉サービスの改善希望.....	39
	（3）手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望.....	40
	（4）同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望.....	41
6	外出について.....	42
	（1）過去1年間の外出の状況.....	42
	（2）よく利用する移動手段.....	44
	（3）外出するうえで困ること.....	45
7	災害時について.....	46
	（1）災害時に困ること.....	46
	（2）災害時に備え準備していること.....	47
	（3）避難行動要支援者支援制度の認知度.....	48
	（4）避難行動要支援者名簿に登録していない理由.....	49
8	医療について.....	50
	（1）医療で困っていること.....	50
	（2）精神科の初回診察時の年齢.....	51
	（3）病名.....	51
	（4）現在の治療状況.....	51
	（5）入院歴.....	52
9	相談先について.....	55
	（1）医療・福祉サービスや就労における相談先.....	55
10	障害に関する法律について.....	56
	（1）障害者差別解消法の周知度.....	56
	（2）改正障害者雇用促進法の周知度.....	57
12	成年後見制度について.....	58
	（1）成年後見制度の利用状況と利用希望.....	58
	（2）成年後見制度を利用しない理由.....	59
	（3）成年後見制度への関心、利用意向.....	59
13	情報入手などについて.....	60
	（1）障害福祉に関する情報の入手先.....	60
	（2）情報入手や意思疎通の際に困ること.....	61
14	福祉施策について.....	62
	（1）暮らしやすくするためにしてほしいこと.....	62

Ⅲ アンケート調査結果（障害のない市民）	63
1 回答者の基本属性	63
(1) 年齢	63
(2) 性別	63
2 お住いの地域について	64
(1) 居住年数	64
(2) 住民同士の交流機会	64
(3) 助け合いをする場合の地域の範囲	64
(4) 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと	65
(5) 特に必要と思うことはない理由	66
3 障害への理解について	67
(1) 障害種別の周知度	67
(2) 「共生社会」の周知度	67
(3) 障害者差別解消法の周知度	68
(4) 改正障害者雇用促進法の周知度	68
(5) 障害を理由とした差別への遭遇	69
(6) 遭遇した差別の内容	69
(7) 障害に対する理解の浸透度	70
(8) 障害に対する理解を深めるために必要な取組	71
4 障害のある方との関わりについて	72
(1) 周囲における障害者の有無	72
(2) 障害者への手助けについて	72
(3) 自分や家族が障害状態になる可能性の認識	74
(4) 街中で障害者に出会った時の対応	74
(5) 近所で障害のために困っている世帯への対応	75
5 障害のある方の社会参加について	76
(1) 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況	76
(2) 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること	77
(3) 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと	78
6 障害のある方の地域生活について	79
(1) 住みやすさについて	79
(2) 障害のある方の地域移行について	80
7 ボランティアについて	82
(1) ボランティアの関心度	82
(2) ボランティア活動への参加の有無	82

(3) 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向.....	82
(4) 障害のある方に関わるボランティアを活性化するために必要なこと.....	84
8 障害のある方の権利擁護について.....	85
(1) 成年後見制度の認知度.....	85
(2) 障害者虐待についての通報義務について.....	85
IV 自由記載意見.....	86
1 自由記載意見.....	86
(1) 受けた差別やいやな思いの具体的な内容.....	86
(2) 障害者施策に関するご意見・要望等.....	90
V 資料編.....	95
1 アンケート調査票（障害のある市民-身体障害）.....	95
2 アンケート調査票（障害のある市民-知的障害）.....	101
3 アンケート調査票（障害のある市民-精神障害）.....	107
4 アンケート調査票（障害のある市民-障害児）.....	113
5 アンケート調査票（障害のない市民）.....	119

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、本市にお住まいの障害のある市民及び障害のない市民の方に「第5次富山市障害者計画」及び「第8期富山市障害福祉計画・第4期障害児福祉計画」策定の基礎資料とすることを目的に、現在の生活状況や意見・要望等をお聞きするために実施しました。

2 調査の種類と概要

調査の種類と概要は以下のとおりです。

■ 調査の種類と概要

①調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（身体障害者手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する身体障害者手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	3,000人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	身体障害者手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
②調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（療育手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する療育手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	療育手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
③調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（精神保健福祉手帳保持者）」	
調査対象者	本市に居住する精神保健福祉手帳保持者（満18歳以上の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	精神保健福祉手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
④調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害児）」	
調査対象者	本市に居住する身体障害者福祉手帳及び療育手帳保持者（満18歳未満の者）
調査票配布数	500人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	身体障害者福祉手帳及び療育手帳を保持する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収
⑤調査票「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害のない市民）」	
調査対象者	本市に居住する障害のない市民（満18歳以上の者）
調査票配布数	1,000人
調査期間	令和7年11月27日～令和7年12月15日
調査方法	本市に居住する者の中から無作為抽出し、郵送による配布・回収

3 回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布・回収状況

調査票区分	配布数	回収数	回収率
①「富山市障害福祉に関するアンケート調査（身体障害者手帳保持者）」	3,000人	1,767人	58.9%
②「富山市障害福祉に関するアンケート調査（療育手帳保持者）」	500人	265人	53.0%
③「富山市障害福祉に関するアンケート調査（精神保健福祉手帳保持者）」	500人	248人	49.6%
④「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害児）」	500人	292人	58.4%
⑤「富山市障害福祉に関するアンケート調査（障害のない市民）」	1,000人	454人	45.4%

4 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

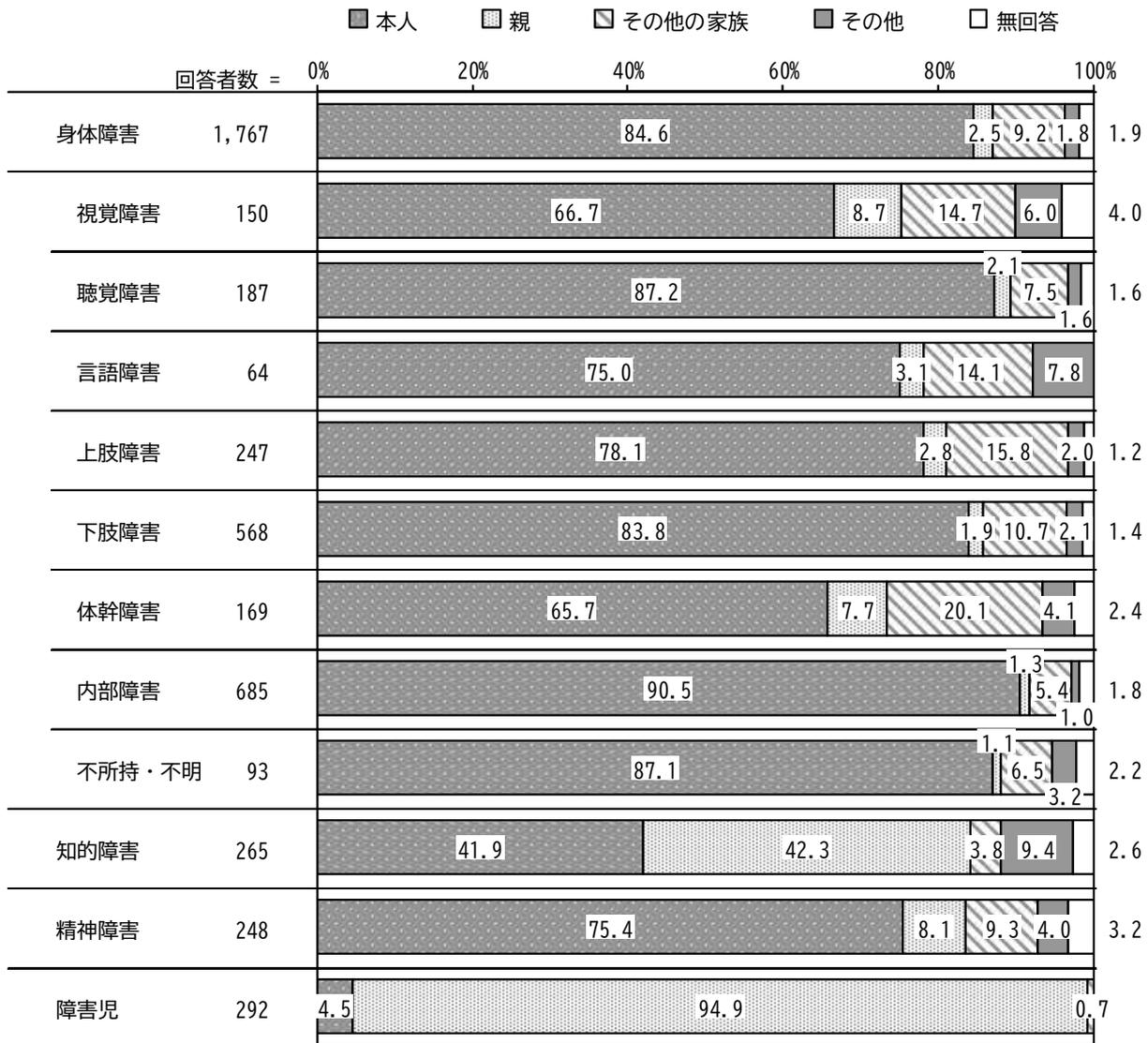
Ⅱ アンケート調査結果（障害のある市民）

1 回答者の基本属性

(1) 回答者

回答者の属性は以下の通りです。

■ 回答者[単数回答]

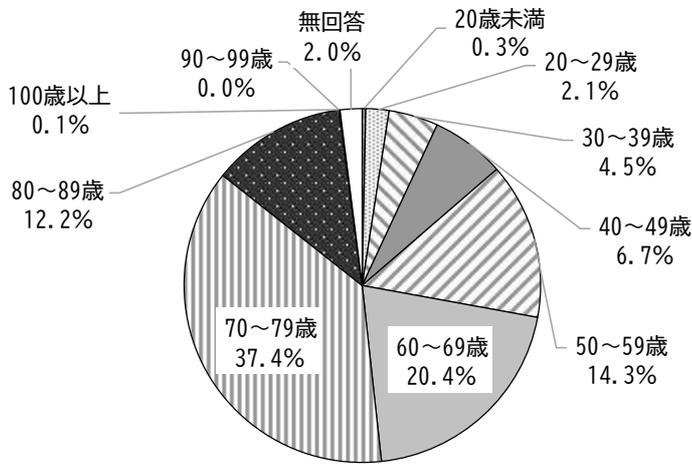


※「言語障害」は音声機能・そしゃく機能障害も含まれています。以降も同じ意味で用いています。

(2) 年齢

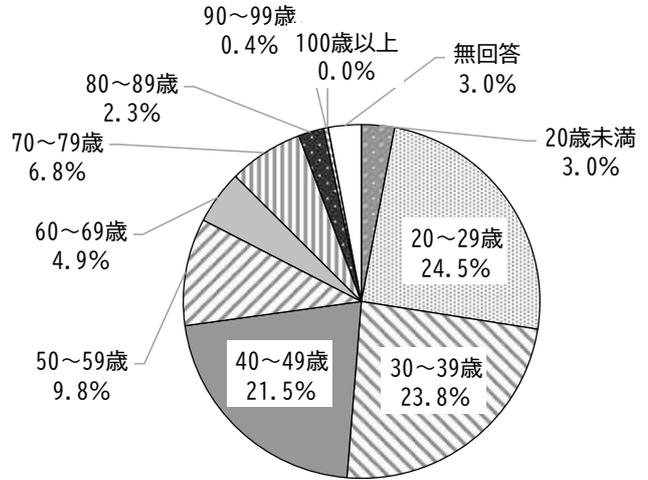
回答者の年齢は以下の通りです。

■ 年齢（身体障害）[単数回答]



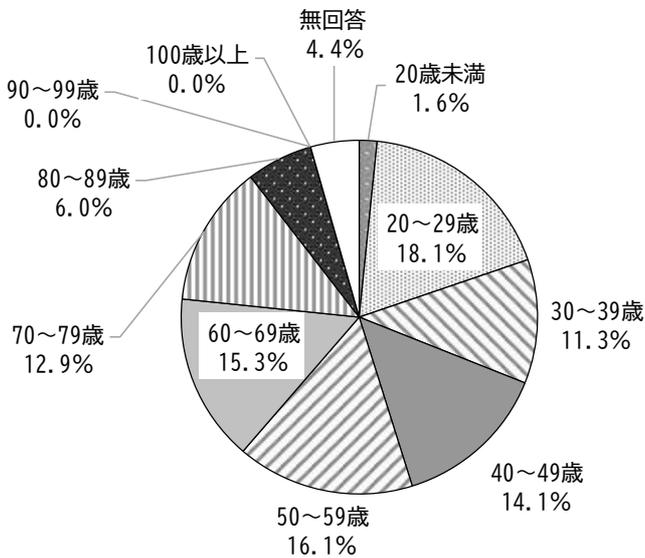
回答者数 = 1,767

■ 年齢（知的障害）[単数回答]



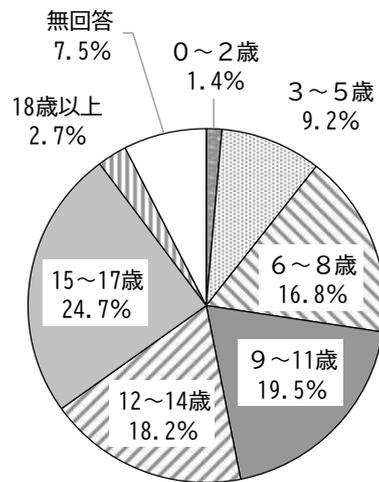
回答者数 = 265

■ 年齢（精神障害）[単数回答]



回答者数 = 248

■ 年齢（障害児）[単数回答]

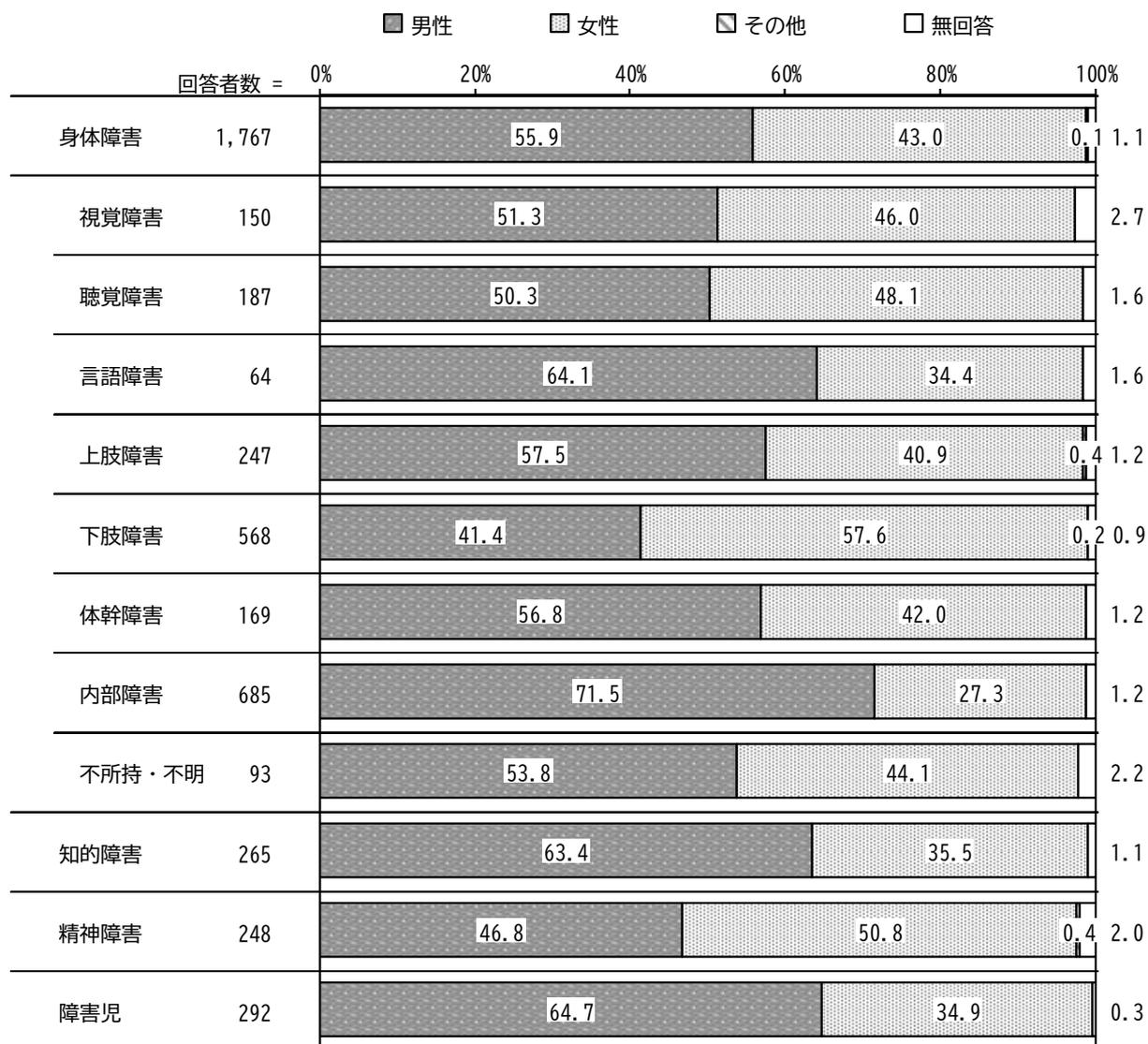


回答者数 = 292

(3) 性別

回答者の性別は以下の通りです。

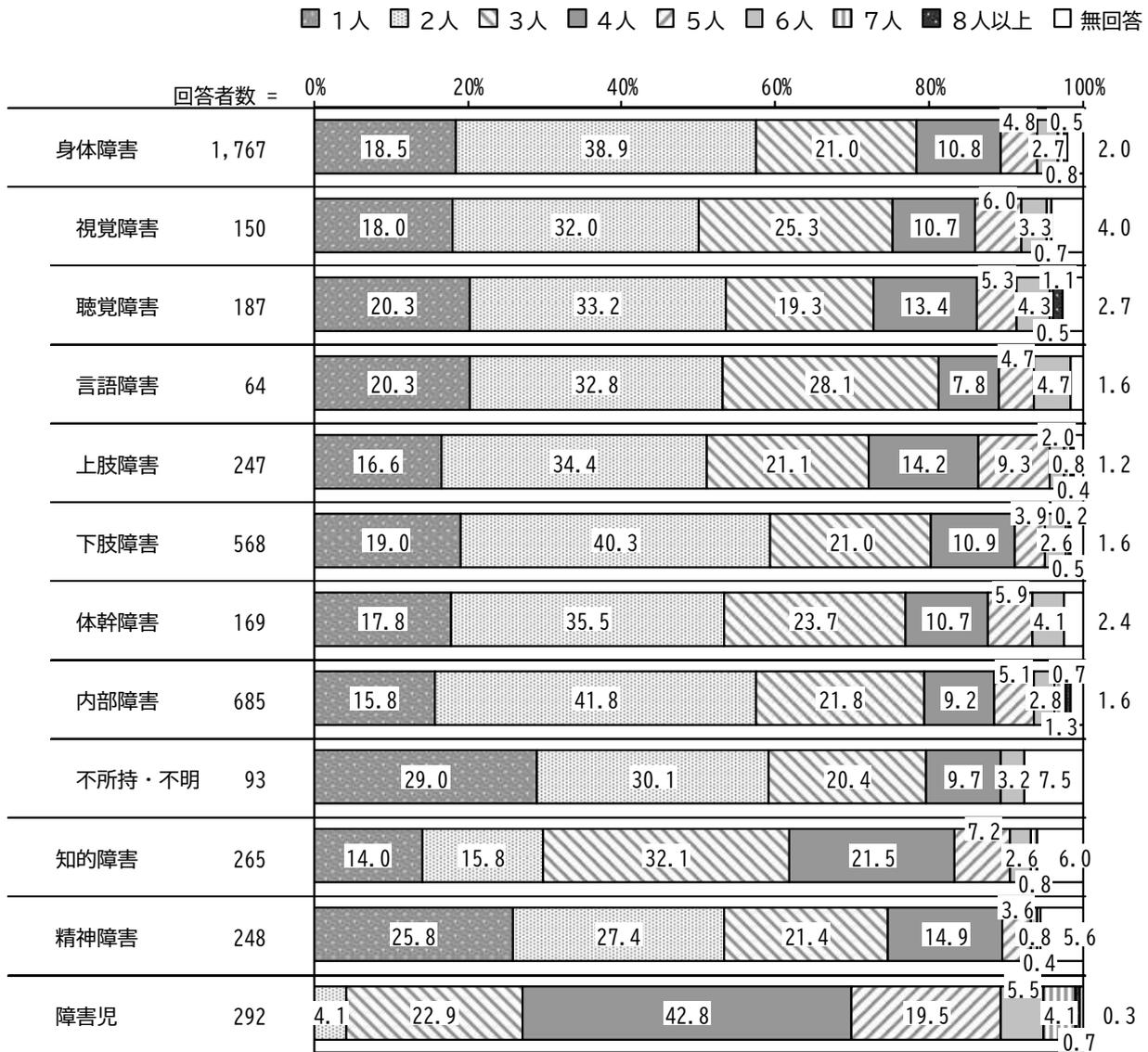
■ 性別[単数回答]



(4) 家族の人数

家族の人数をみると、身体障害、精神障害で「2人」、知的障害で「3人」、障害児で「4人」の割合が高くなっています。また、精神障害は、他の障害と比較して「1人」の割合が高くなっています。

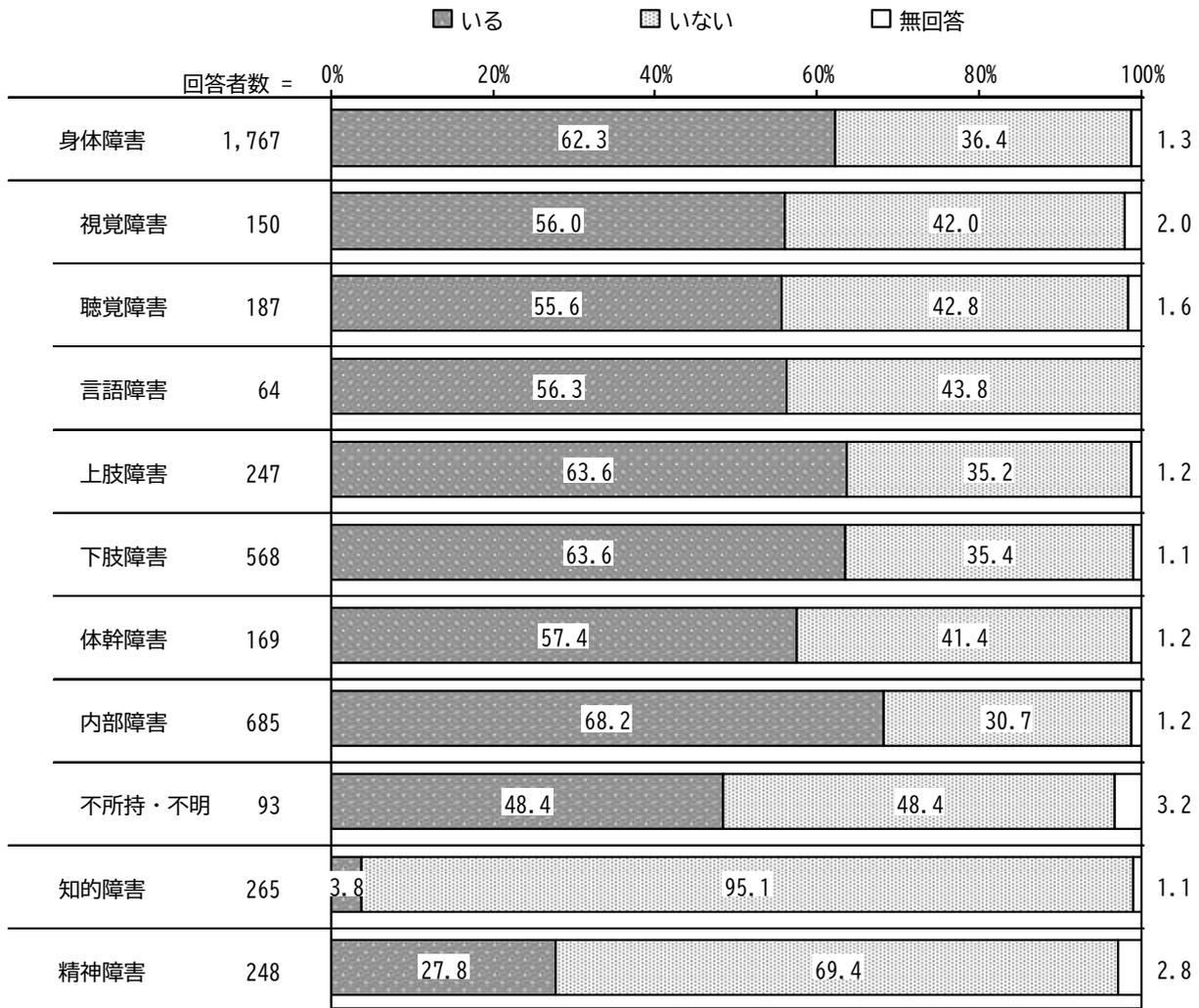
■ 家族の人数[単数回答]



(5) 配偶者の有無

配偶者の有無をみると、身体障害は約6割、精神障害は約3割程度が「いる」と回答しています。

■ 配偶者の有無[単数回答]

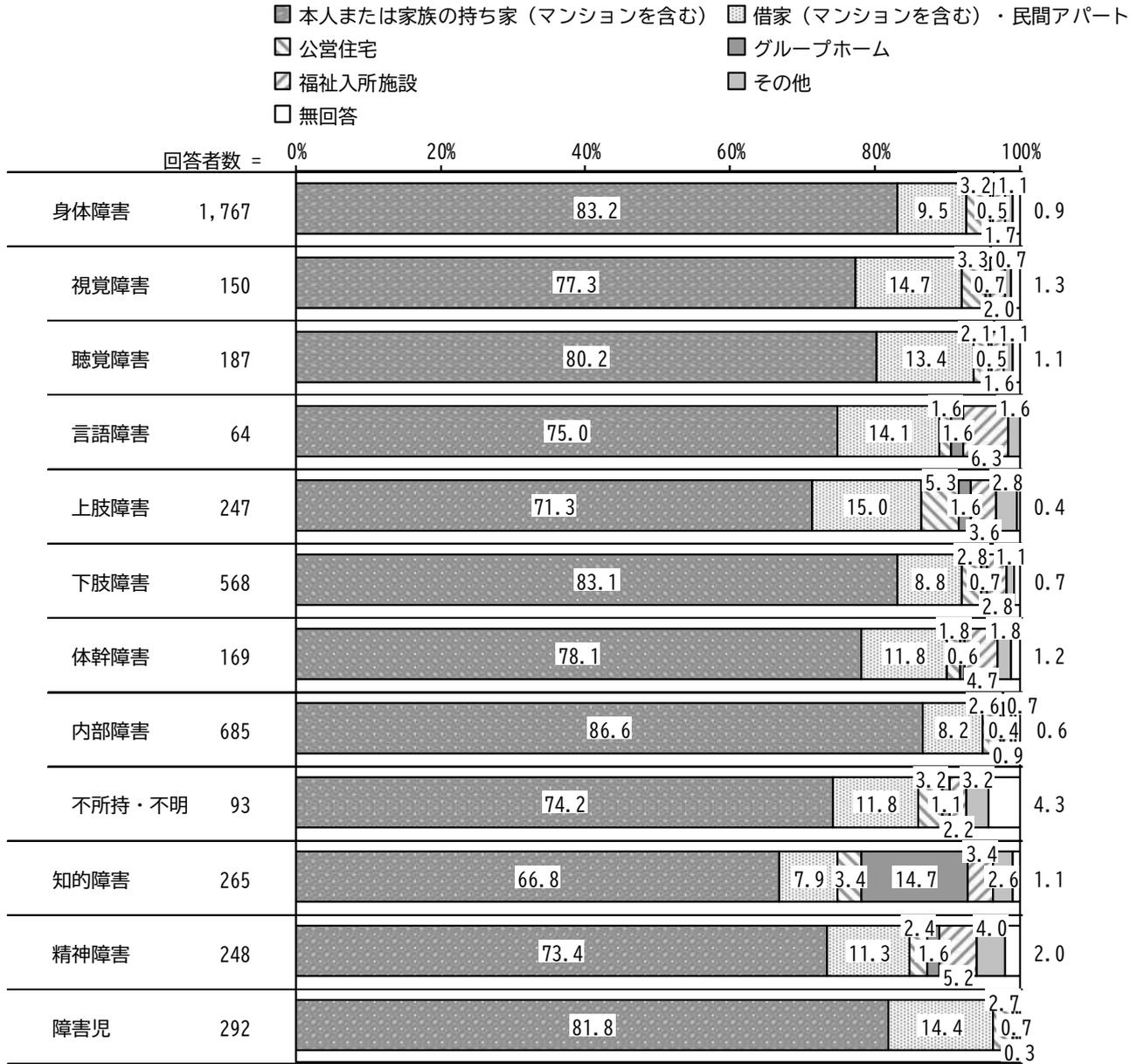


(6) 住まいについて

① 現在の住まい

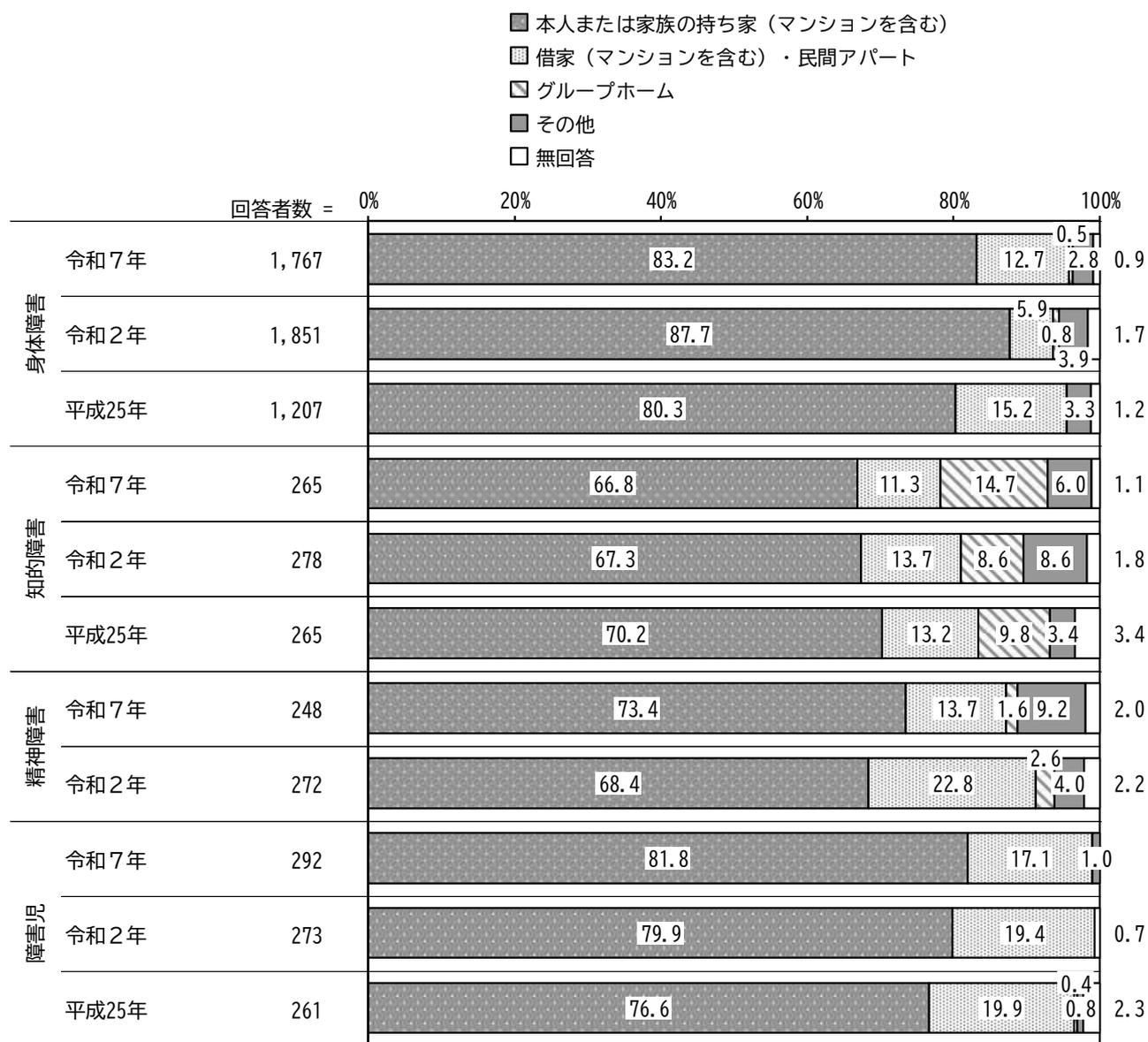
現在の住まいをみると、すべての障害で「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」が最も多くなっています。また、知的障害は、他の障害と比較して「グループホーム」の割合が高くなっています。

■ 現在の住まい[単数回答]



現在の住まいの経年比較をみると、身体障害は「持ち家（マンションを含む）」が減少し「借家（マンションを含む）・民間アパート」が増加、知的障害は「持ち家（マンションを含む）」、「借家（マンションを含む）・民間アパート」が減少し「グループホーム」が増加、精神障害、障害児は「借家（マンションを含む）・民間アパート」が減少し「持ち家（マンションを含む）」が増加しています。

■ 現在の住まい[単数回答]（経年比較）

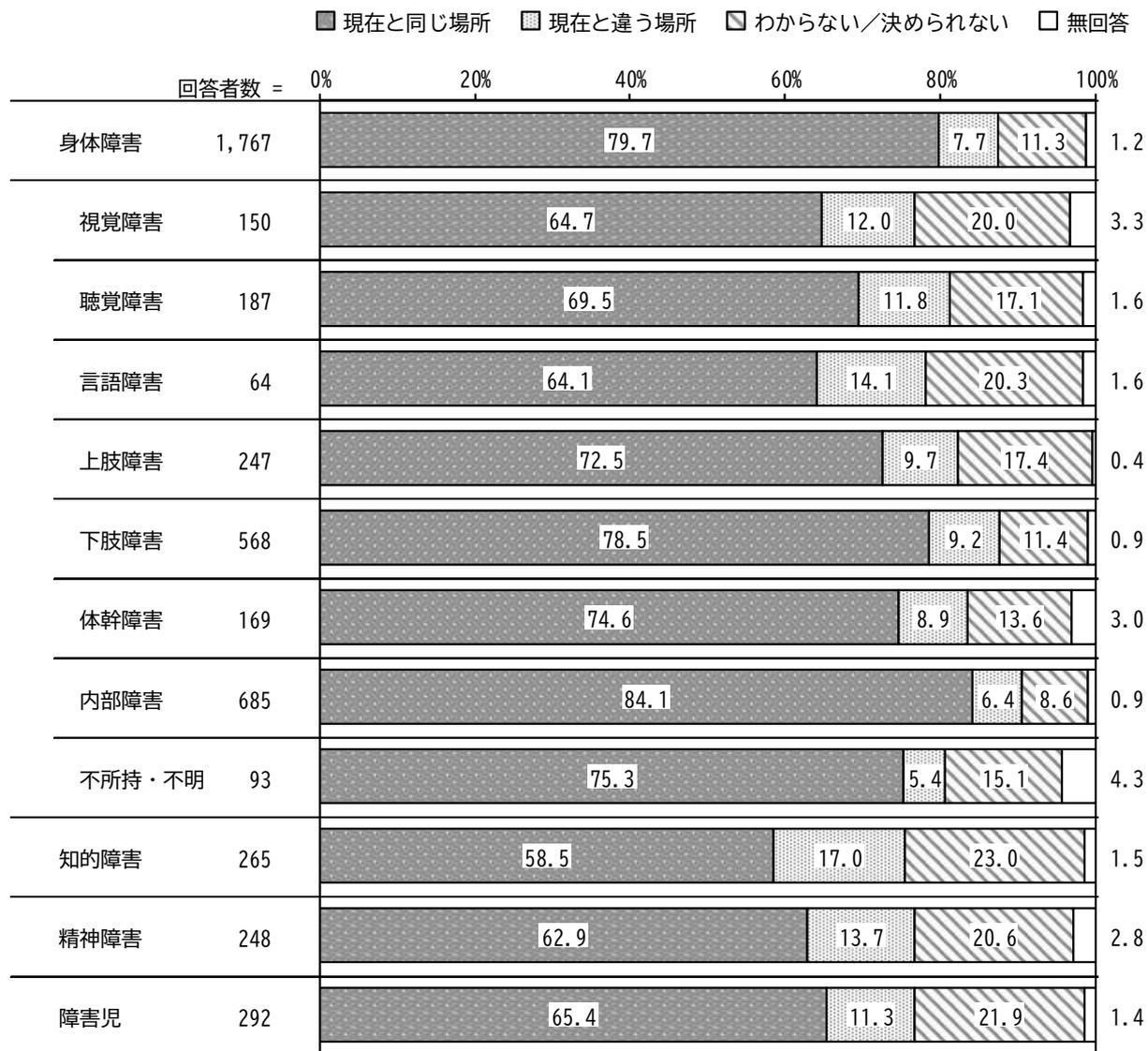


※「借家」には、「公営住宅」、「その他」には「福祉入所施設」を含めてあります。
 ※精神障害の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

② 住まいの希望

住まいの希望をみると、すべての障害で「現在と同じ場所」が最も多くなっており、知的障害や精神障害は、他の障害と比較して「現在と違う場所」の割合が高くなっています。

■ 住まいの希望[単数回答]



③ 住まいの希望（現在以外の具体的な場所）

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の具体的な場所をみると、身体障害、障害児で「本人または家族の持ち家（マンションを含む）」、知的障害で「グループホーム」、「福祉入所施設」、精神障害で「借家（マンションを含む）・民間アパート」の割合が高くなっています。

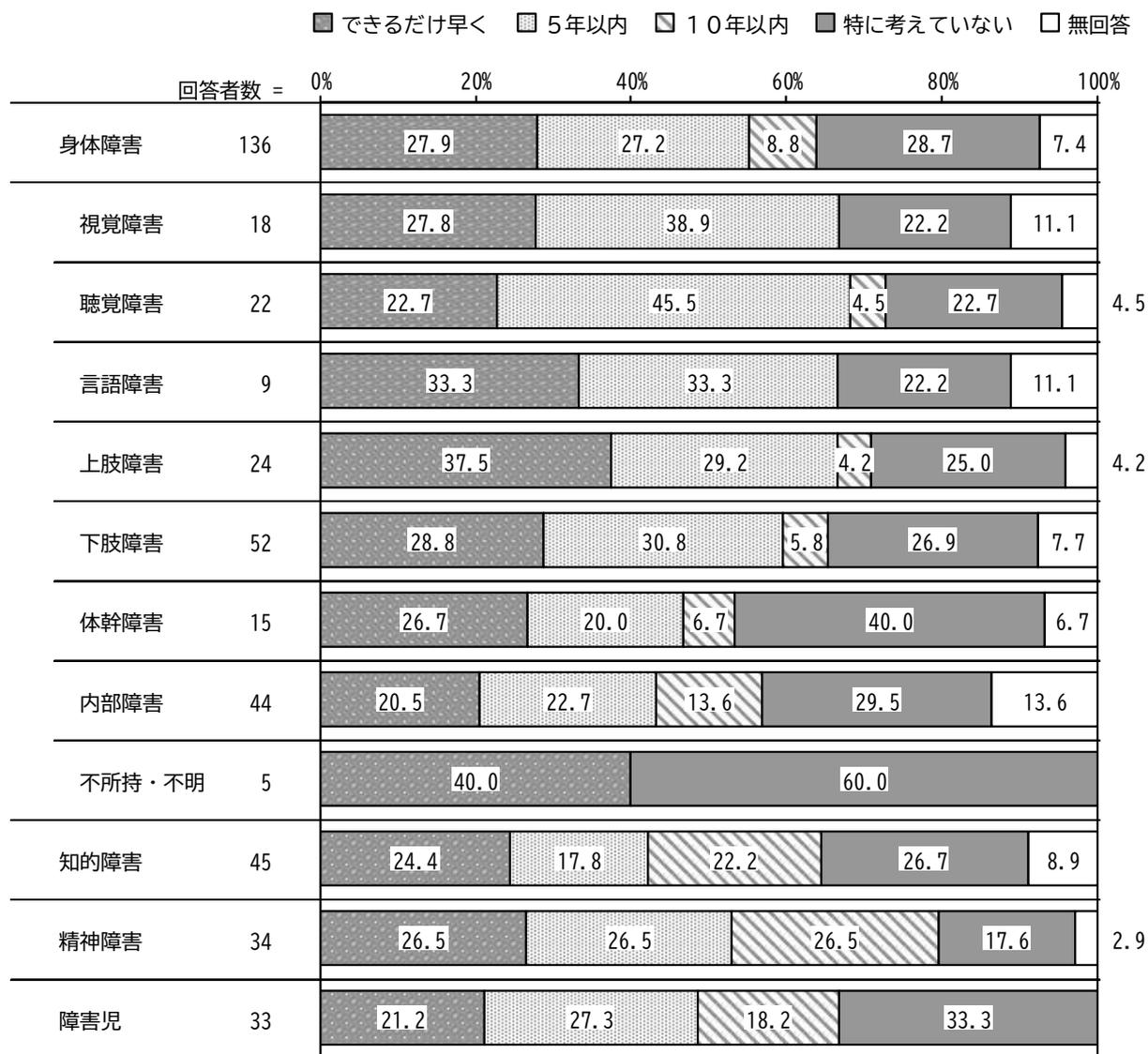
■ 住まいの希望（現在以外の具体的な場所）[単数回答]



④ 希望の住まいへの移行時期

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の希望の住まいへの移行時期をみると、身体障害と精神障害で「できるだけ早く」と「5年以内」を合わせて5割以上と割合が高くなっています。

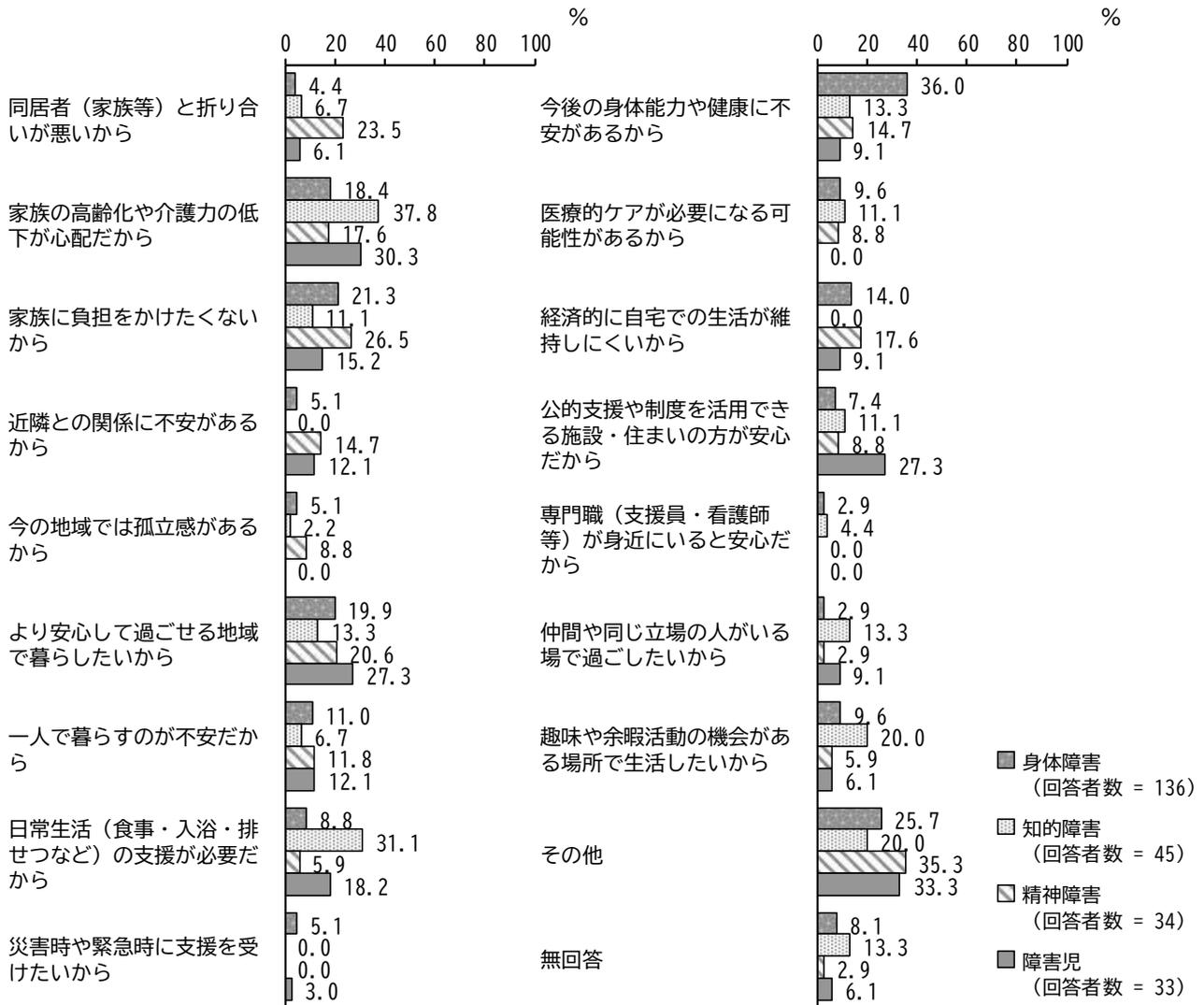
■ 希望の住まいへの移行時期[単数回答]



⑤ 現在と違う場所で生活したい理由

住まいの希望で「現在と違う場所」と回答した方の違う場所で生活したい理由をみると、身体障害で「今後の身体能力や健康に不安があるから」、知的障害で「家族の高齢化や介護力の低下が心配だから」「日常生活（食事・入浴・排せつなど）の支援が必要だから」「仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから」「趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから」、精神障害で「同居者（家族等）と折り合いが悪いから」「家族に負担をかけたくないから」「近隣との関係に不安があるから」「経済的に自宅での生活が維持しにくいから」、障害児で「より安心して過ごせる地域で暮らしたいから」「公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから」の割合が高くなっています。

■ 現在と違う場所で生活したい理由[複数回答]

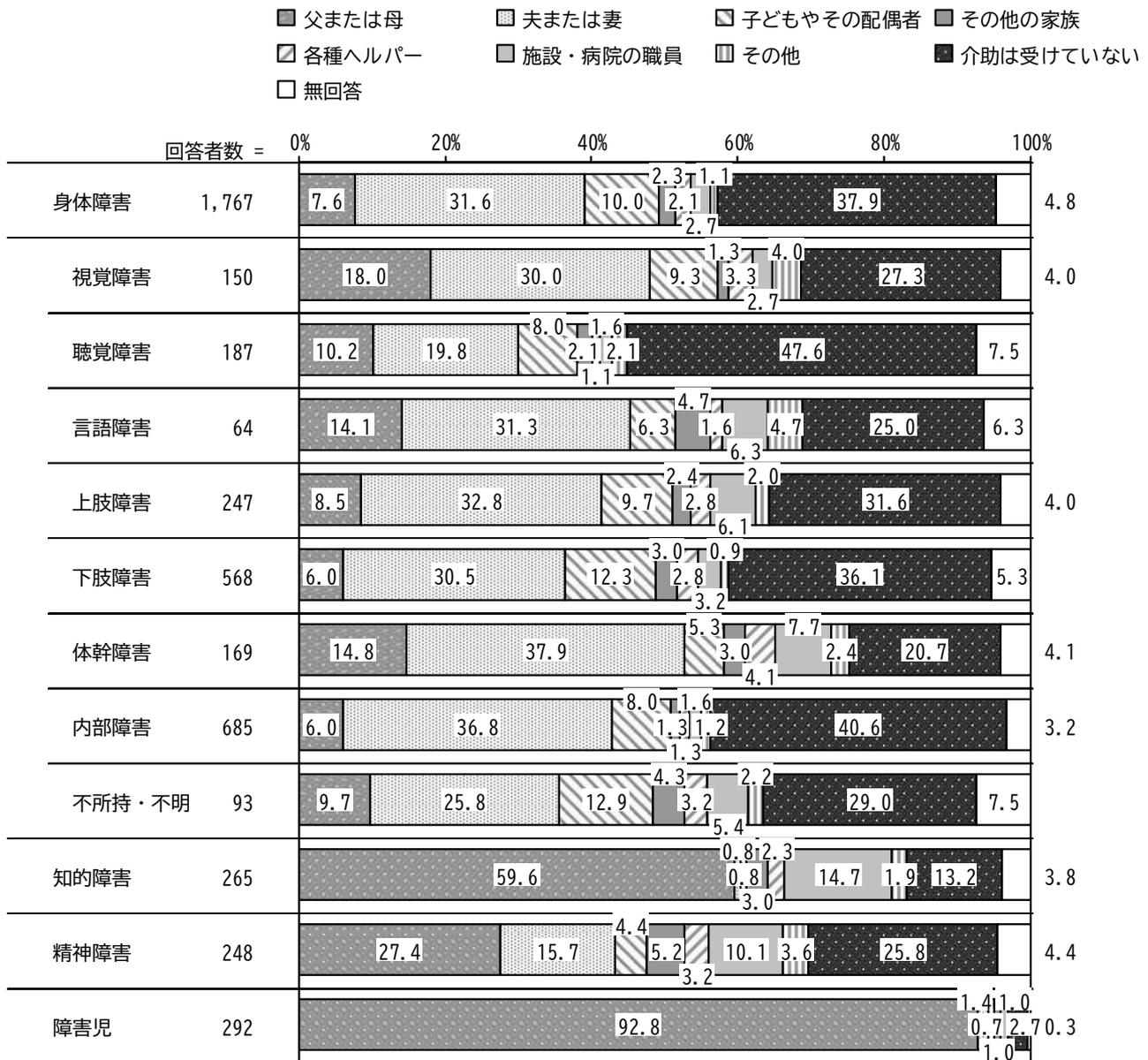


(7) 主な介助者

①主な介助者

主な介助者を見ると、身体障害で「夫または妻」、知的障害、精神障害、障害児で「父または母」の割合が高くなっています。

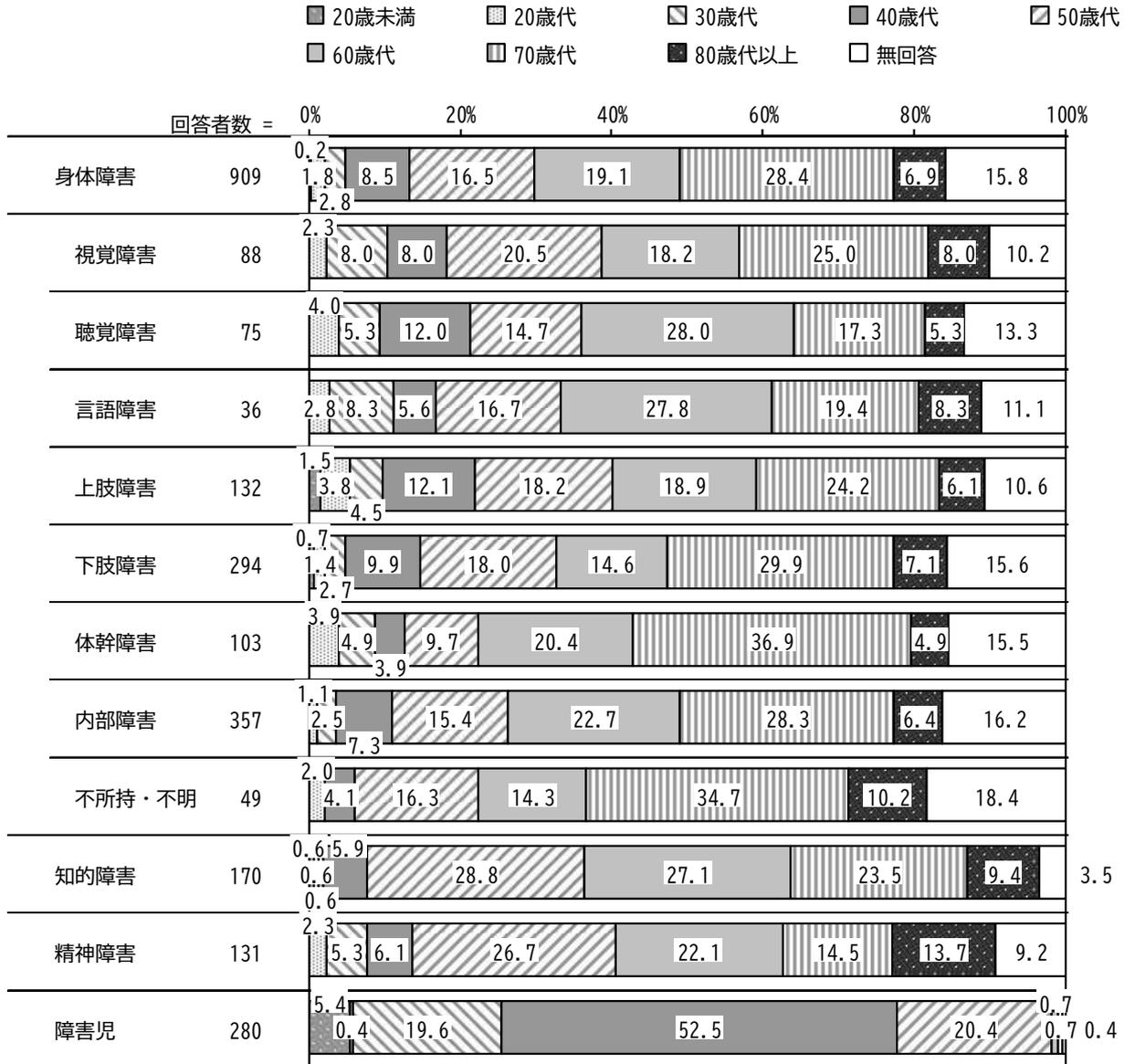
■ 主な介助者[単数回答]



② 主な介助者の年齢

主な介助者の年齢をみると、身体障害で「70 歳代」、知的障害で「50 歳代」「60 歳代」、精神障害で「50 歳代」、障害児で「40 歳代」の割合が高くなっています。

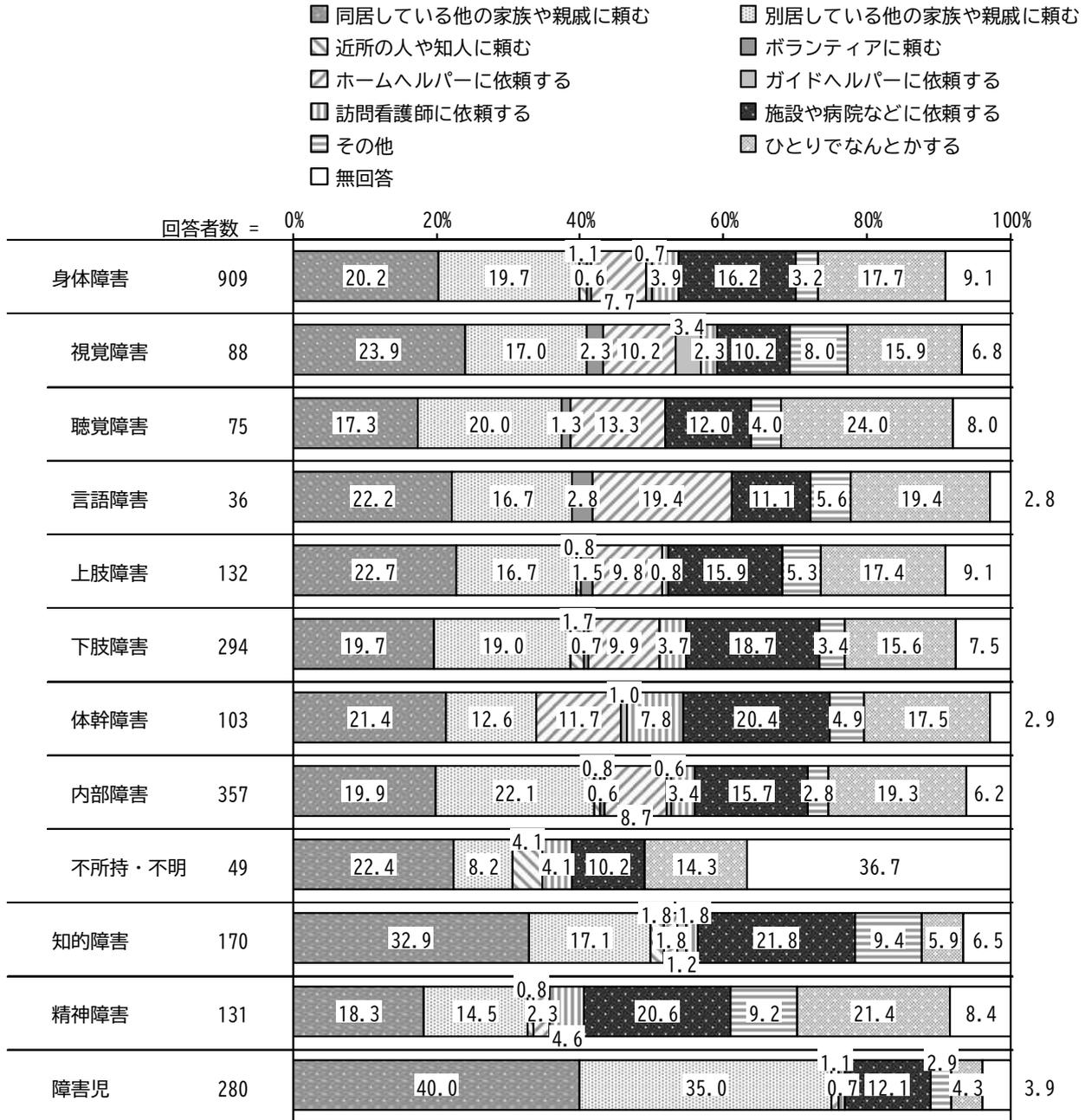
■ 主な介助者の年齢[単数回答]



③ 家族以外の介助者（家族から介助を受けられない場合）

主な介助者が家族であると回答した方で、家族から介助を受けられない場合の介助者をみると、身体障害、障害児で「同居している他の家族や親戚に頼む」「別居している他の家族や親戚に頼む」、知的障害で「同居している他の家族や親戚に頼む」「施設や病院などに依頼する」、精神障害で「施設や病院などに依頼する」「ひとりでなんとかする」の割合が高くなっています。

■ 家族以外の介助者（家族から介助を受けられない場合）[単数回答]



2 障害の状況について

(1) 手帳の種類

各障害ごとの手帳の種類は以下の通りです。

■ 手帳の種類[単数回答] (身体障害)

区 分	回答数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	持っていない	無回答
身体障害	1767	20.9	13.3	27.0	26.5	3.6	6.5	0.2	1.8	0.2
視覚障害	150	16.0	28.7	10.0	5.3	9.3	4.7	-	26.0	0.0
聴覚障害	187	-	16.6	8.0	15.5	-	36.4	-	23.0	0.5
音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	64	-	-	18.8	12.5	-	-	-	68.8	0.0
肢体不自由(上肢)	247	10.9	27.1	19.0	17.0	4.0	6.9	3.2	11.3	0.4
肢体不自由(下肢)	568	6.9	11.4	24.1	42.4	4.9	4.8	1.1	3.9	0.5
肢体不自由(体幹)	169	24.9	24.9	13.6	6.5	8.3	1.8	-	18.9	1.2
内部障害	685	36.1	1.6	36.4	21.8	0.1	-	-	4.1	0.0
持っていない・わからない	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	167	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※複数の障害・等級を持つ人や持っていない人や無回答がいるため、合計が100%にならない場合があります。

■ 手帳の種類[単数回答] (知的障害・障害児)

	回答数	A	B	無回答
知的障害	265	30.2	66.8	3.0
障害児	292	24.0	56.8	19.2

■ 手帳の種類[単数回答] (障害児)

区 分	回答数	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	持っていない	無回答
障 害 児	292	15.4	5.5	3.8	1.7	0.0	0.3	-	8.9	0.0
視覚障害	12	0.0	8.3	-	8.3	-	-	-	83.3	0.0
聴覚障害	22	-	22.7	9.1	9.1	-	9.1	-	50.0	0.0
音声機能・ 言語機能・ そしゃく機能 障害	9	-	-	0.0	0.0	-	-	-	100.0	0.0
肢体不自由 (上肢)	23	21.7	26.1	4.3	4.3	0.0	4.3	0.0	39.1	0.0
肢体不自由 (下肢)	28	32.1	25.0	0.0	7.1	0.0	3.6	0.0	32.1	0.0
肢体不自由 (体幹)	38	57.9	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0	-	26.3	0.0
内部障害	28	32.1	3.6	25.0	3.6	0.0	-	-	35.7	0.0
持っていない・わからない	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	188	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※複数の障害・等級を持つ人や持っていない人や無回答がいるため、合計が100%にならない場合があります。

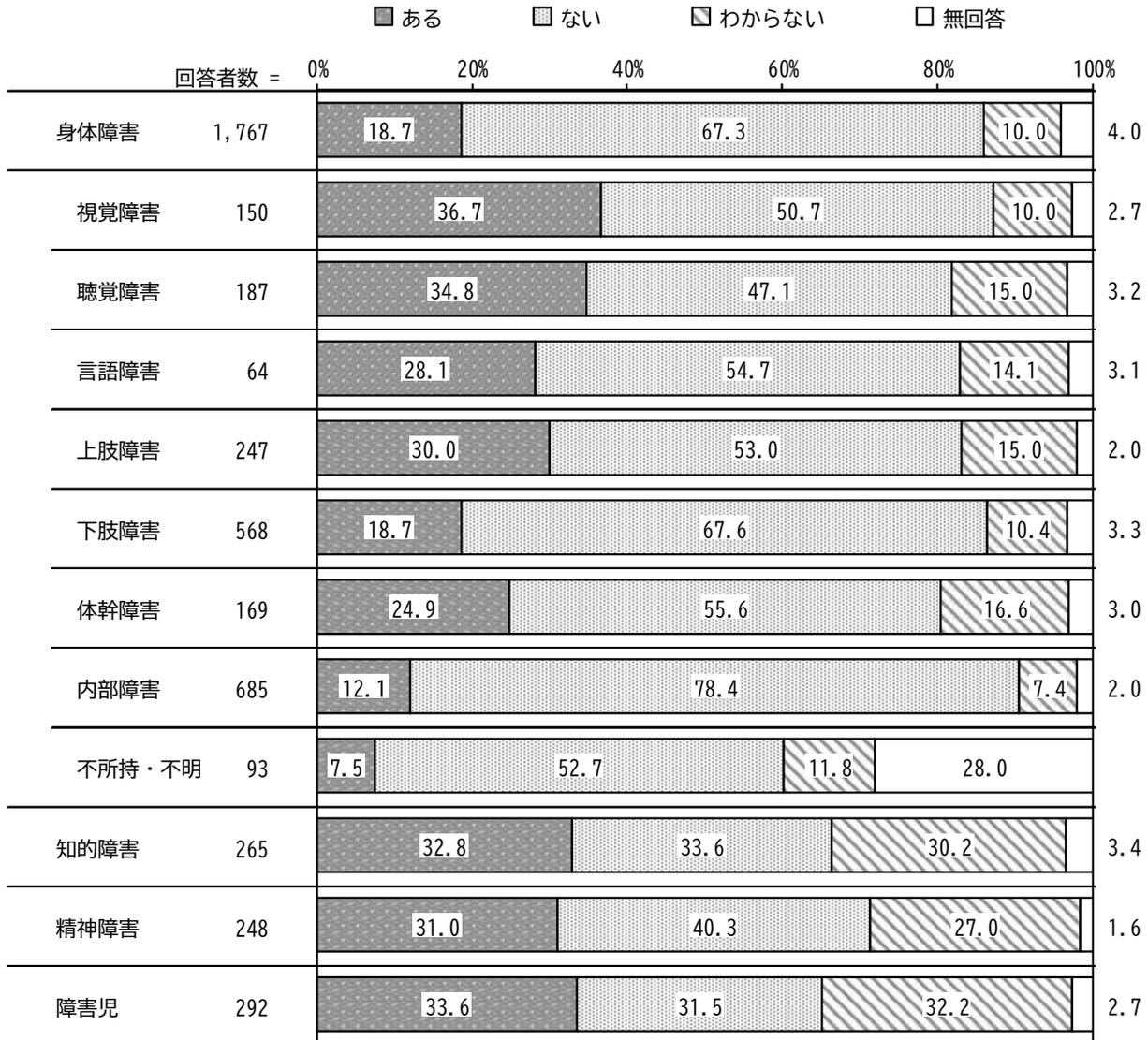
■ 手帳の種類[単数回答] (精神障害)

	回答数	1級	2級	3級	無回答
精 神 障 害	248	6.9	58.5	29.8	4.8

(2) 差別や嫌な思いをしたことの有無

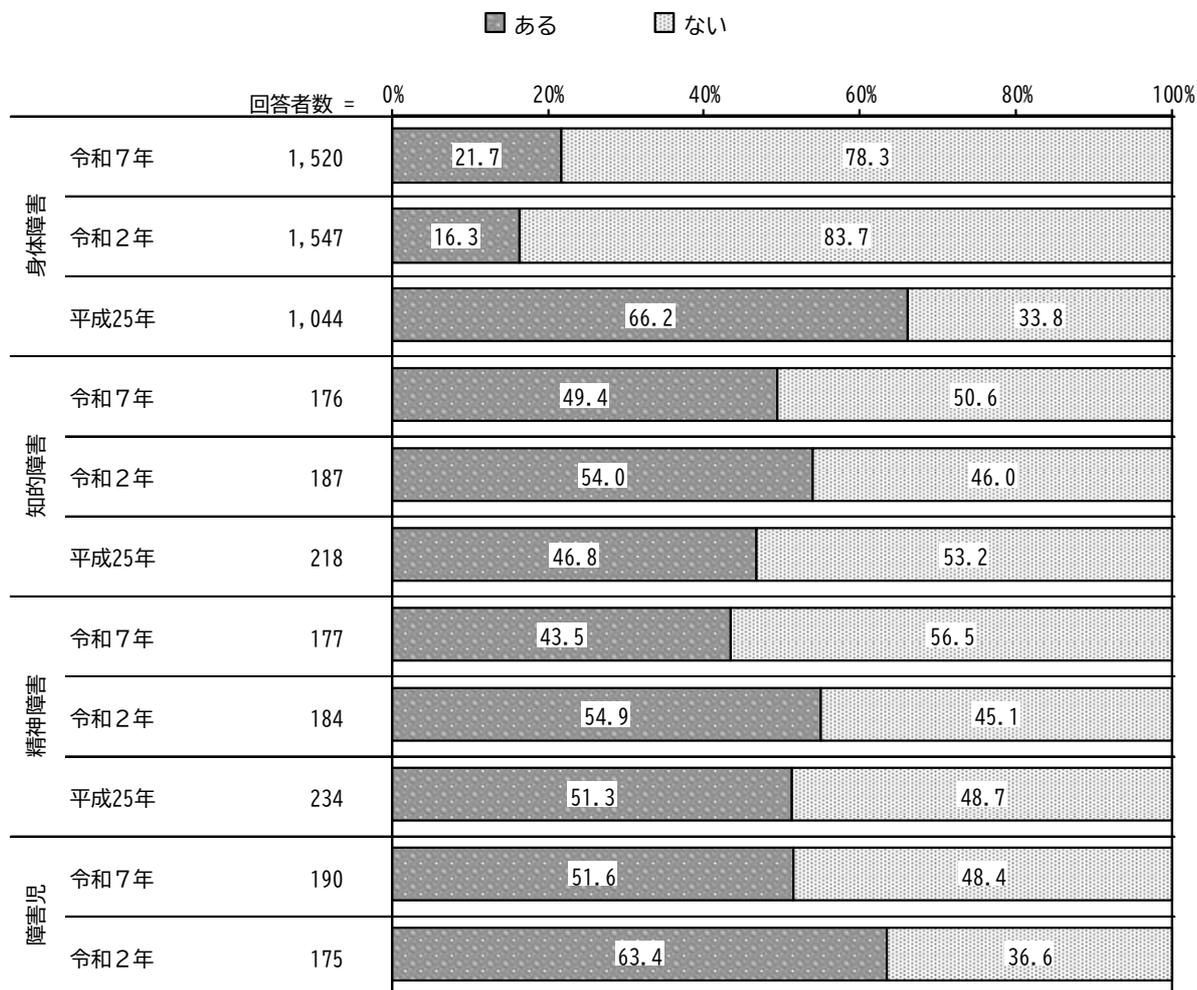
差別や嫌な思いをしたことの有無をみると、身体障害と比較して、知覚障害、精神障害、障害児で「ある」の割合が高くなっています。また、身体障害の中でも、視覚障害、聴覚障害でも「ある」の割合が高くなっています。

■ 差別や嫌な思いをしたことの有無[単数回答]



差別や嫌な思いをしたことの有無の経年比較をみると、身体障害は「ある」が増加し、知的障害、精神障害、障害児は「ある」が減少しています。

■ 差別や嫌な思いをしたことの有無[単数回答]（経年比較）



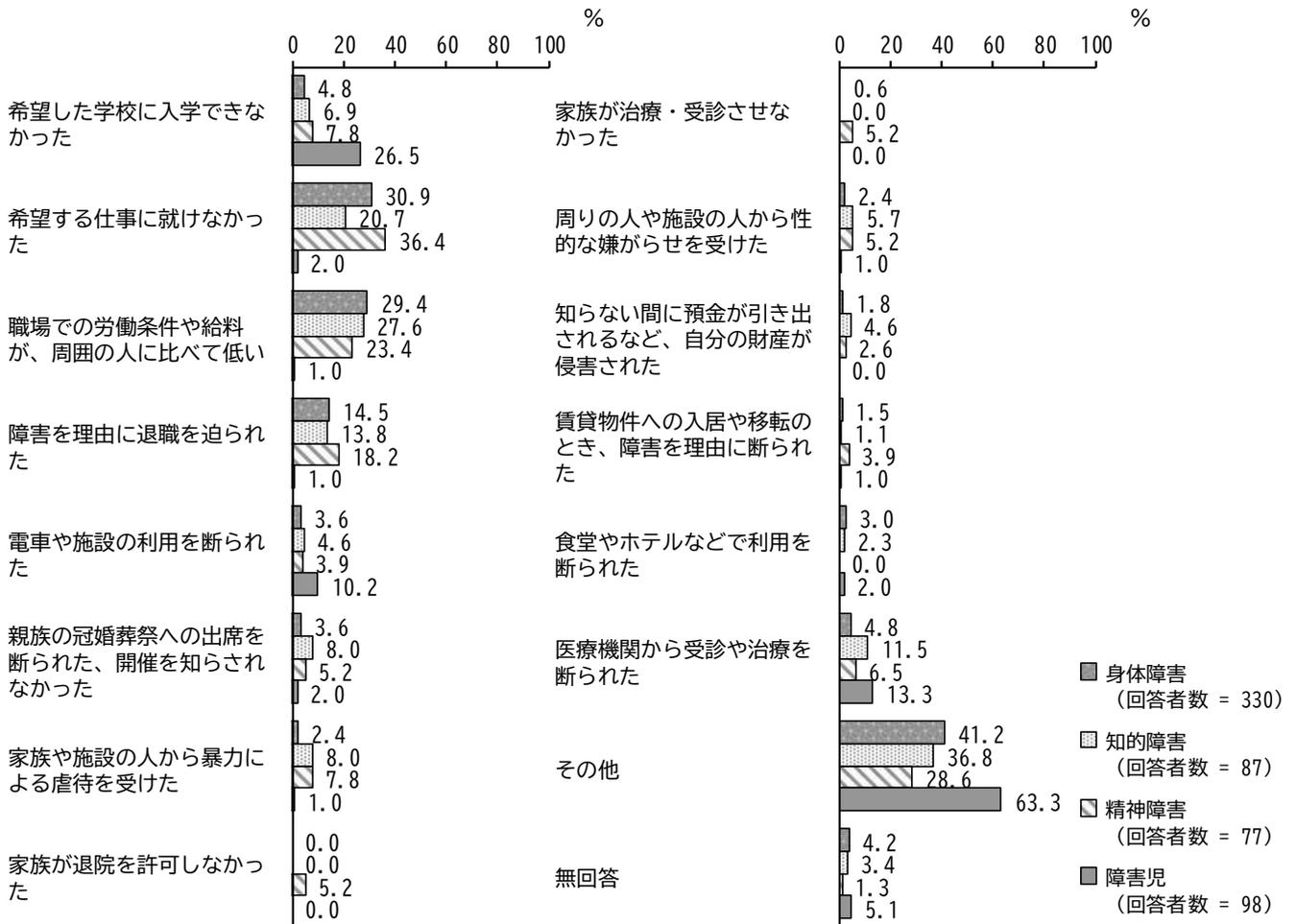
※わからない、無回答を除いて計算しています。

※障害児の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

(3) 差別や嫌な思いをしたことの内容

差別や嫌な思いをしたことがあると回答した方の具体的な内容をみると、障害児を除いたすべての障害で「希望する仕事に就けなかった」「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」の割合が高くなっています。また、障害児では「希望した学校に入学できなかった」の割合が高くなっています。

■ 差別や嫌な思いをしたことの内容 [複数回答]

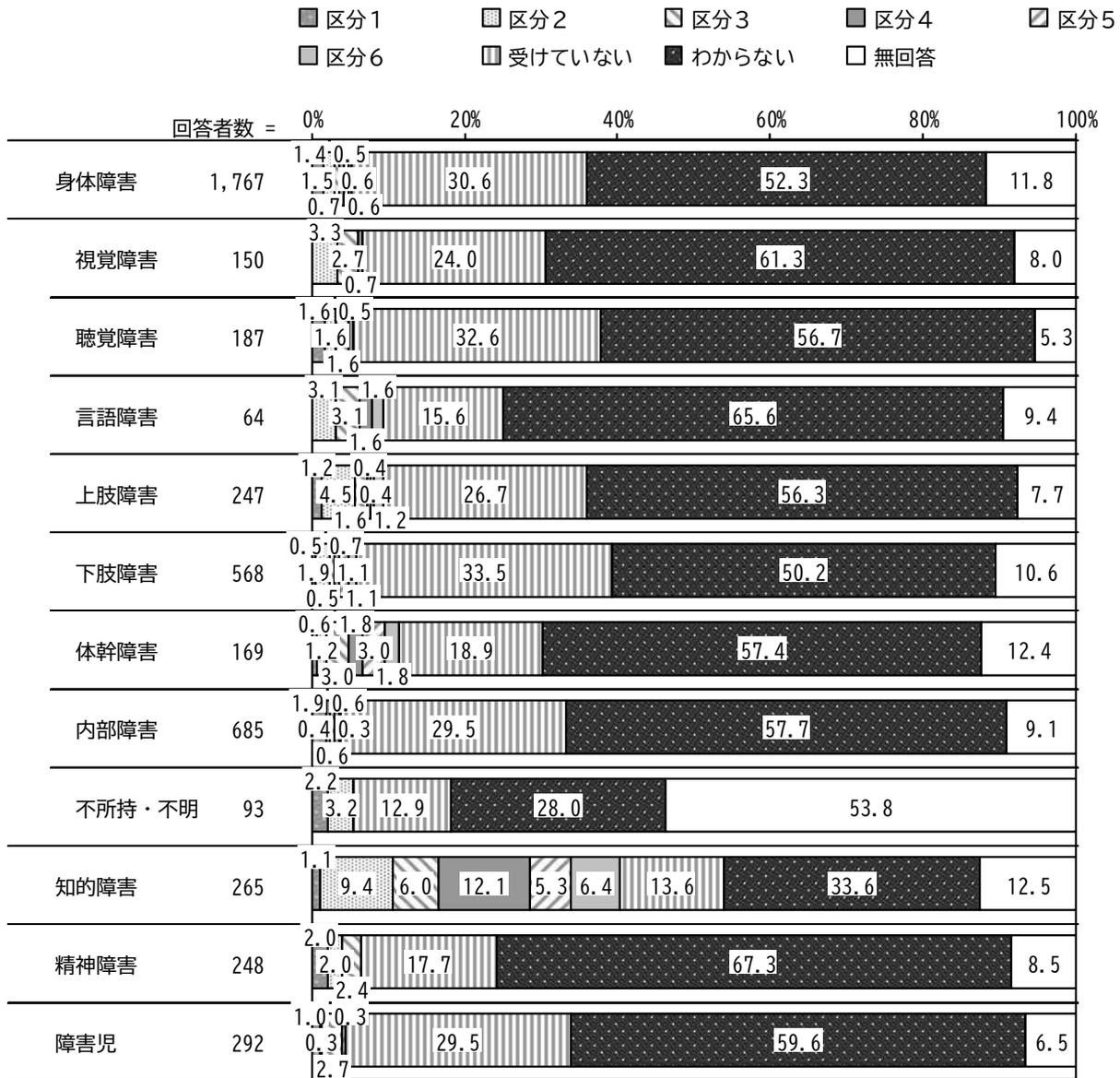


3 就労状況や昼間の活動の場について

(1) 障害支援区分の状況

障害支援区分の認定状況をみると、「わからない」が多いものの、身体障害、精神障害、障害児では1割未満、知的障害は約4割程度が認定を受けていると回答しています。

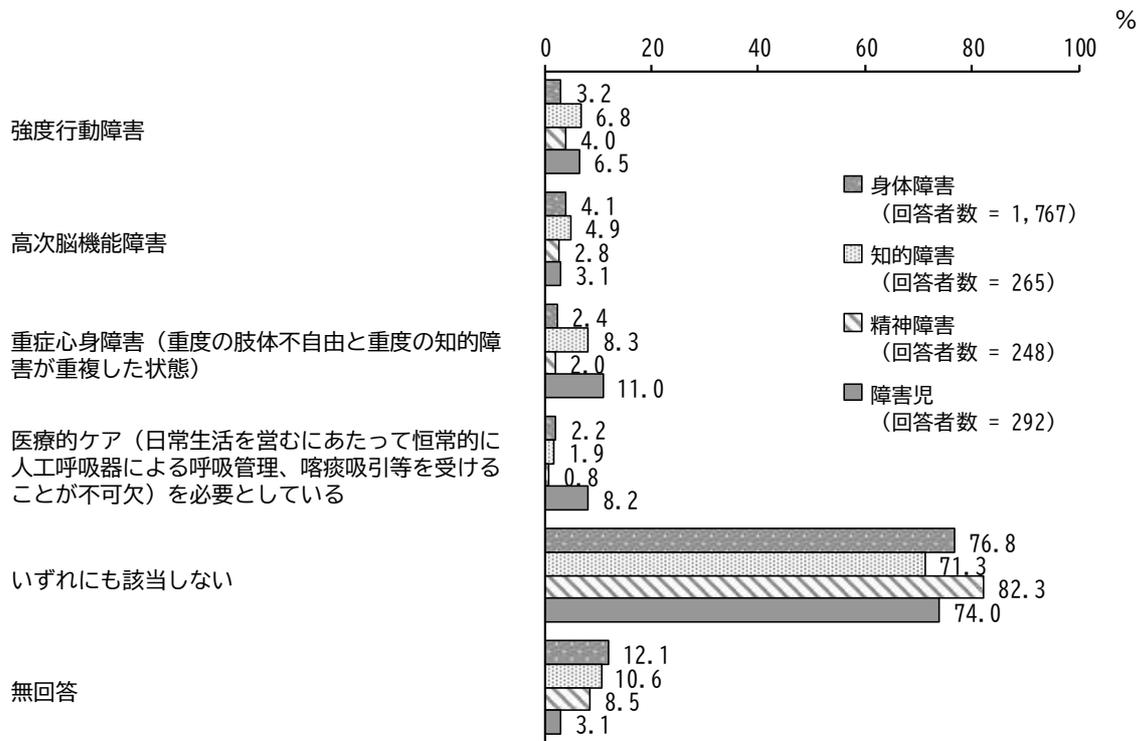
■ 障害支援区分[単数回答]



(2) 強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況

強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況をみると、「いずれにも該当しない」が多いものの、知的障害、障害児で「重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態）」の割合が高くなっています。

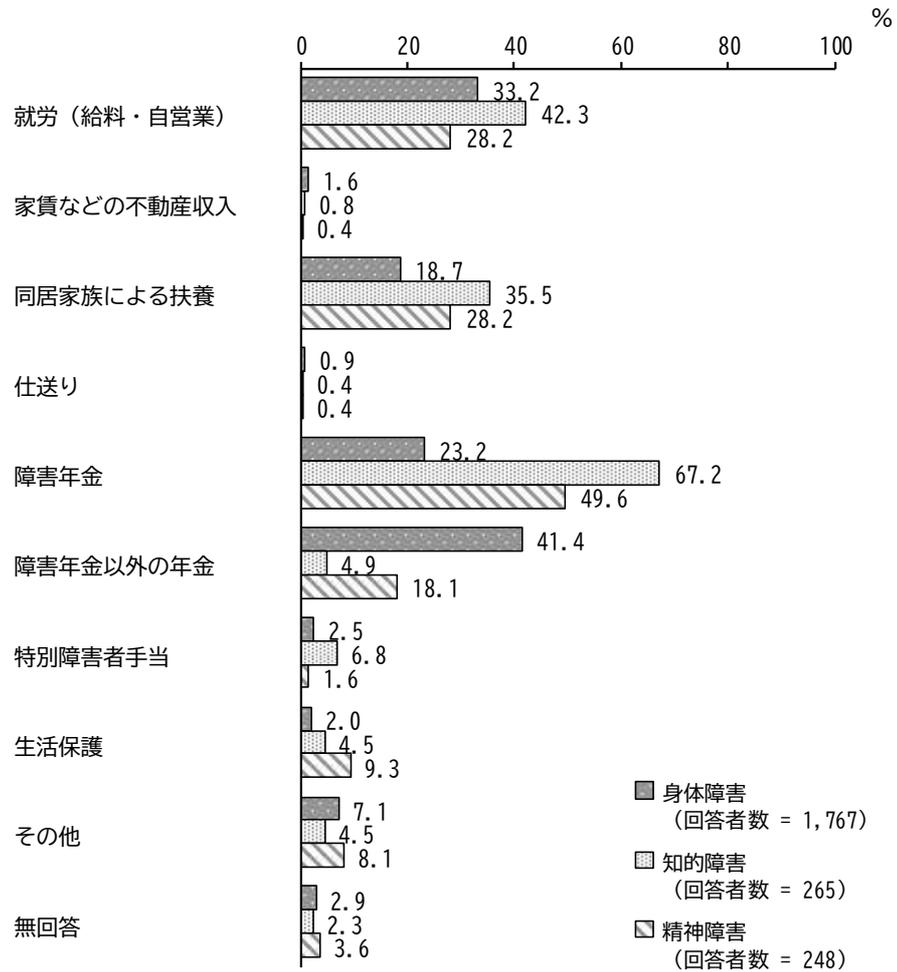
■ 強度行動障害・高次脳機能障害等の該当状況[複数回答]



(3) 生活費の入手方法

生活費の入手方法をみると、身体障害で「障害年金以外の年金」、知的障害、精神障害で「障害年金」の割合が高くなっています。

■ 生活費の入手方法[複数回答]

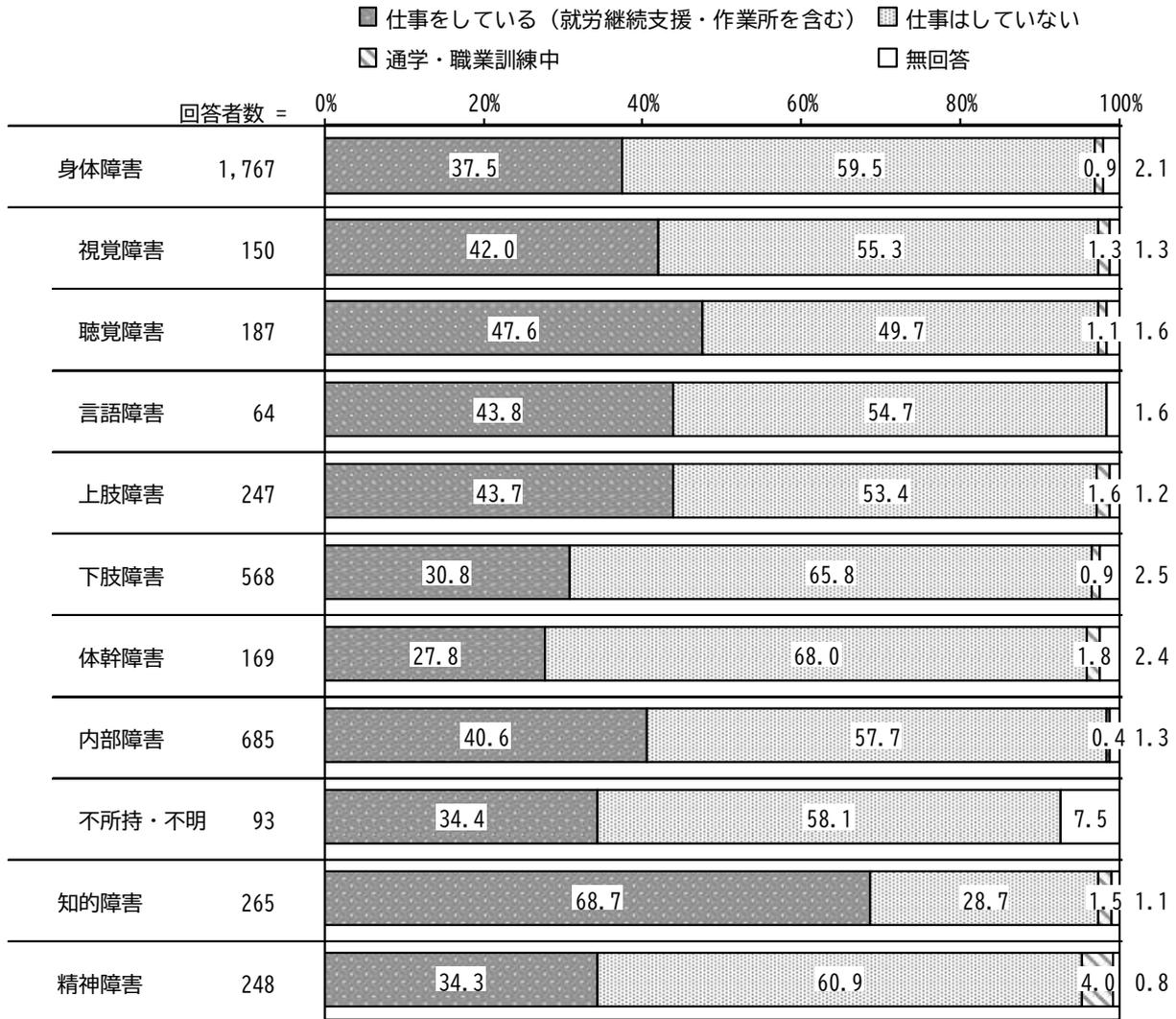


(4) 就業状況

① 就業状況

就業状況を見ると、身体障害は約4割、知的障害で約7割、精神障害で約3割半が「仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む）」と回答しています。

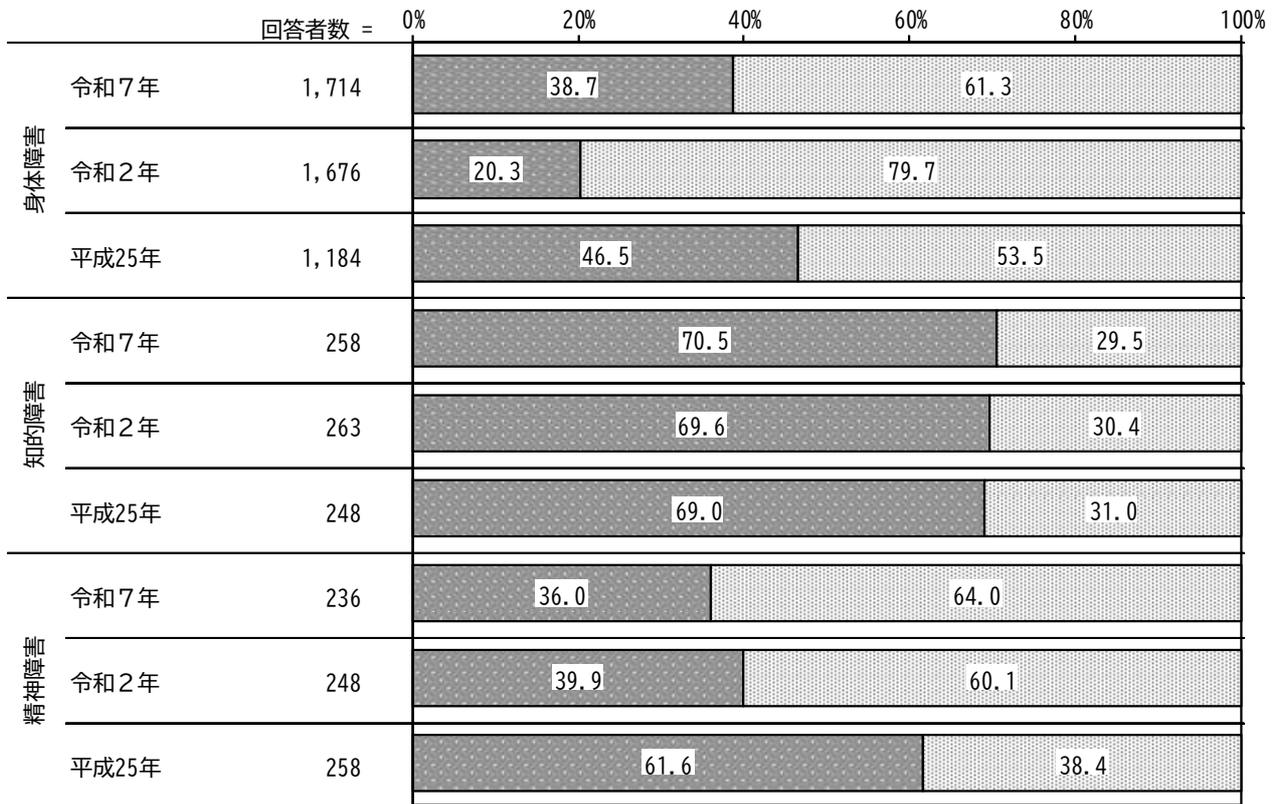
■ 就業状況[単数回答]



就業状況の経年比較をみると、「仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む）」割合は、身体障害が大幅に増加、知的障害は横ばい、精神障害は減少しています。

■ 就業状況[単数回答]（経年比較）

■ 仕事をしている（就労継続支援・作業所を含む） □ 仕事はしていない

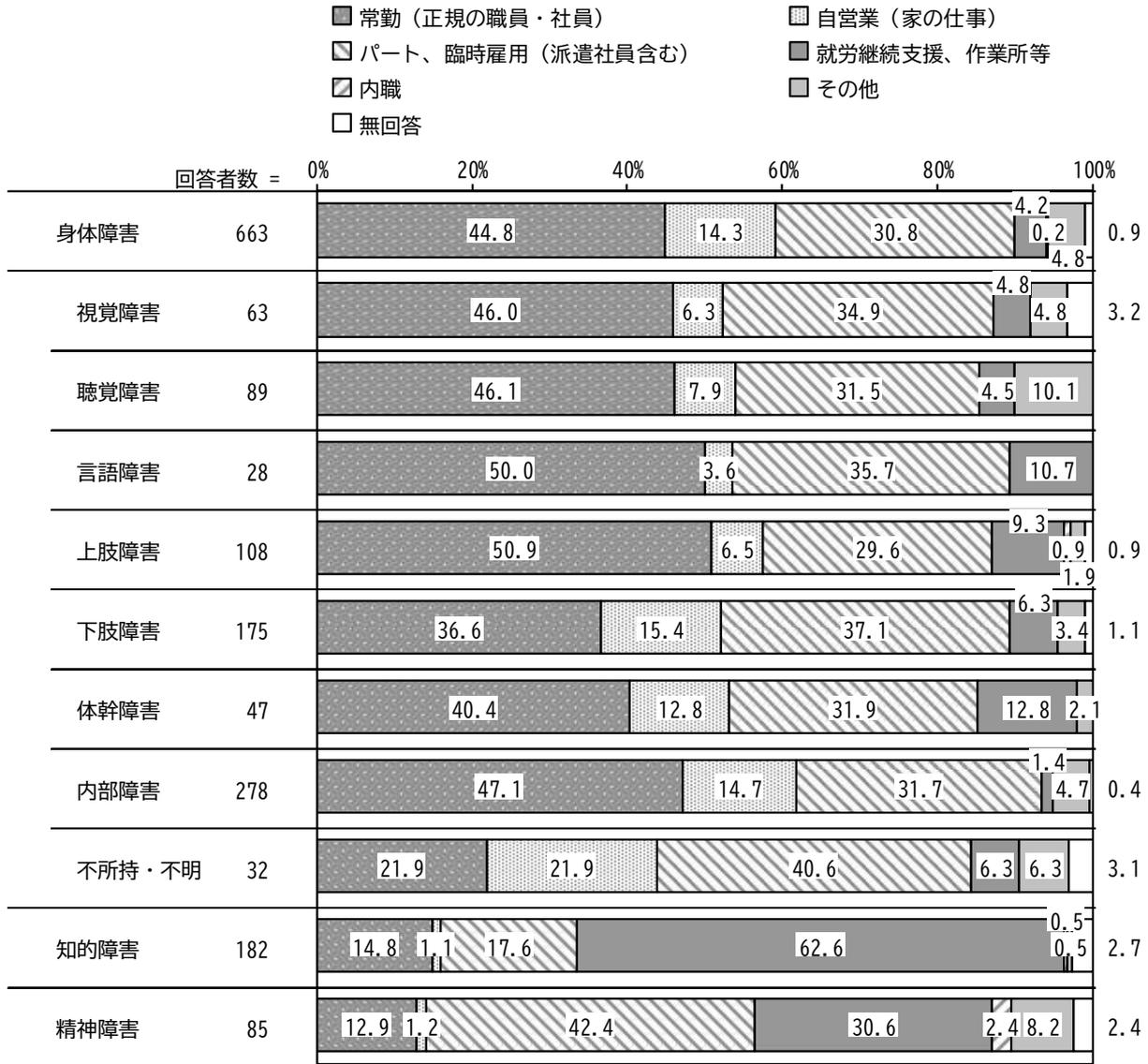


※無回答を除いて計算しています。

② 勤務形態

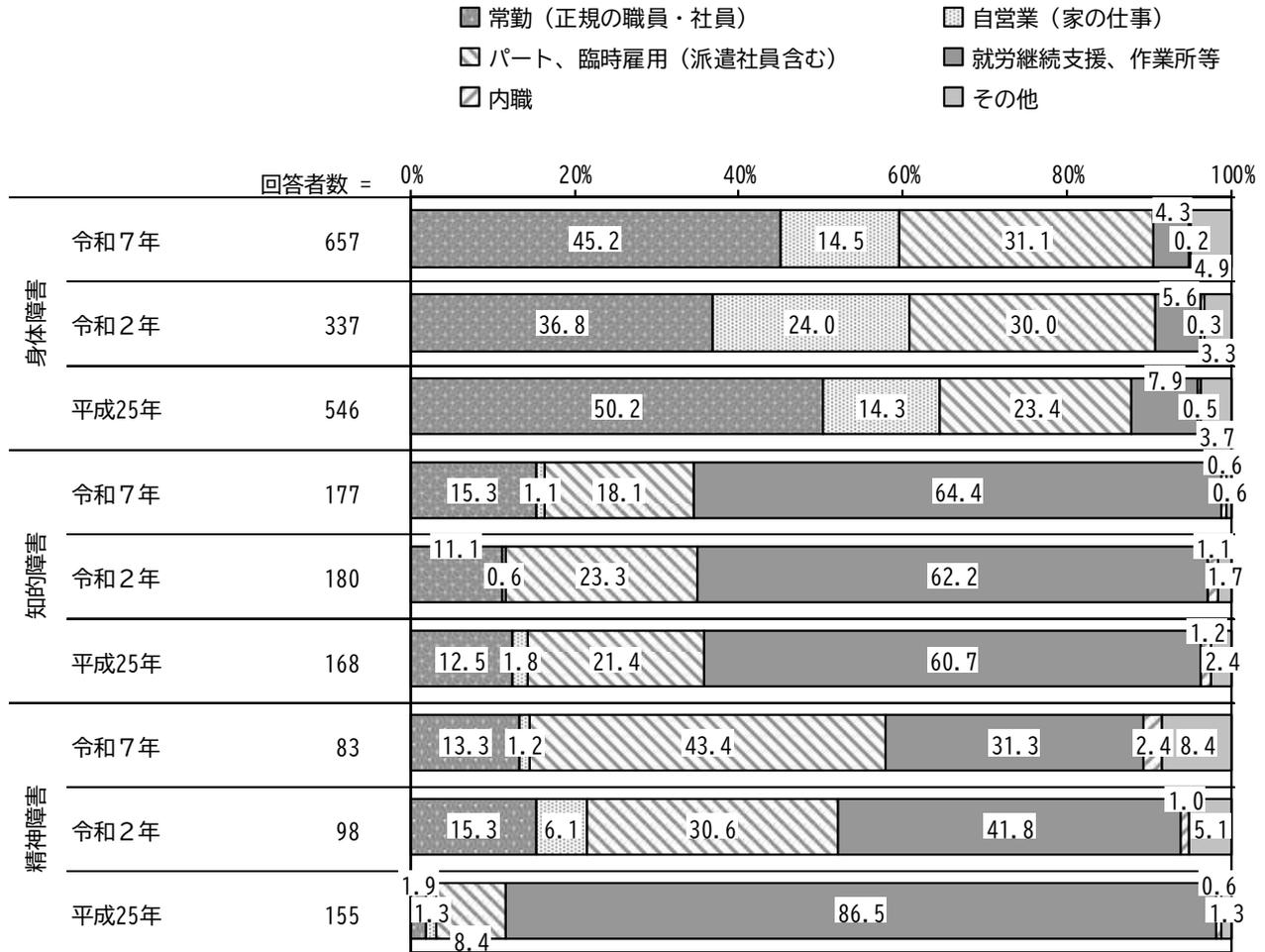
仕事をしている方の勤務形態をみると、身体障害は「常勤（正規の職員・社員）」、知的障害は「就労継続支援、作業所等」、精神障害は「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が最も多くなっています。

■ 勤務形態[単数回答]



仕事をしている方の勤務形態の経年比較をみると、身体障害は「自営業（家の仕事）」が減少し「常勤（正規の職員・社員）」が増加、知的障害は「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が減少し「常勤（正規の職員・社員）」「就労継続支援、作業所等」が増加、精神障害は「常勤（正規の職員・社員）」「就労継続支援、作業所等」が減少し「パート、臨時雇用（派遣社員含む）」が増加しています。

■ 勤務形態[単数回答]（経年比較）

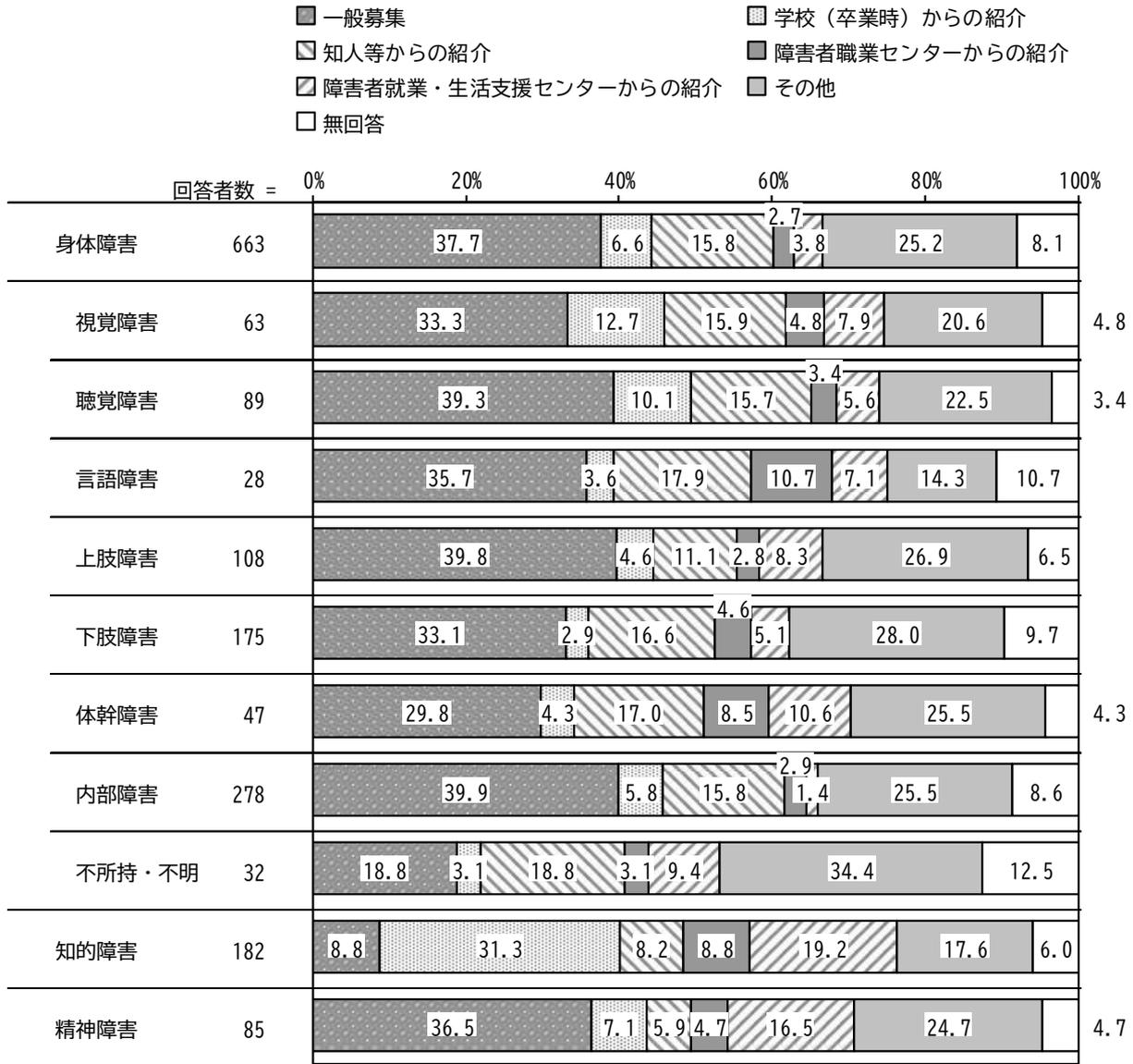


※無回答を除いて計算しています。

③ 仕事をどのようにして見つけたか

仕事をしている方が現在の仕事をどのようにして見つけたかをみると、身体障害、精神障害は「一般募集」、知的障害は「学校（卒業時）からの紹介」が最も多くなっています。

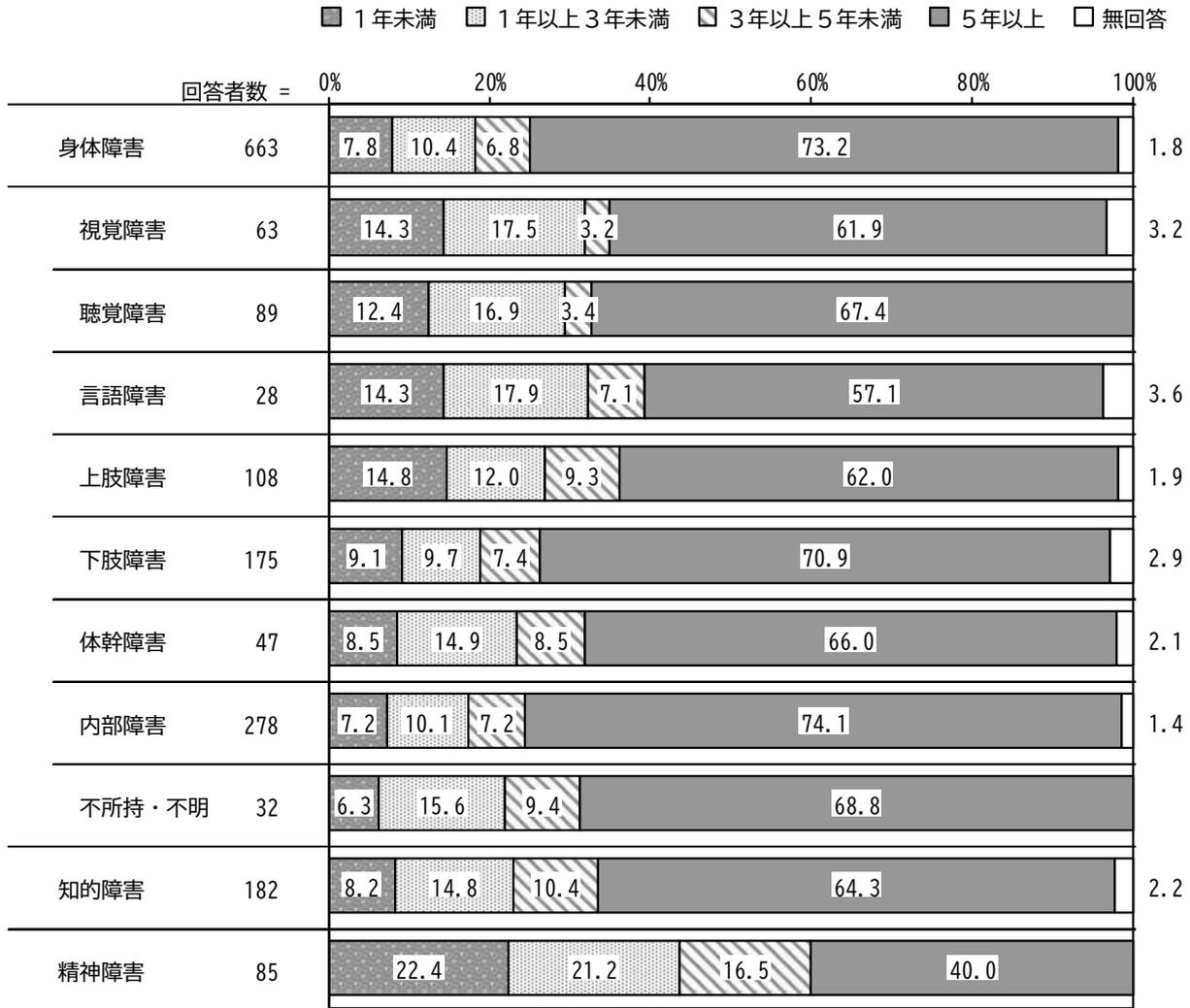
■ 仕事をどのようにして見つけたか[単数回答]



④ 従事期間

仕事をしている方の従事期間をみると、すべての障害で「5年以上」が最も多くなっているものの、他の障害と比較すると精神障害は「5年未満」の割合が高くなっています。

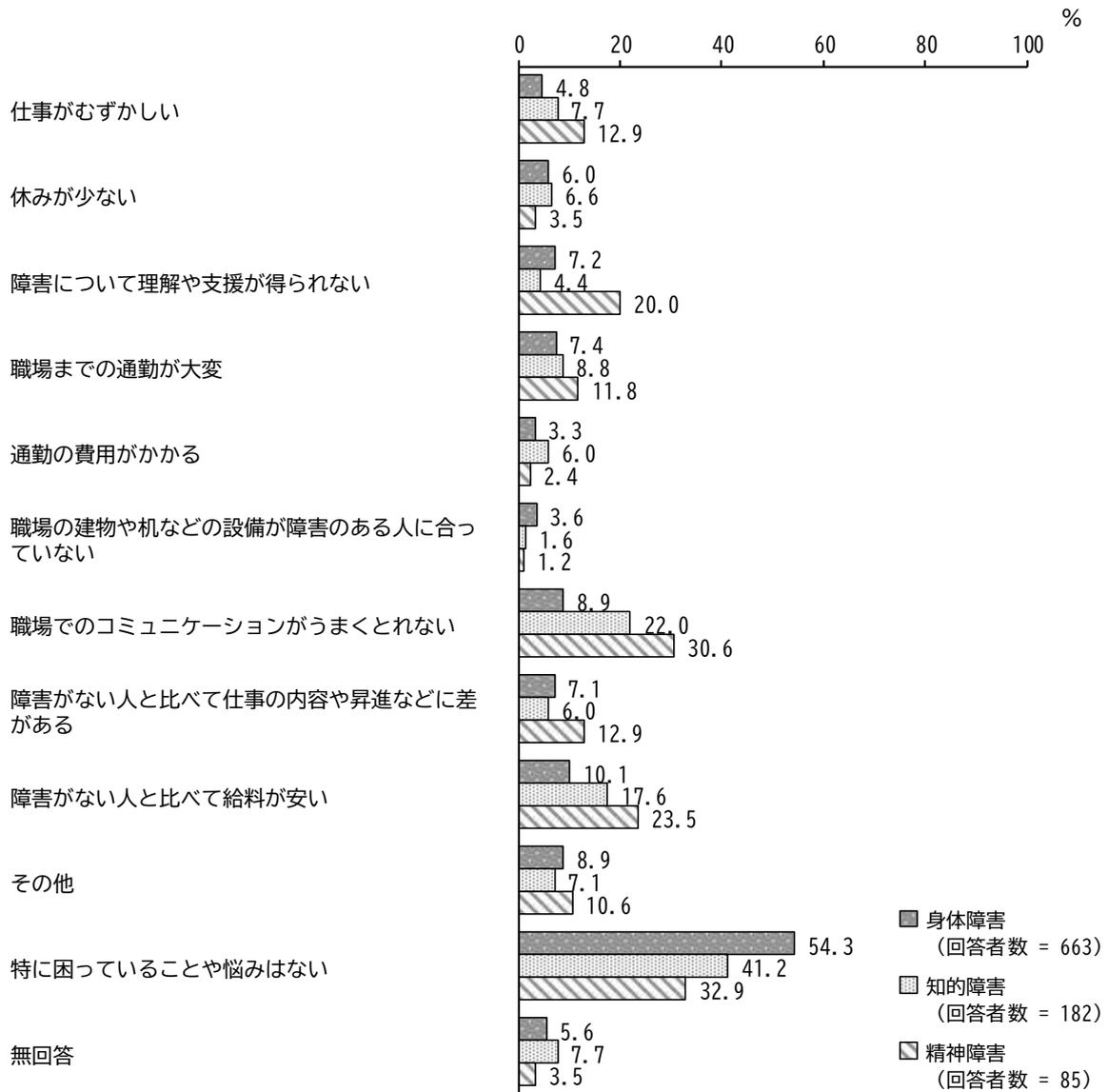
■ 従事期間[単数回答]



⑤ 仕事での悩みや困っていること

仕事をしている方の仕事での悩みや困っていることをみると、身体障害は「障害がない人と比べて給料が安い」、知的障害、精神障害は「職場でのコミュニケーションがうまくとれない」の割合が高くなっています。

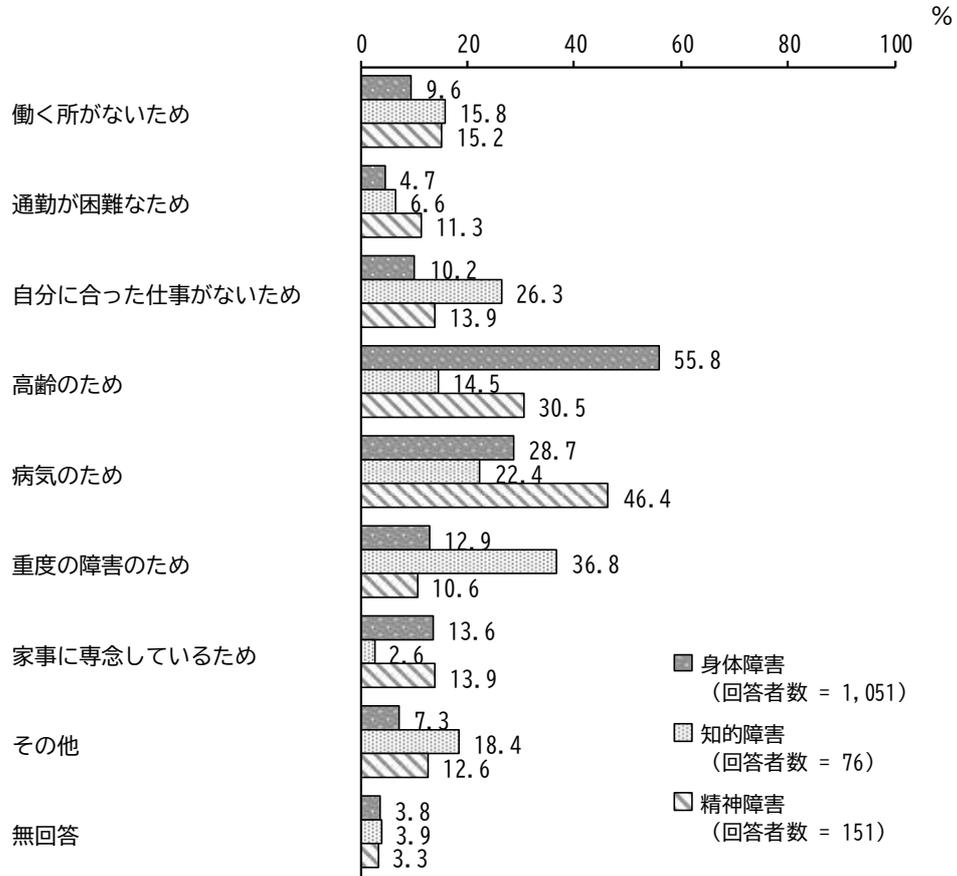
■ 仕事での悩みや困っていること[複数回答]



⑥ 働いていない理由

仕事をしていない方の働いていない理由をみると、身体障害は「高齢のため」、知的障害は「重度の障害のため」、精神障害は「病気のため」の割合が高くなっています。

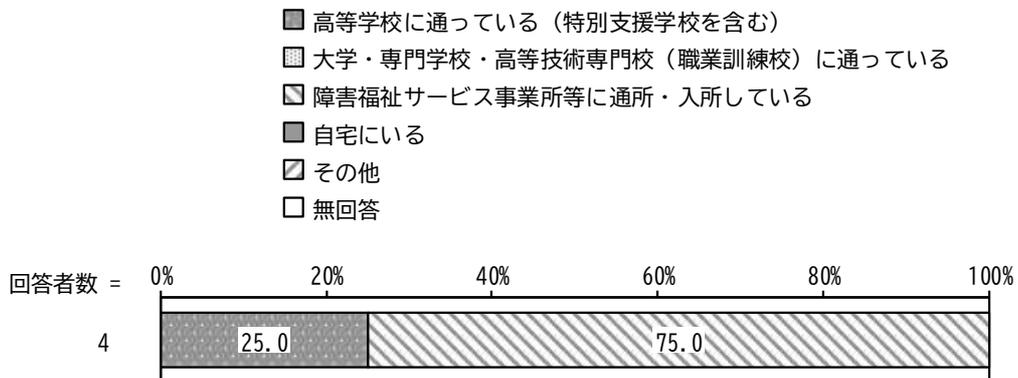
■ 働いていない理由[複数回答（3つまで）]



(5) 平日昼間の過ごし方

知的障害で通学・職業訓練中の方の平日昼間の過ごし方をみると、「障害福祉サービス事業所等に通所・入所している」が3件、「高等学校に通っている（特別支援学校を含む）」が1件となっています。

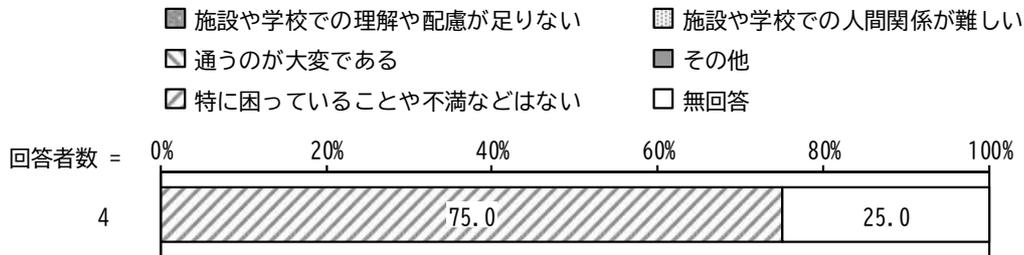
■ 平日昼間の過ごし方[単数回答]



(6) 活動の場についての不満

知的障害で通学・職業訓練中の方の活動の場についての不満をみると、「特に困っていることや不満などはない」が3件となっています。

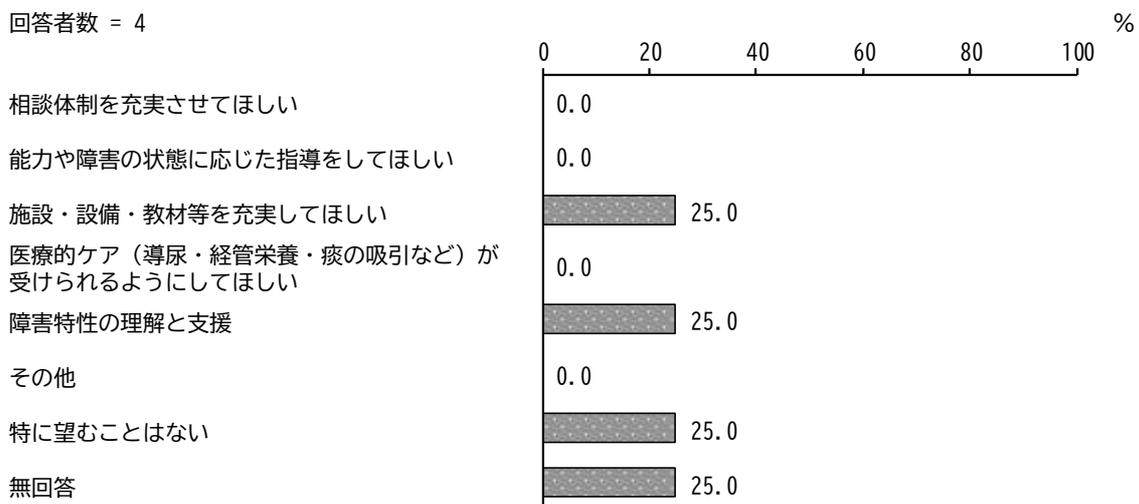
■ 活動の場についての不満[単数回答]



(7) 学校・施設等に望むこと

知的障害と障害児で学校や施設等に望むことをみると、「施設・設備・教材等を充実してほしい」、「障害特性の理解と支援」が1件となっています。

■ 学校・施設に望むこと[複数回答]



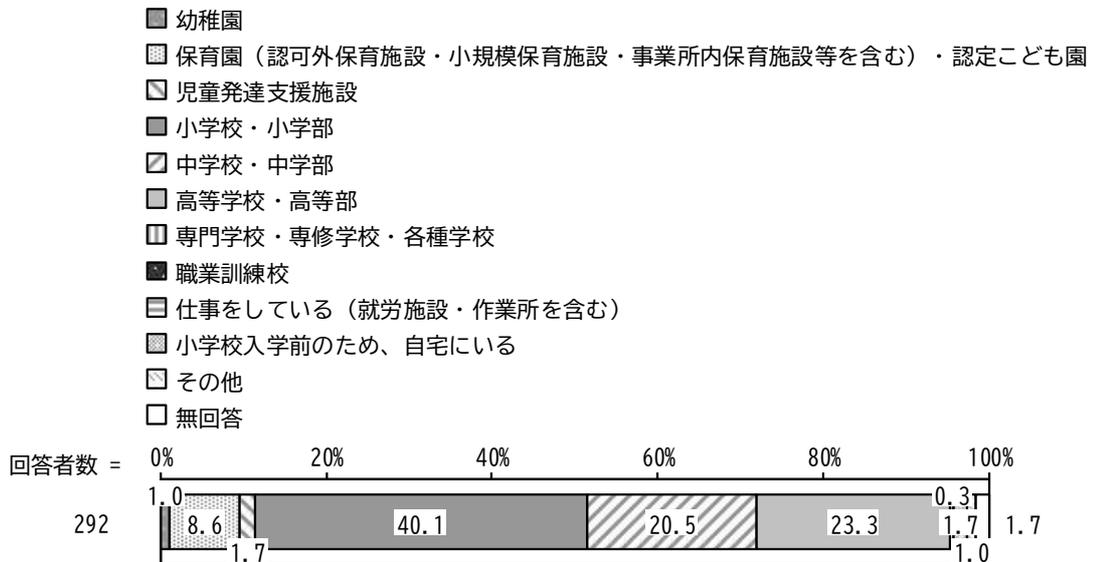
4 就学等の状況や将来について

(1) 通園・通学の状況

① 通園・通学先

障害児の通園・通学先をみると、「小学校・小学部」の割合が40.1%と最も高く、次いで「高等学校・高等部」の割合が23.3%、「中学校・中学部」の割合が20.5%となっています。

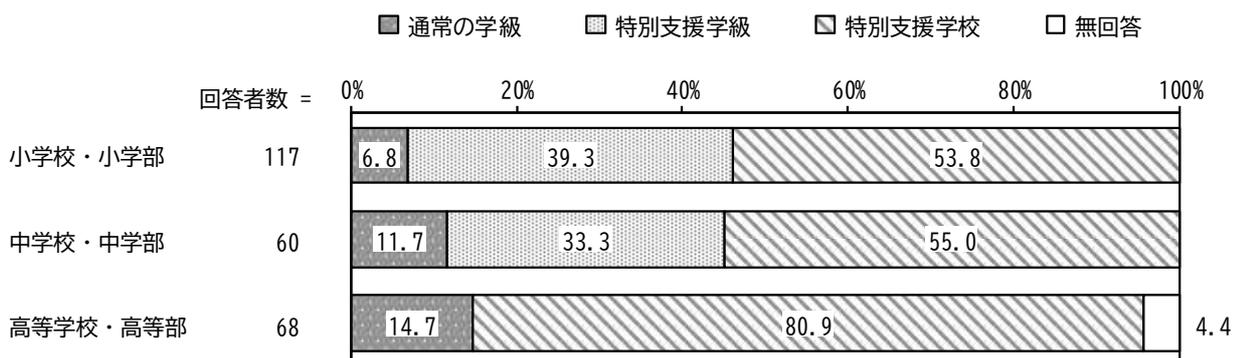
■ 通園・通学先[単数回答]



② 学校・学級の種別

学校・学級の種別をみると、すべての通学先で「特別支援学校」が最も多くなっています。

■ 学校・学級の種別[単数回答]

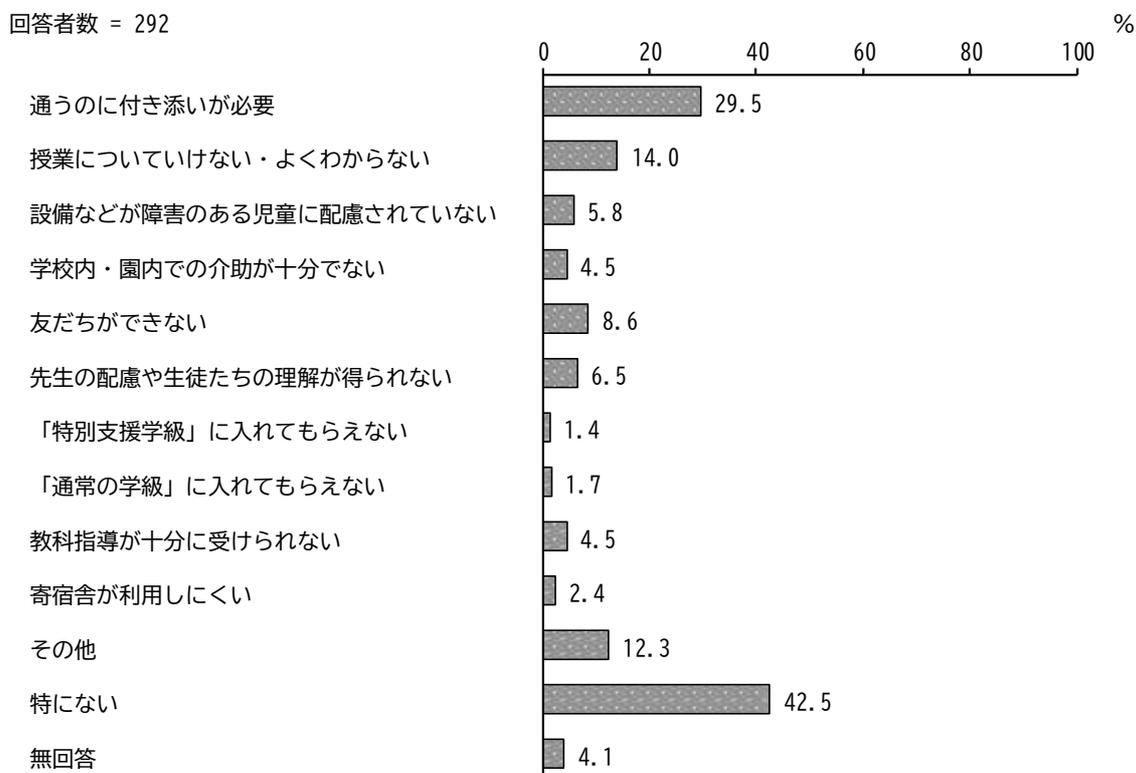


※高等学校・高等部で「特別支援学級」の選択肢はありません。

(2) 通園・通学で困っていること

障害児で通園・通学で困っていることをみると、「特にない」の割合が42.5%と最も高く、次いで「通うのに付き添いが必要」の割合が29.5%、「授業についていけない・よくわからない」の割合が14.0%となっています。

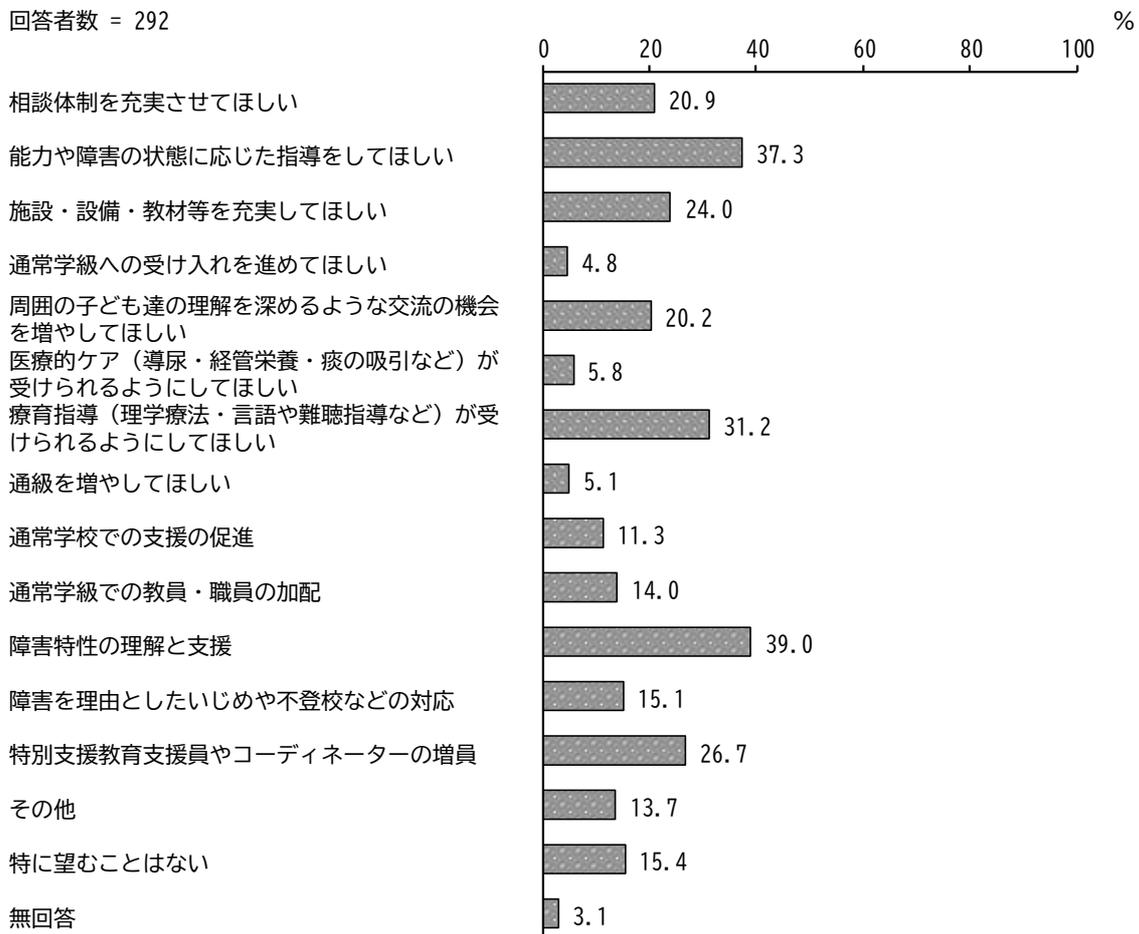
■ 通園・通学で困っていること[複数回答]



(3) 幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと

障害児で幼稚園・保育園・学校・施設に望むことをみると、「障害特性の理解と支援」の割合が39.0%と最も高く、次いで「能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい」の割合が37.3%、「療育指導（理学療法・言語や難聴指導など）が受けられるようにしてほしい」の割合が31.2%となっています。

■ 幼稚園・保育園・学校・施設に望むこと[複数回答]

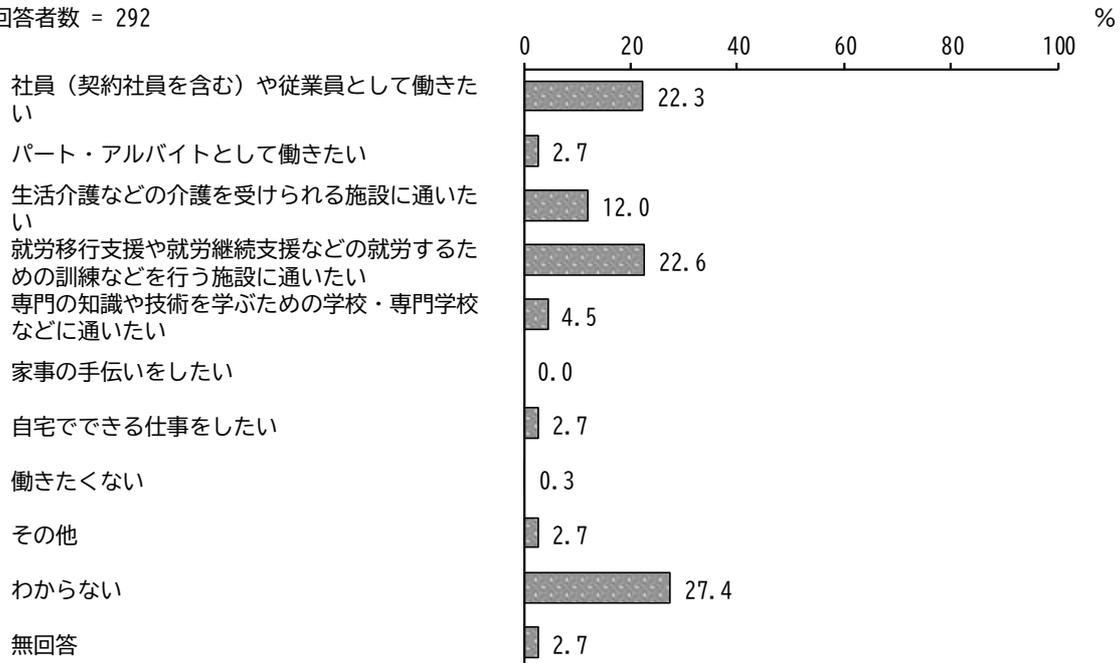


(4) 学校卒業後の希望

障害児で学校卒業後の進路の希望をみると、「わからない」の割合が27.4%と最も高く、次いで「就労移行支援や就労継続支援などの就労するための訓練などを行う施設に通いたい」の割合が22.6%、「社員（契約社員を含む）や従業員として働きたい」の割合が22.3%となっています。

■ 学校卒業後の希望[複数回答]

回答者数 = 292

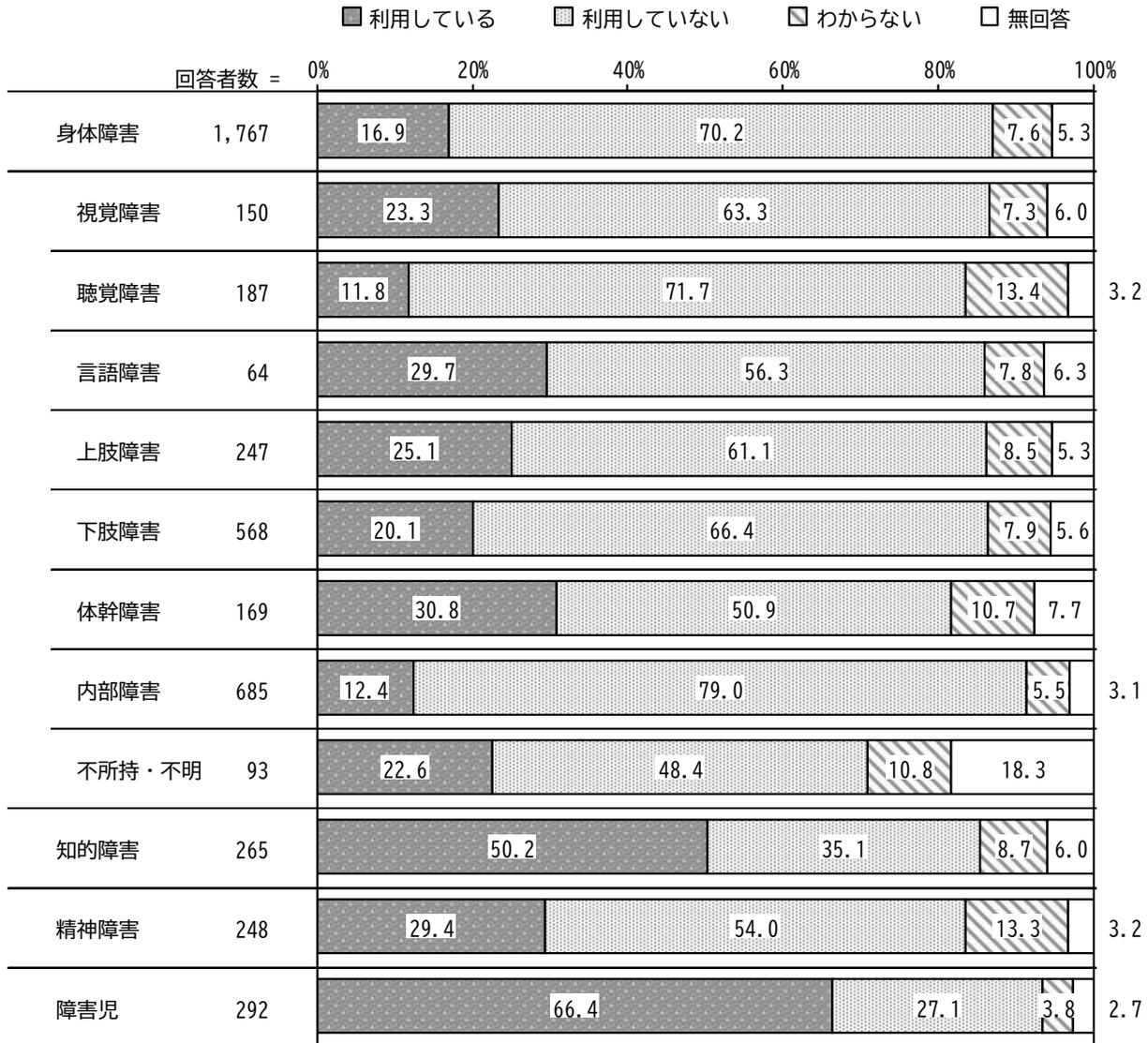


5 福祉サービスについて

(1) 障害福祉サービスの利用状況

障害福祉サービスの利用状況をみると、身体障害が1割半強、知的障害が5割、精神障害が約3割、障害児が6割半利用しています。

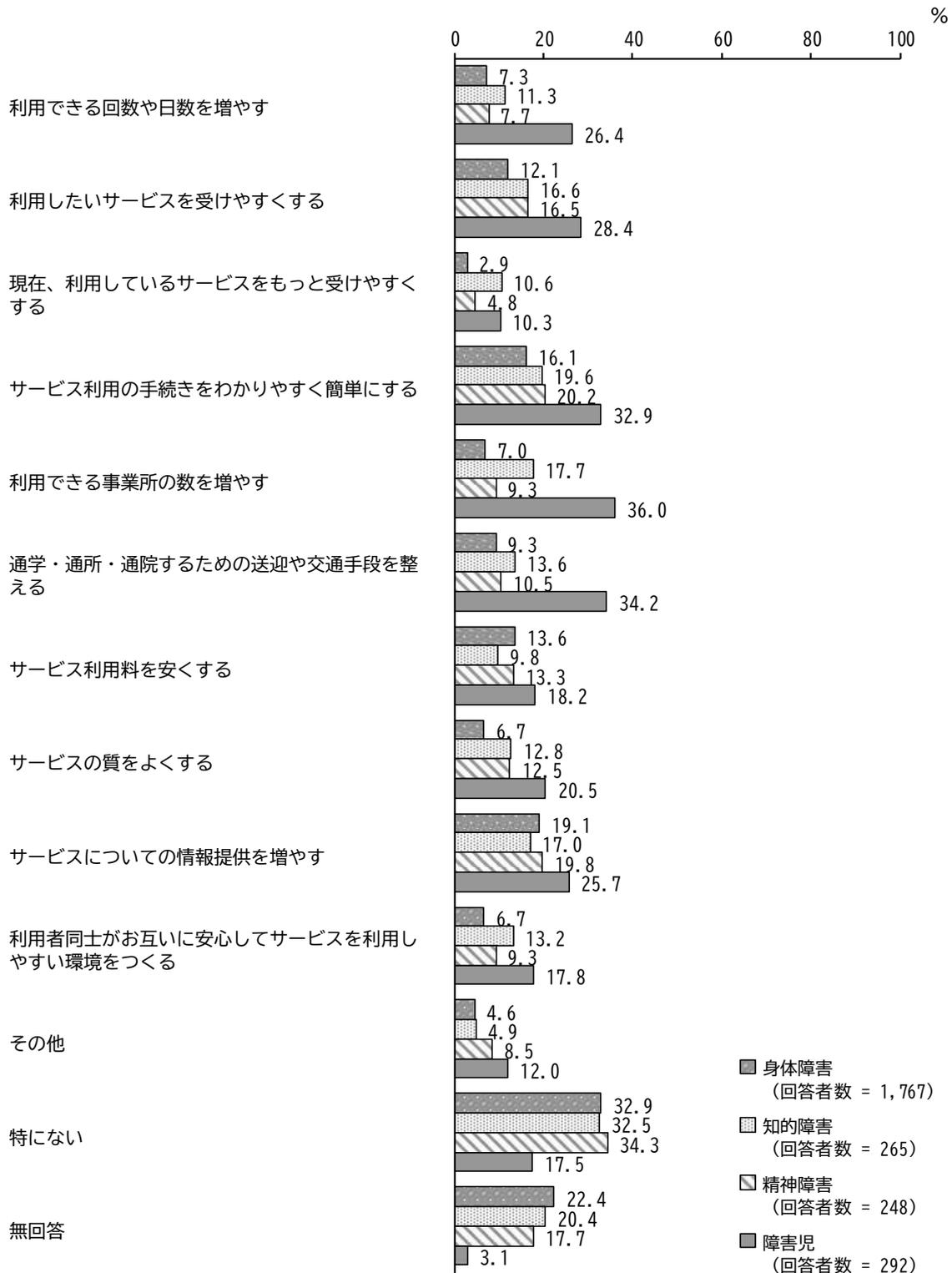
■ 障害福祉サービスの利用状況[単数回答]



(2) 障害福祉サービスの改善希望

障害福祉サービスの改善希望をみると、身体障害、知的障害、精神障害は「特にない」、障害児は「利用したいサービスを受けやすくする」「サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする」「利用できる事業所の数を増やす」「通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える」の割合が高くなっています。

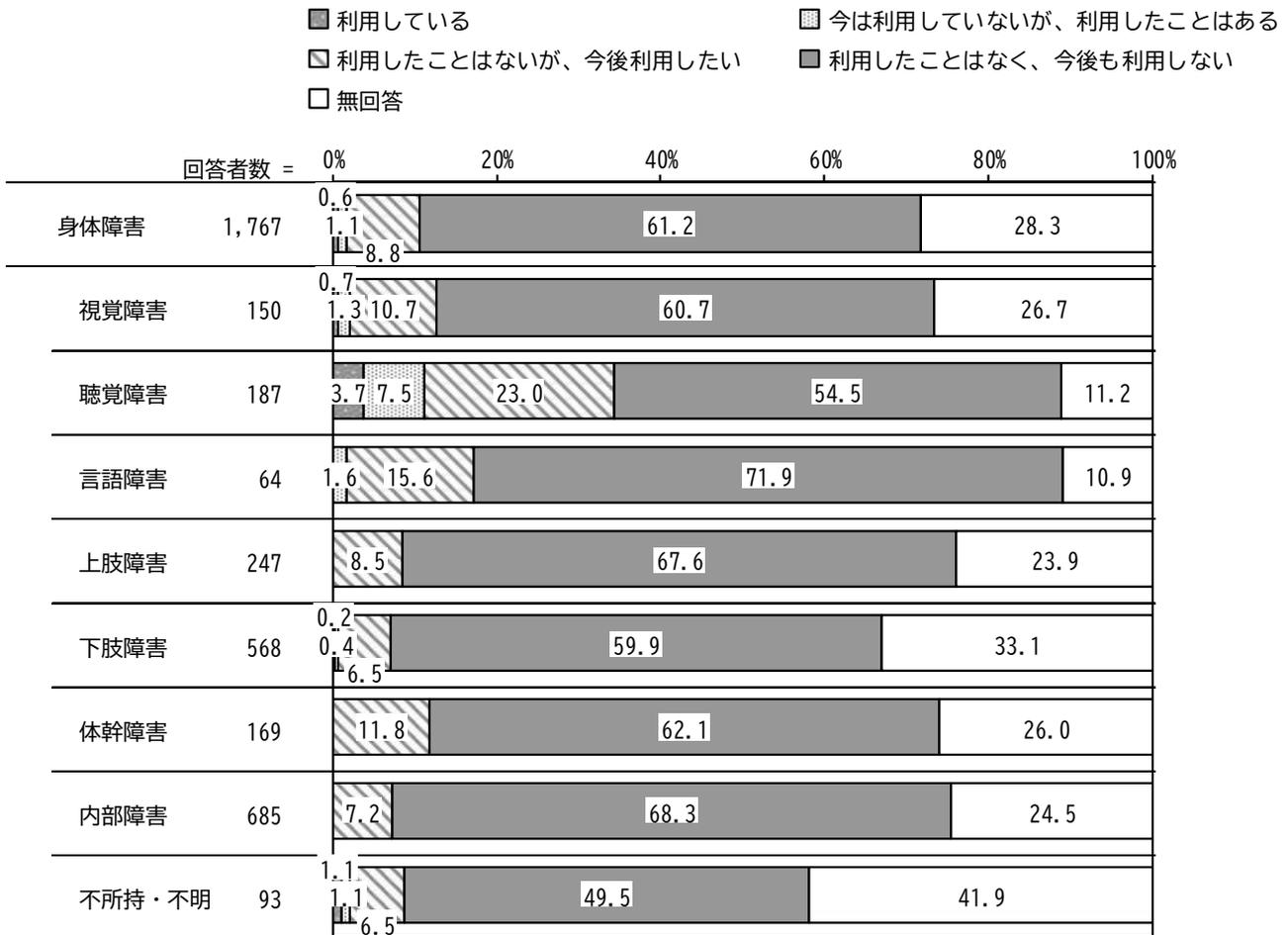
■ 障害福祉サービスの改善希望[複数回答]



(3) 手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望

身体障害で手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望をみると、「利用している」「今は利用していないが、利用したことはある」は1割未満となっており、「利用したことはないが、今後利用したい」は1割程度となっています。

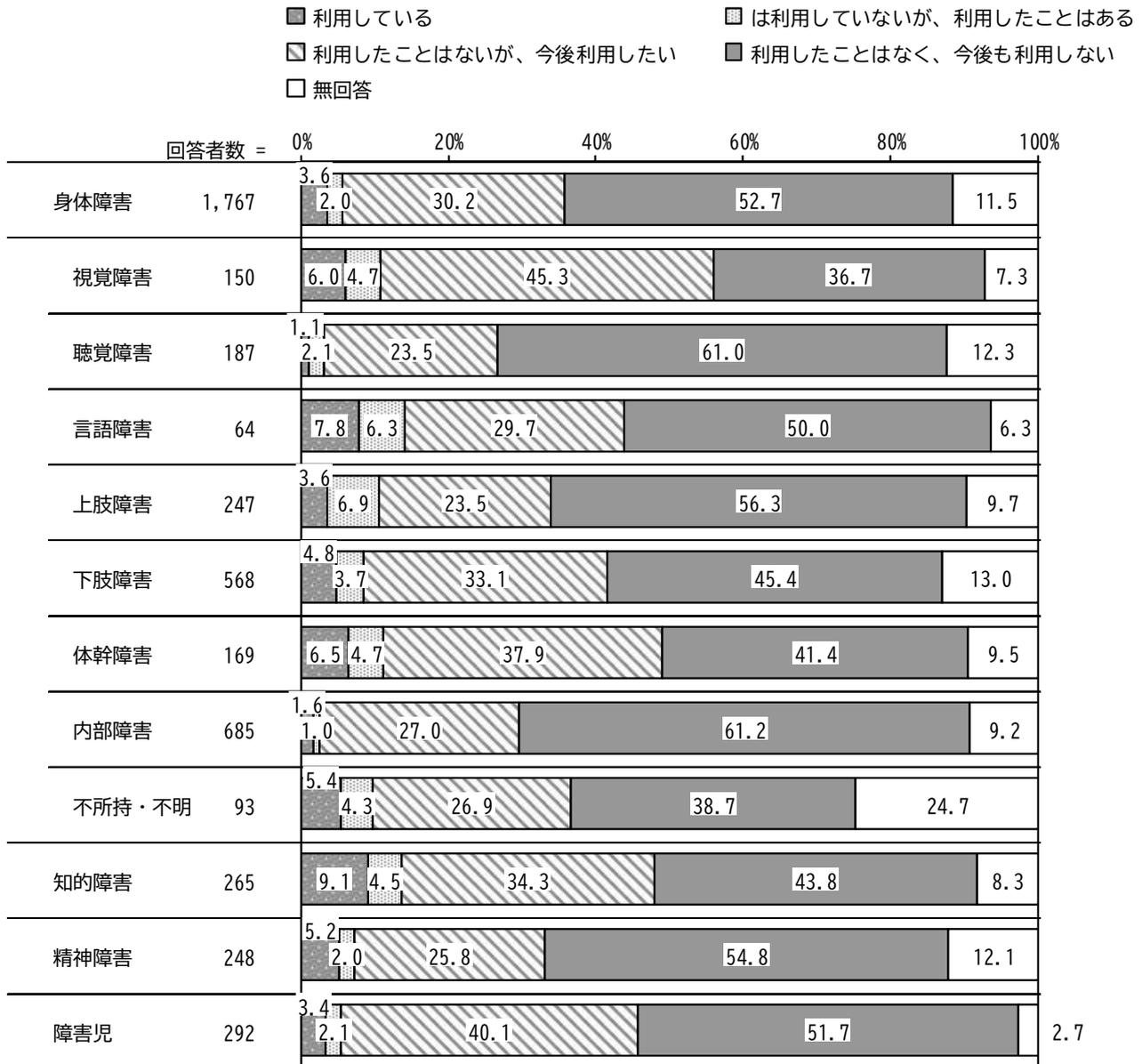
■ 手話通訳・要約筆記の利用状況と利用希望[単数回答]



(4) 同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望

同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望をみると、すべての障害で「利用している」は1割未満となっており、「利用したことはないが、今後利用したい」は身体障害が3割、知的障害が3割半、精神障害が2割半、障害児が4割となっています。

■ 同行（行動）援護・移動支援の利用状況と利用希望[単数回答]

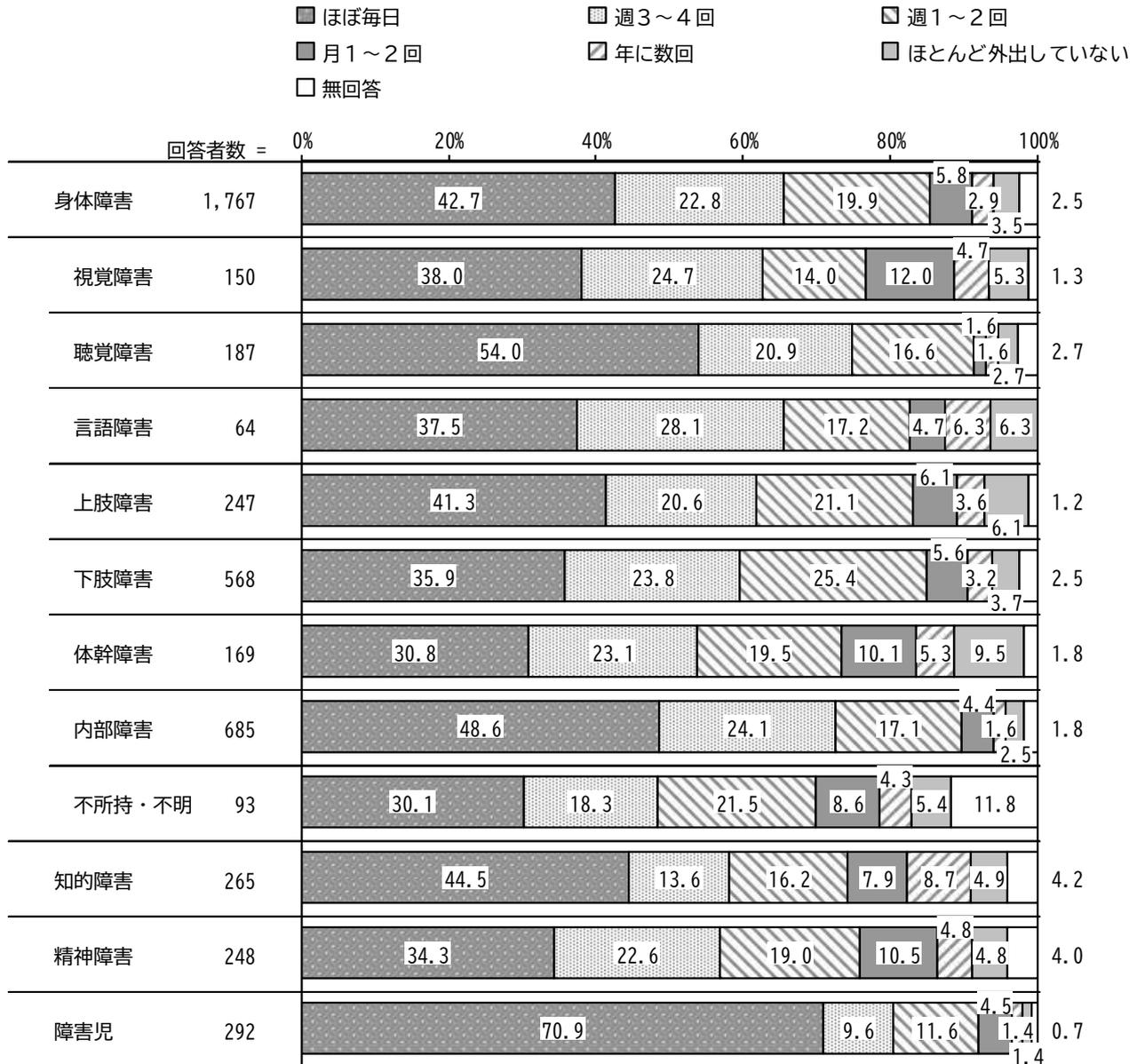


6 外出について

(1) 過去1年間の外出の状況

過去1年間の外出の状況をみると、すべての障害で「ほぼ毎日」が最も多くなっています。

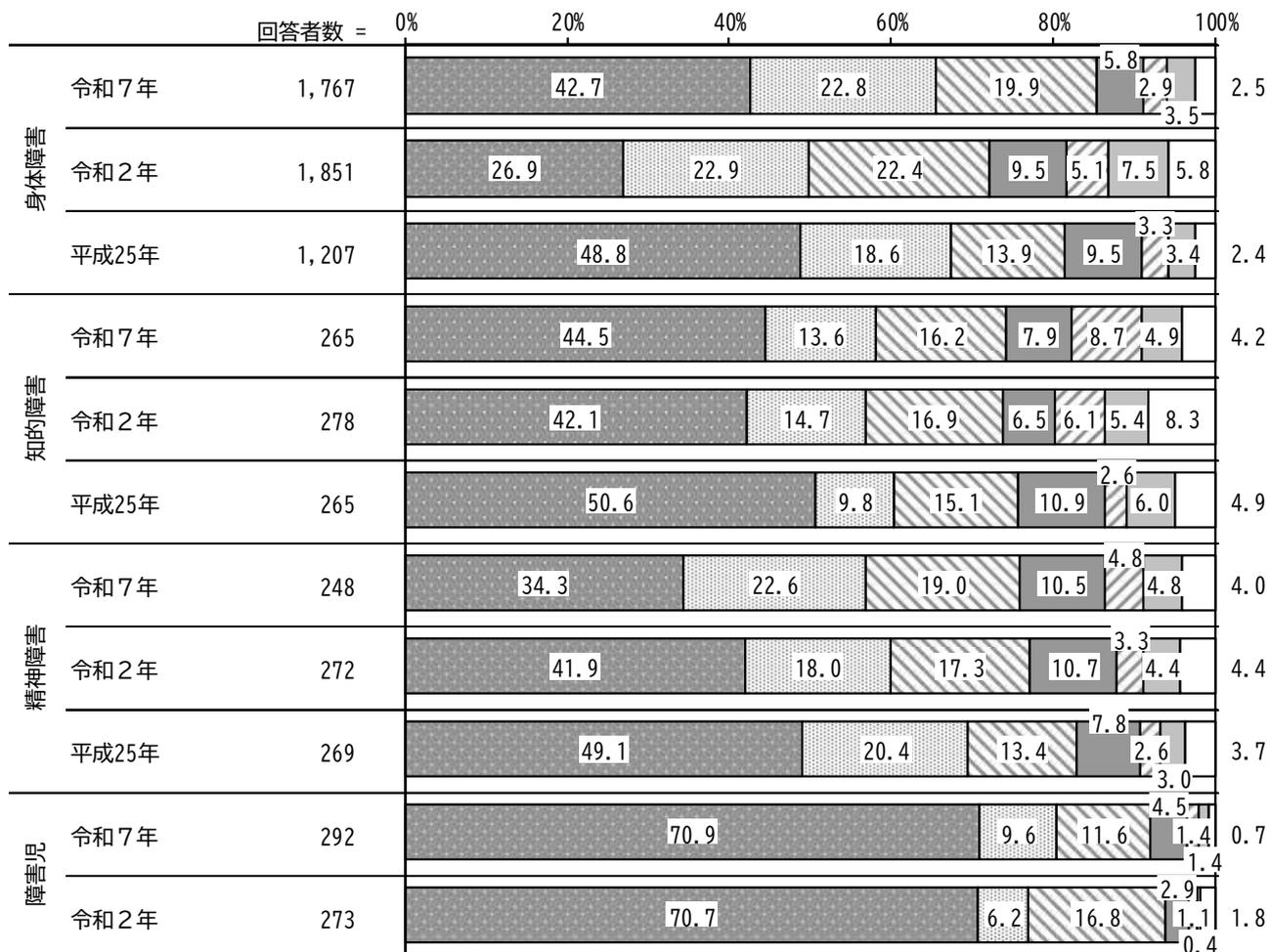
■ 過去1年間の外出状況[単数回答]



過去1年間の外出の状況の経年比較をみると、「ほぼ毎日」は身体障害で増加し、知的障害、障害児で横ばい、精神障害で減少しています。

■ 過去1年間の外出状況[単数回答] (経年比較)

- ほぼ毎日
- 週3～4回
- 週1～2回
- 月1～2回
- 年に数回
- ほとんど外出していない
- 無回答

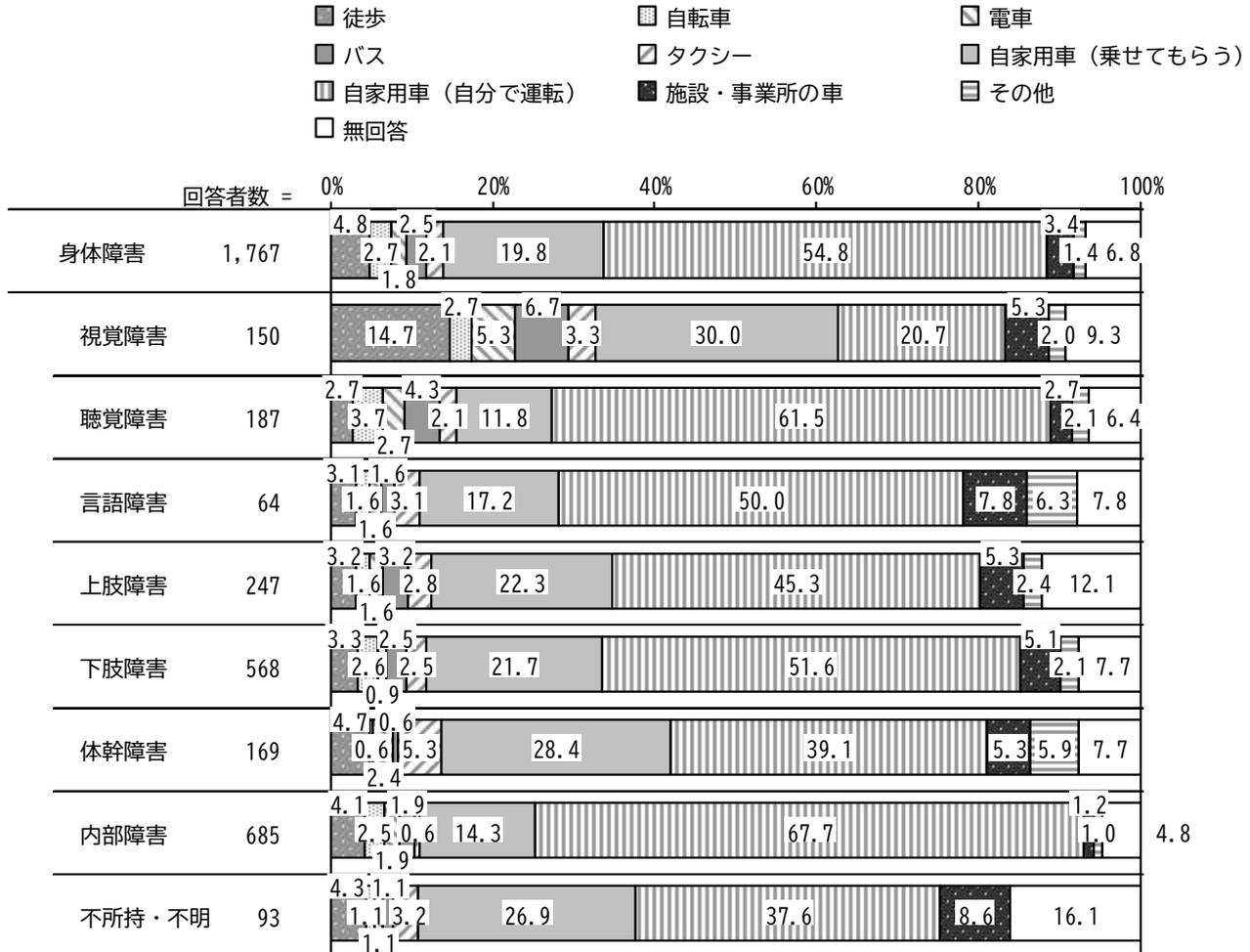


※障害児の平成25年のデータは存在しないため、令和2年と令和7年で比較しています。

(2) よく利用する移動手段

身体障害のよく利用する移動手段をみると、「自家用車（自分で運転）」が5割半となっています。身体障害のうち、視覚障害は「自家用車（乗せてもらう）」、「徒歩」の割合が高くなっています。

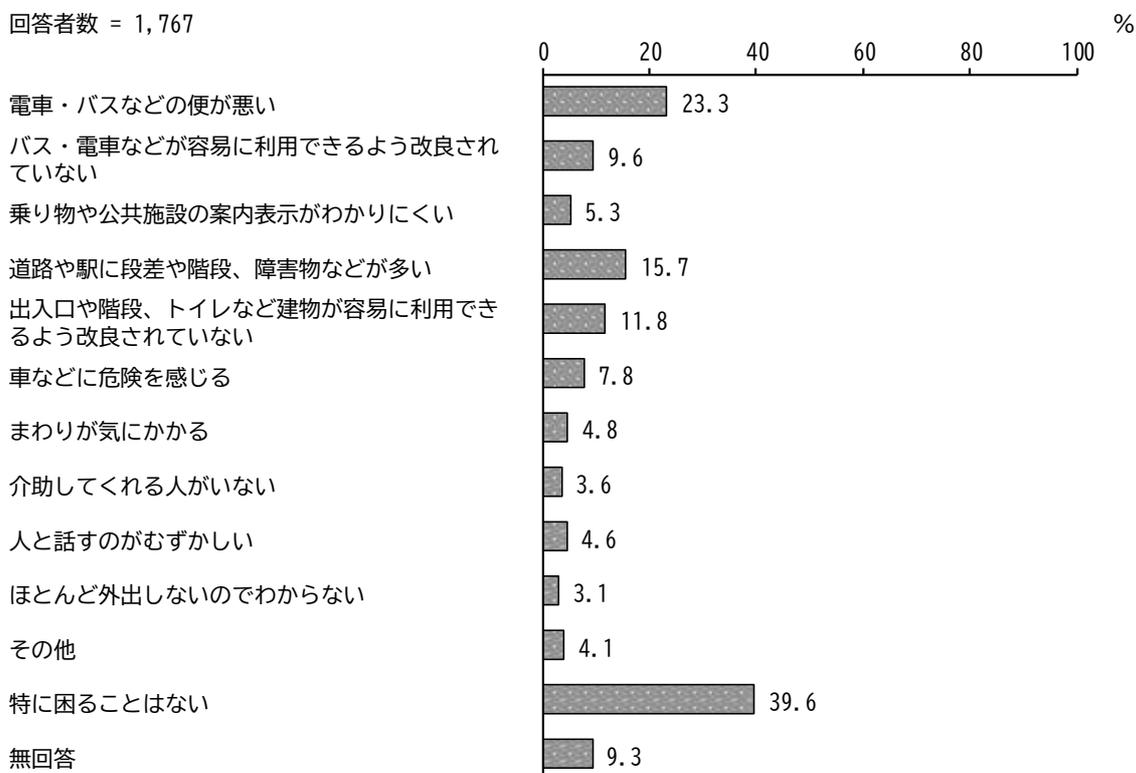
■ よく利用する移動手段[単数回答]



(3) 外出するうえで困ること

身体障害で外出するうえで困ることをみると、「特に困ることはない」の割合が39.6%と最も高く、次いで「電車・バスなどの便が悪い」の割合が23.3%、「道路や駅に段差や階段、障害物などが多い」の割合が15.7%となっています。

■ 外出するうえで困ること[複数回答]

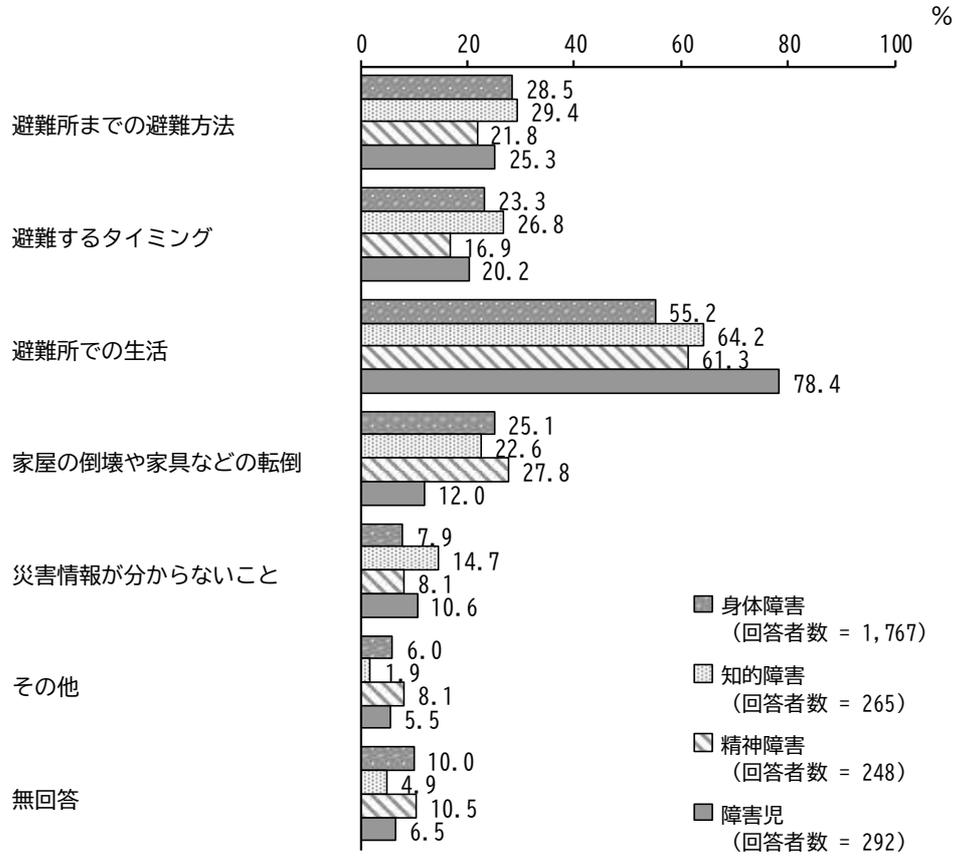


7 災害時について

(1) 災害時に困ること

災害時に困ることをみると、すべての障害で「避難所での生活」の割合が高くなっています。

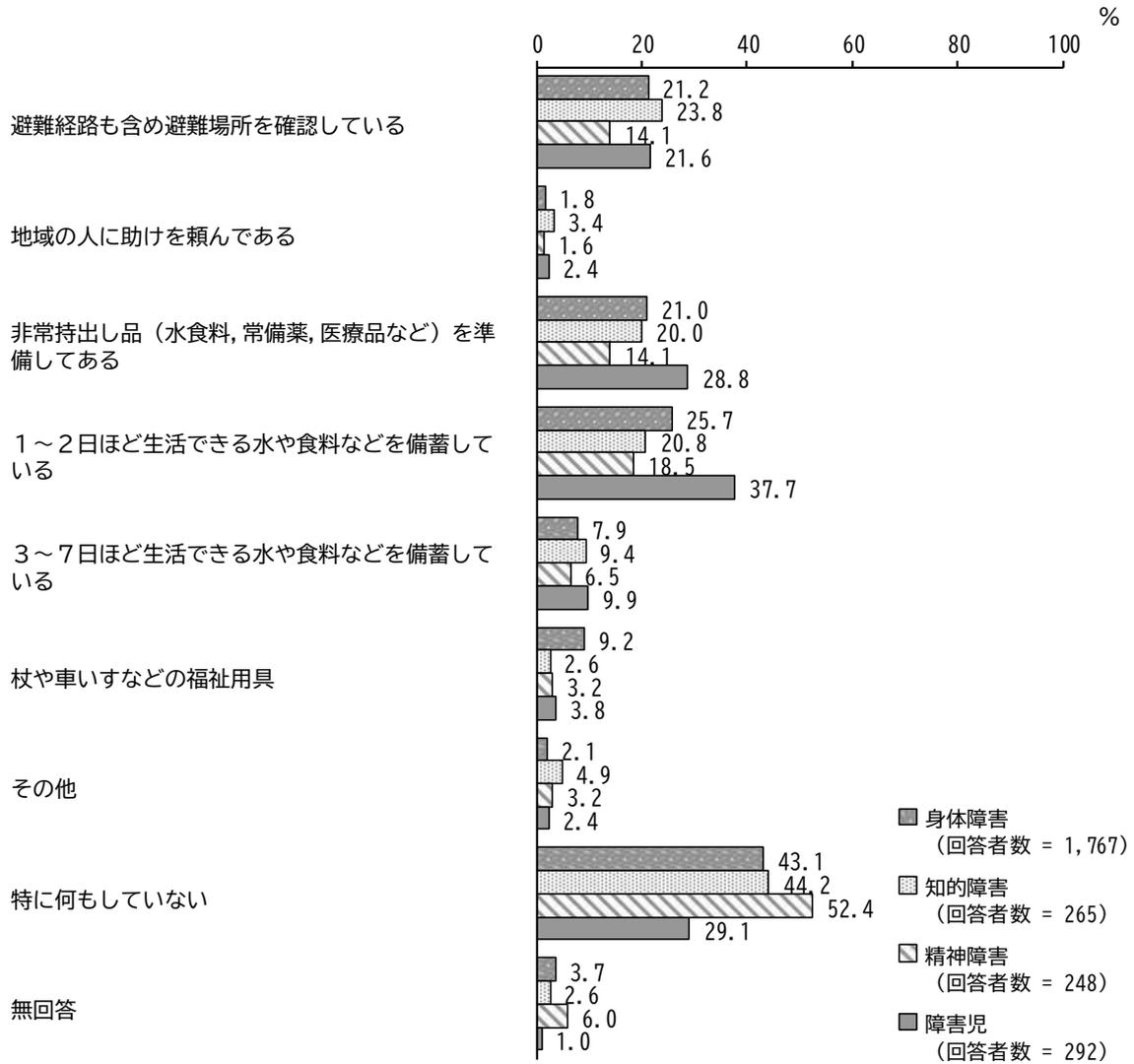
■ 災害時に困ること[複数回答]



(2) 災害時に備え準備していること

災害時に備え準備していることをみると、身体障害、知的障害、精神障害で「特に何もしていない」、障害児で「1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している」の割合が高くなっています。

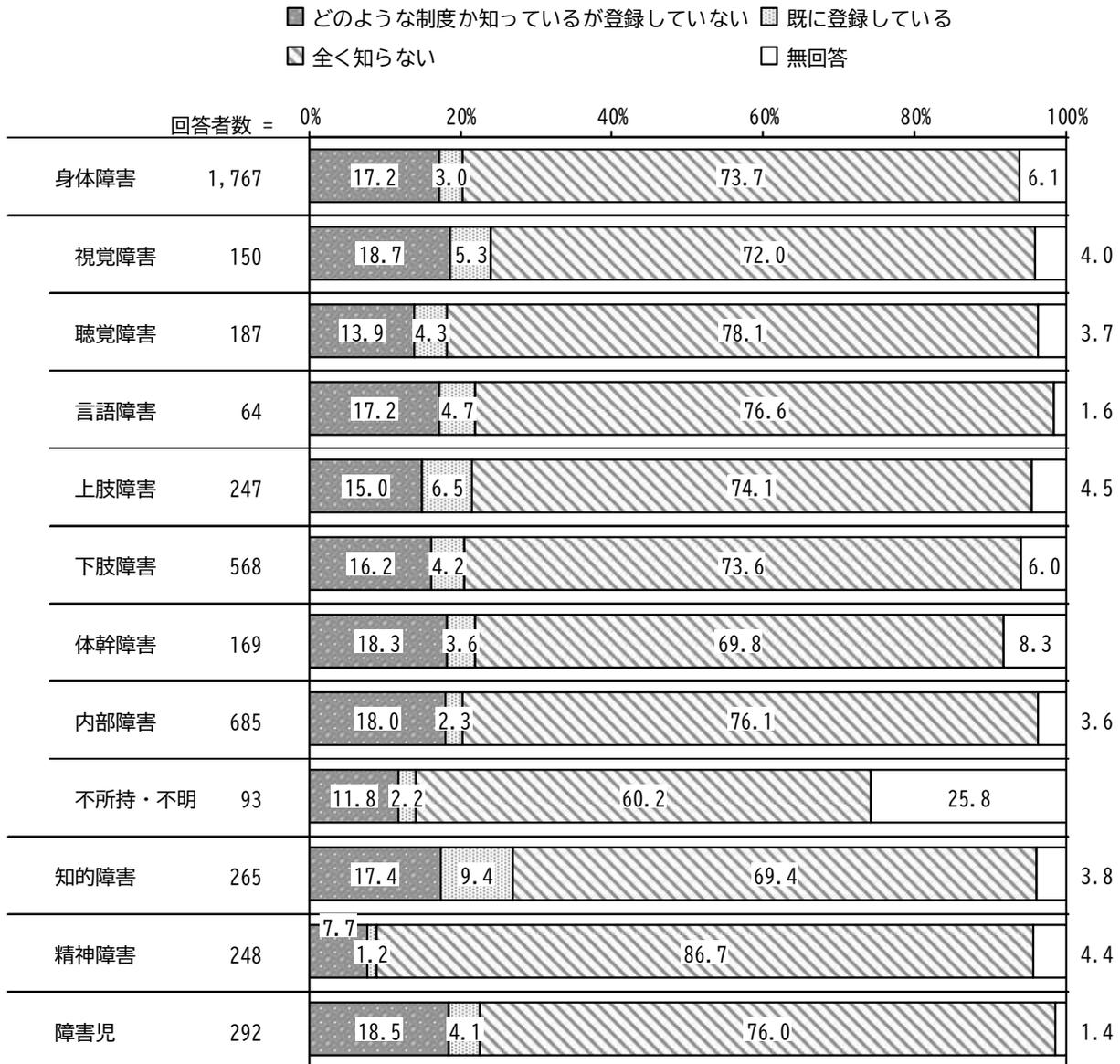
■ 災害時に備え準備していること[複数回答]



(3) 避難行動要支援者支援制度の認知度

避難行動要支援者支援制度の認知度をみると、すべての障害で「全く知らない」の割合が高くなっています。「既に登録している」は、知的障害が約1割となっています。

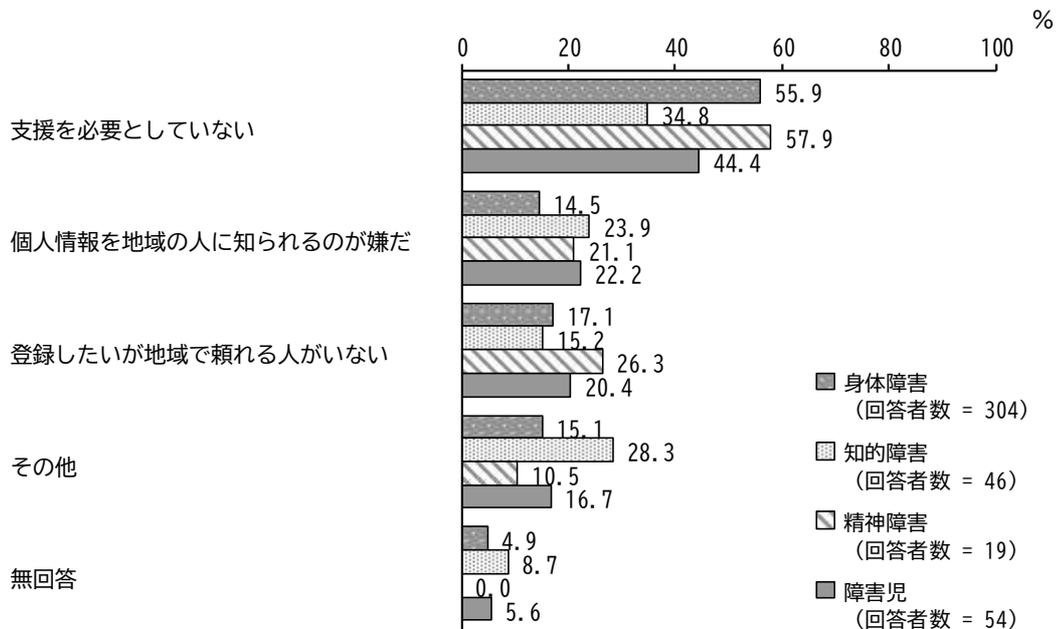
■ 避難行動要支援者支援制度の認知度[単数回答]



(4) 避難行動要支援者名簿に登録していない理由

避難行動要支援者支援制度を知っているが避難行動要支援者名簿に登録していない理由をみると、すべての障害で「支援を必要としていない」の割合が高くなっており、次いで、身体障害、精神障害は「登録したいが地域で頼れる人がいない」、知的障害は「その他」、障害児は「個人情報を知りたいが地域の人に知られるのが嫌だ」となっています。

■ 避難行動要支援者名簿に登録していない理由[単数回答]

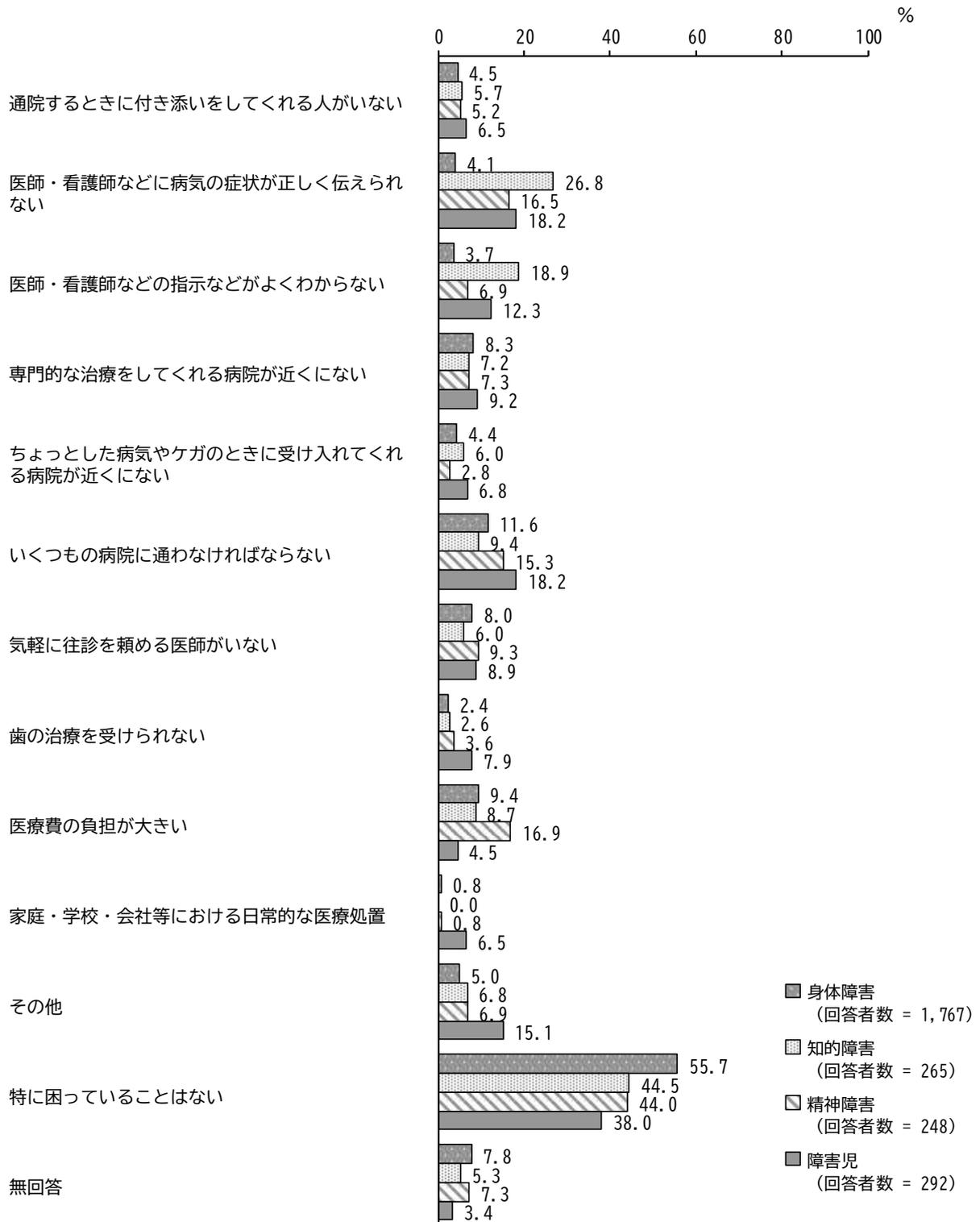


8 医療について

(1) 医療で困っていること

医療で困っていることをみると、すべての障害で「特に困っていることはない」が最も多くなっており、次いで、身体障害、障害児は「いくつもの病院に通わなければならない」、知的障害、障害児で「医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない」、精神障害で「医療費の負担が大きい」となっています。

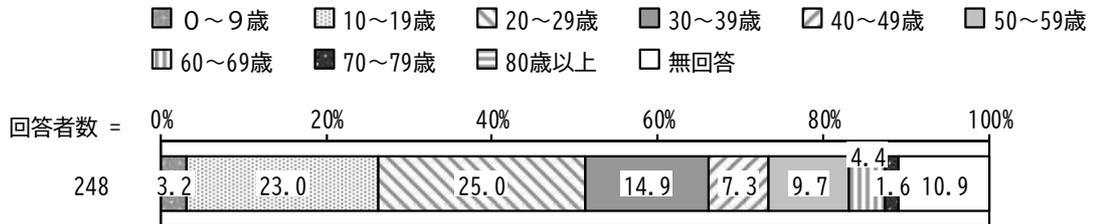
■ 医療で困っていること[複数回答]



(2) 精神科の初回診察時の年齢

精神障害で精神科の初回時の年齢をみると、「20～29歳」の割合が25.0%と最も高く、次いで「10～19歳」の割合が23.0%、「30～39歳」の割合が14.9%となっています。

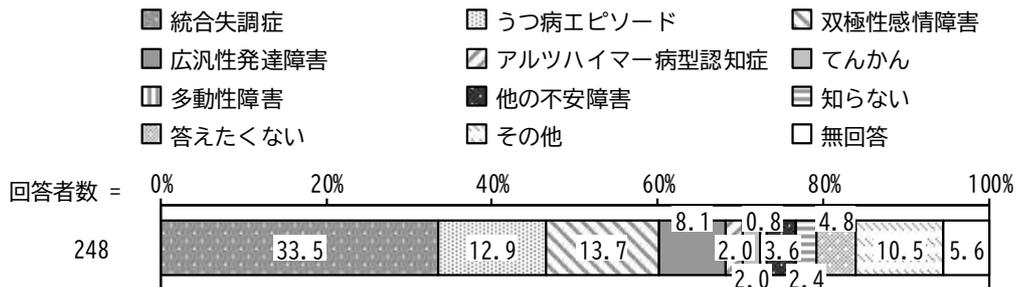
■ 精神科の初回診察時の年齢[単数回答]



(3) 病名

精神障害で病名をみると、「統合失調症」の割合が33.5%と最も高く、次いで「双極性感情障害」の割合が13.7%、「うつ病エピソード」の割合が12.9%となっています。

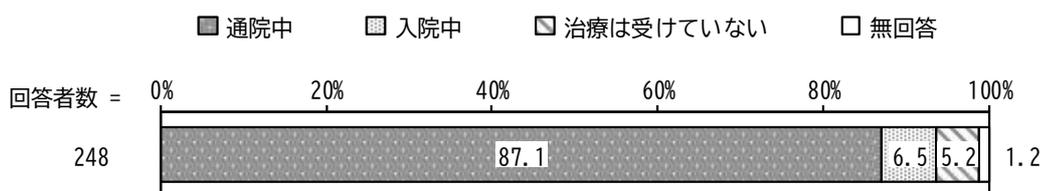
■ 病名[単数回答]



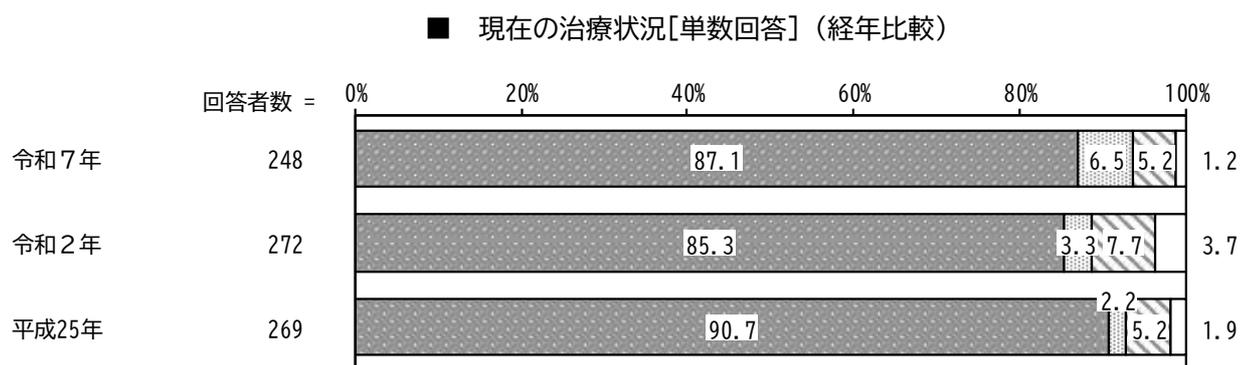
(4) 現在の治療状況

精神障害で現在の治療状況をみると、「通院中」の割合が87.1%、「入院中」の割合が6.5%、「治療は受けていない」の割合が5.2%となっています。

■ 現在の治療状況[単数回答]



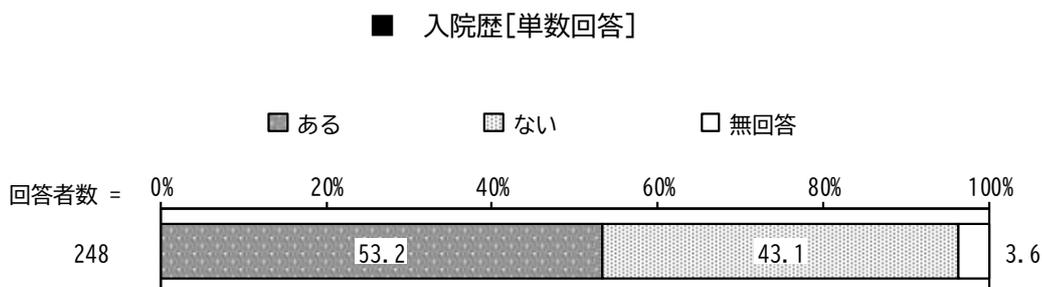
精神障害で現在の治療状況の経年比較をみると、大きな変化はみられません。



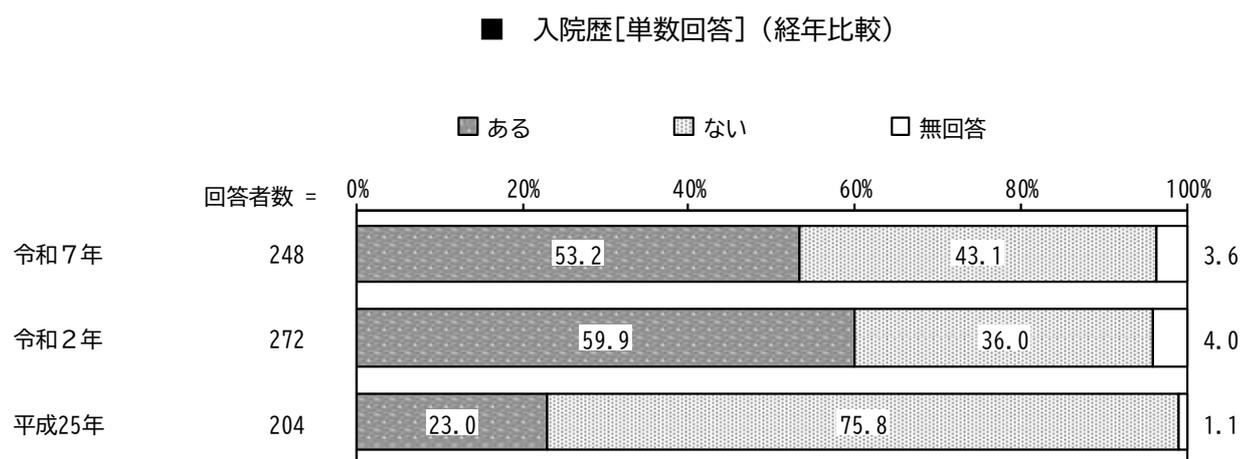
(5) 入院歴

① 入院歴

精神障害で入院歴をみると、「ある」の割合が53.2%、「ない」の割合が43.1%となっています。

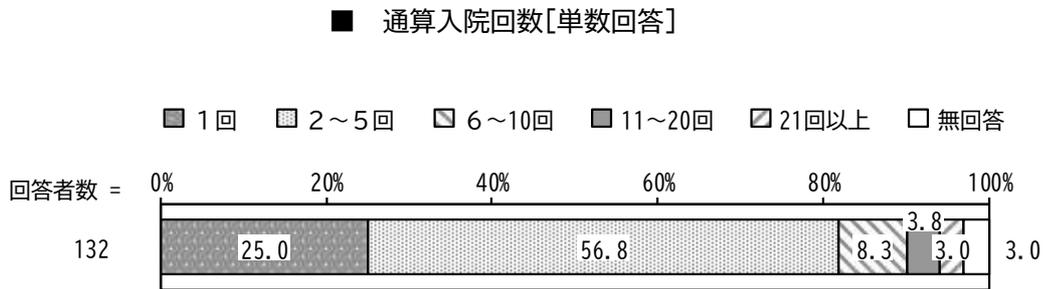


精神障害で入院歴の経年比較をみると、「ある」の割合が減少しています。



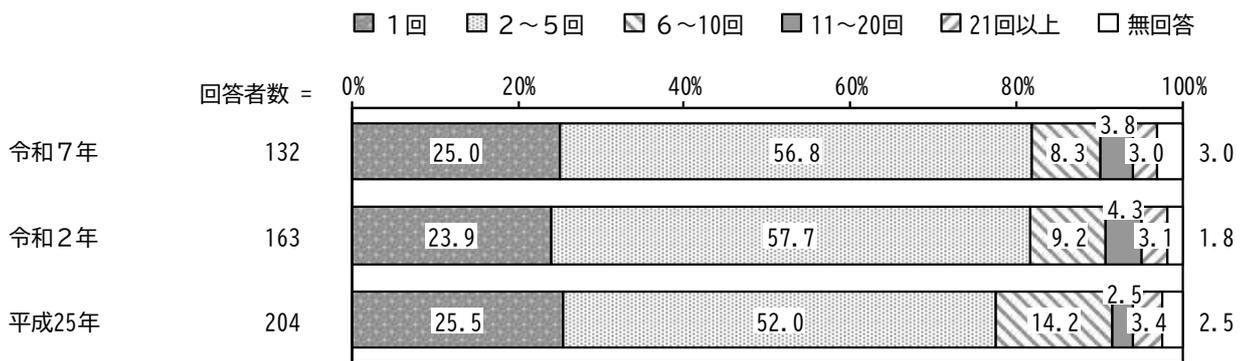
② 通算入院回数

精神障害で入院歴のある方の通算入院回数をみると、「2～5回」の割合が56.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が25.0%となっています。



精神障害で入院歴のある方の通算入院回数の経年比較をみると、大きな変化はみられません。

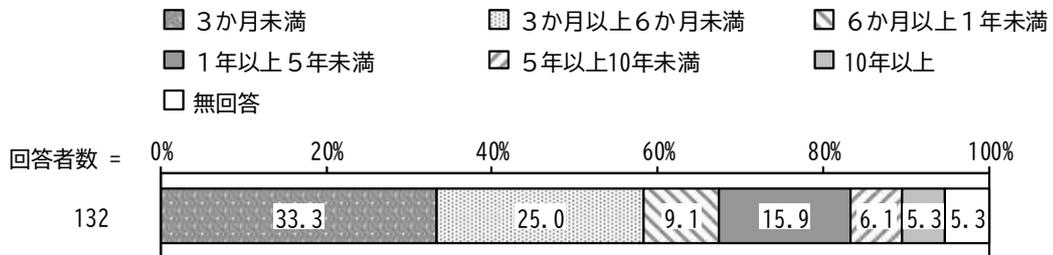
■ 通算入院回数[単数回答] (経年比較)



③ 通算入院日数

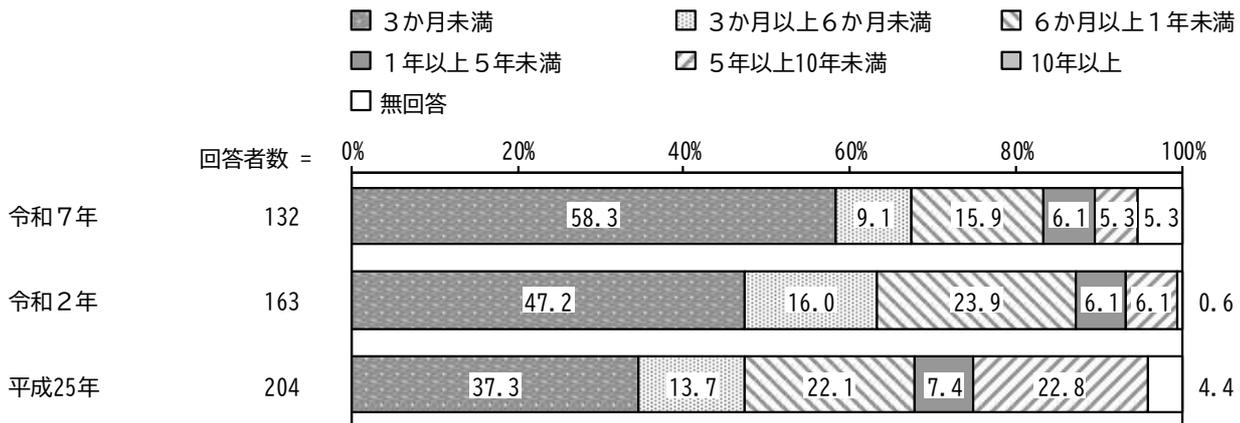
精神障害で入院歴のある方の通算入院日数をみると、「3か月未満」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3か月以上6か月未満」の割合が25.0%、「1年以上5年未満」の割合が15.9%となっています。

■ 通算入院日数[単数回答]



精神障害で入院歴のある方の通算入院日数の経年比較をみると、「3か月未満」は増加しています。

■ 通算入院日数[単数回答]（経年比較）

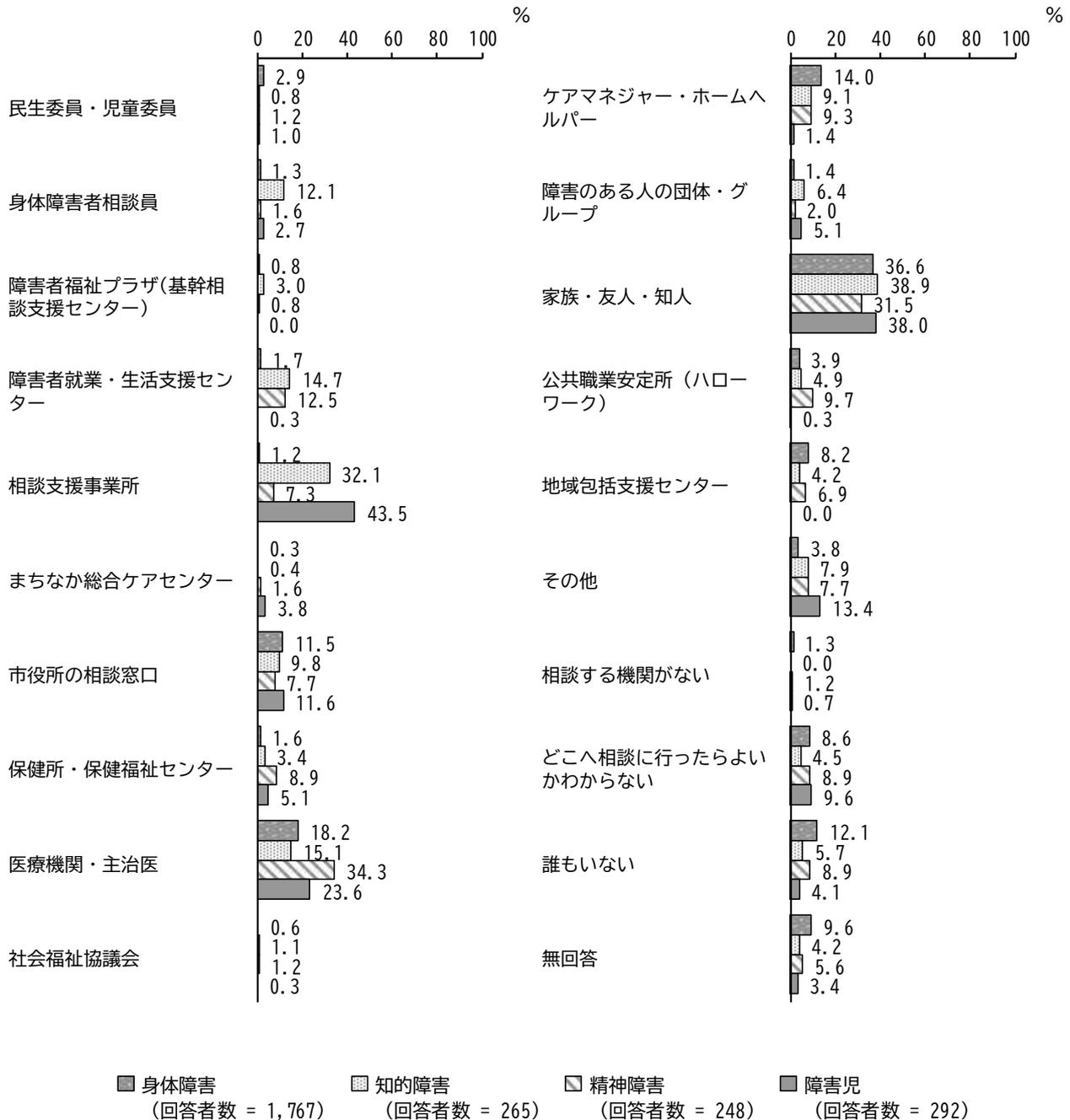


9 相談先について

(1) 医療・福祉サービスや就労における相談先

医療・福祉サービスや就労における相談先をみると、すべての障害で「家族・友人・知人」の割合が高くなっています。この他、知的障害、障害児は「相談支援事業所」、精神障害は「医療機関・主治医」の割合も高くなっています。

■ 医療・福祉サービスや就労における相談先[複数回答]

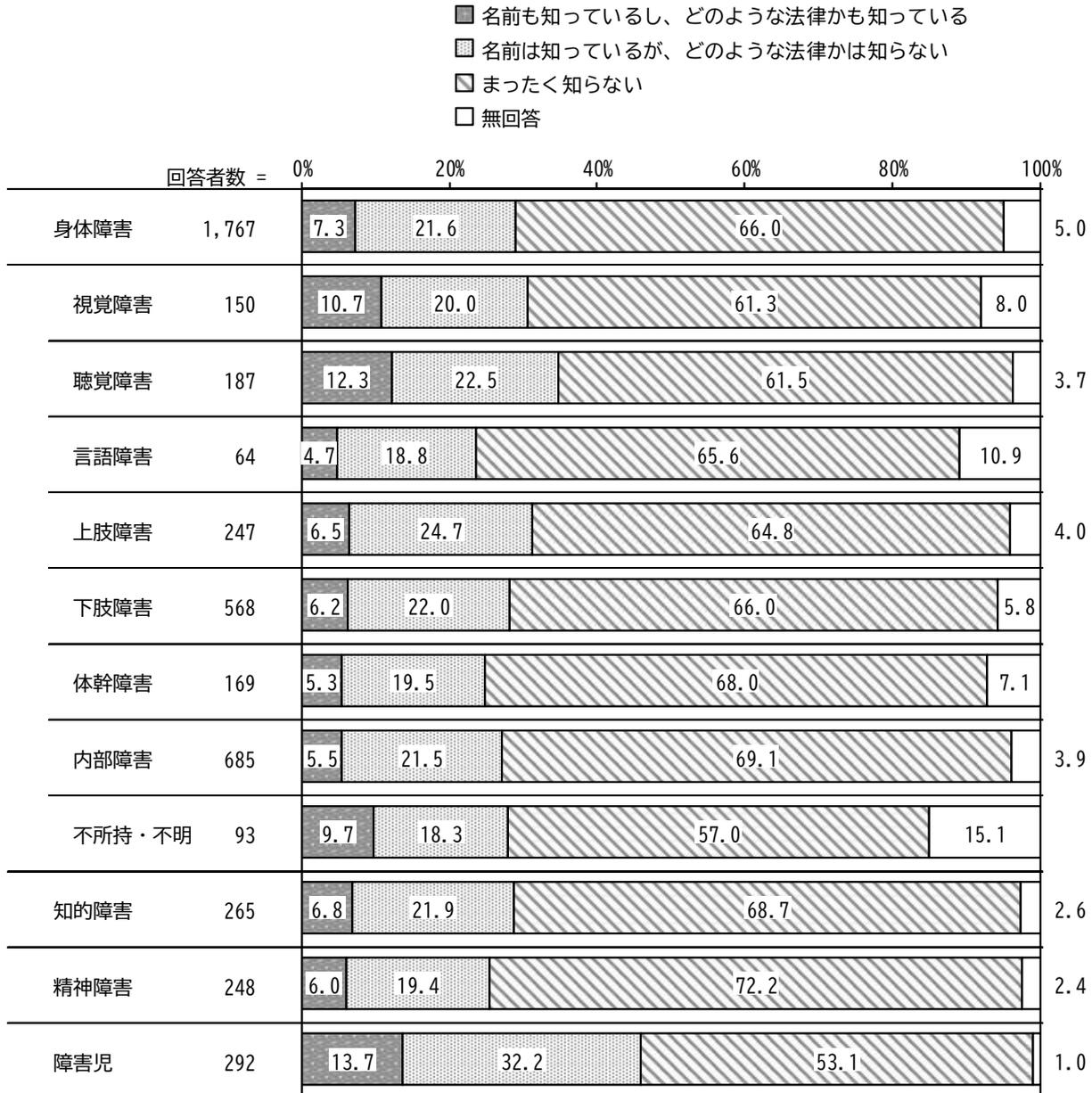


10 障害に関する法律について

(1) 障害者差別解消法の周知度

障害者差別解消法の周知度をみると、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」は障害児を除き1割未満となっています。「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」は、身体障害、知的障害、精神障害で約2割、障害児で約3割となっています。

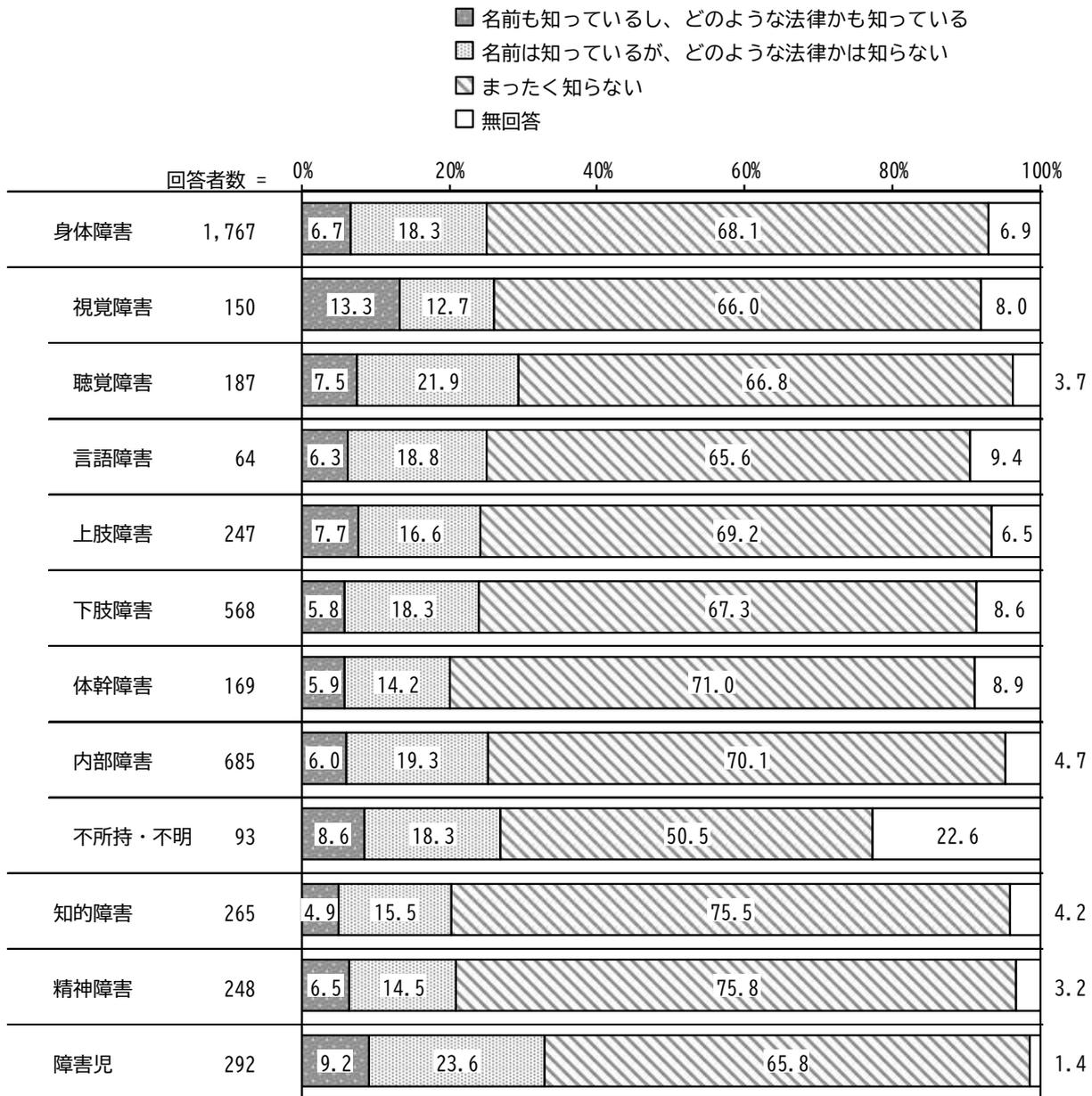
■ 障害者差別解消法の認知度[単数回答]



(2) 改正障害者雇用促進法の周知度

改正障害者雇用促進法の周知度をみると、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」はすべての障害で1割未満となっています。「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」は身体障害、障害児で約2割、知的障害、精神障害で約1割半となっています。

■ 改正障害者雇用促進法の周知度[単数回答]

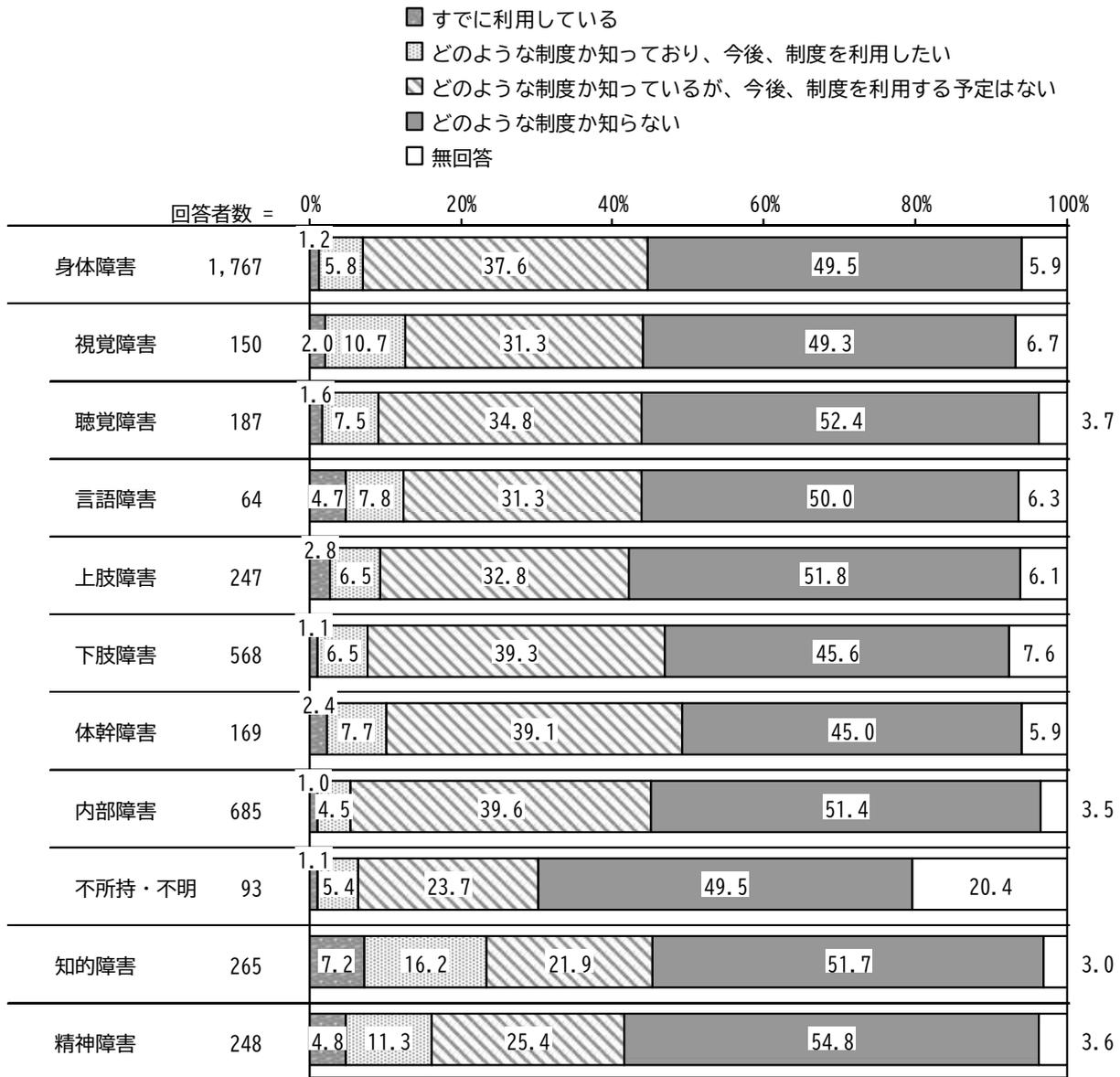


12 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の利用状況と利用希望

成年後見制度の利用状況と利用希望をみると、「すでに利用している」はいずれの障害も1割未満となっています。「どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい」は、知的障害で約1割半、精神障害で約1割となっています。

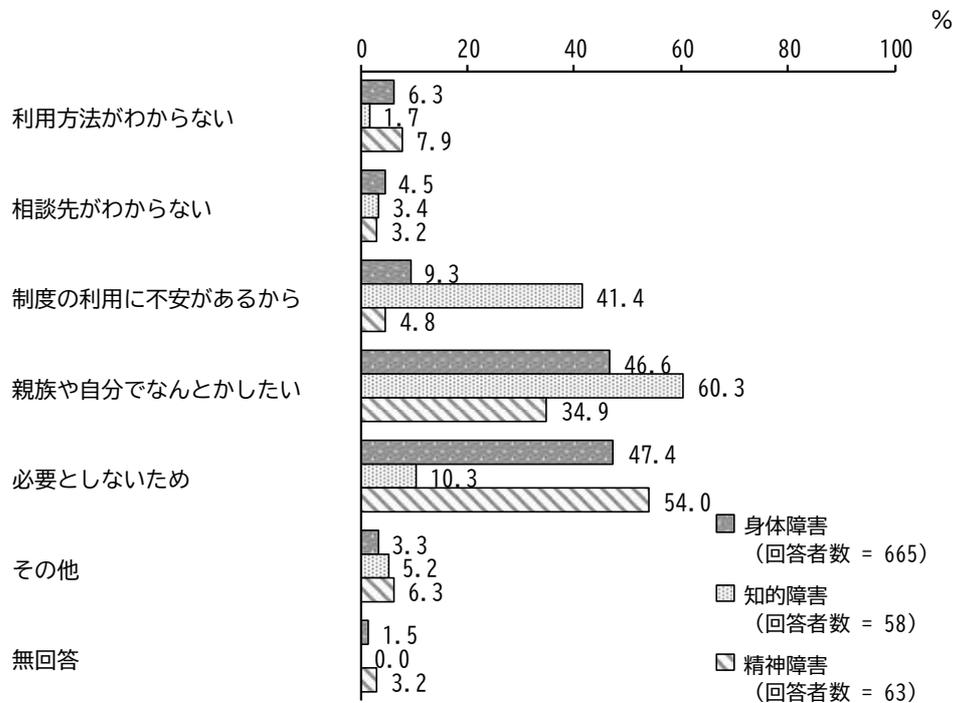
■ 成年後見制度の利用状況と利用希望[単数回答]



(2) 成年後見制度を利用しない理由

どのような制度か知っているが、今後成年後見制度を利用する予定はないの理由をみると、知的障害で「制度の利用に不安があるから」、身体障害、知的障害で「親族や自分でなんとかしたい」、身体障害、精神障害で「必要としないため」の割合が高くなっています。

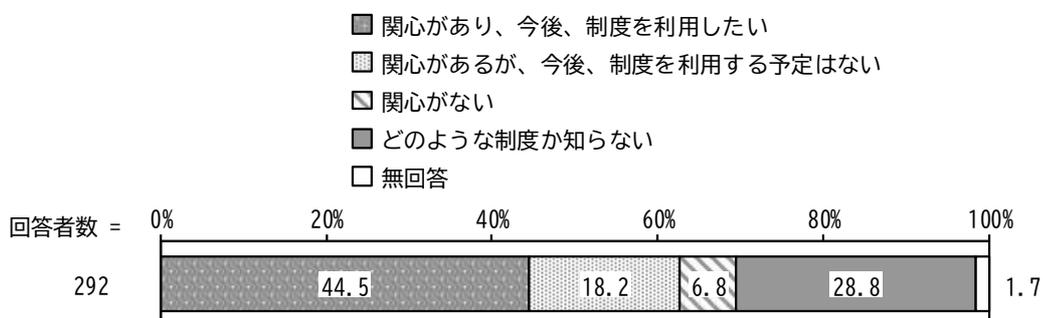
■ 成年後見制度を利用しない理由[複数回答]



(3) 成年後見制度への関心、利用意向

障害児で成年後見制度への関心、利用意向をみると、「関心があり、今後、制度を利用したい」の割合が44.5%と最も高く、次いで「どのような制度か知らない」の割合が28.8%、「関心があるが、今後、制度を利用する予定はない」の割合が18.2%となっています。

■ 成年後見制度への関心、利用意向[単数回答]

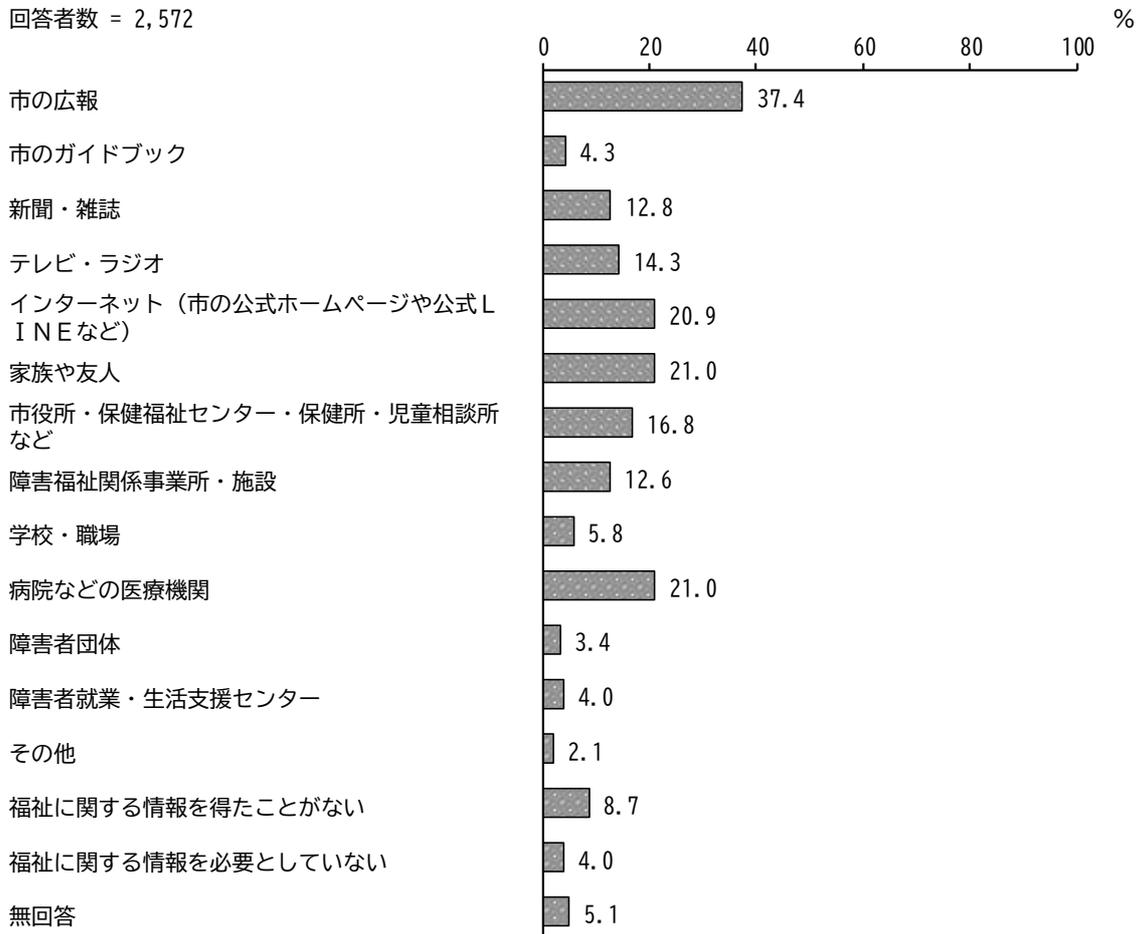


13 情報入手などについて

(1) 障害福祉に関する情報の入手先

障害福祉に関する情報の入手先をみると、「市の広報」の割合が最も高く、次いで「家族や友人」、「病院などの医療機関」、「インターネット（市の公式ホームページや公式LINEなど）」となっています。

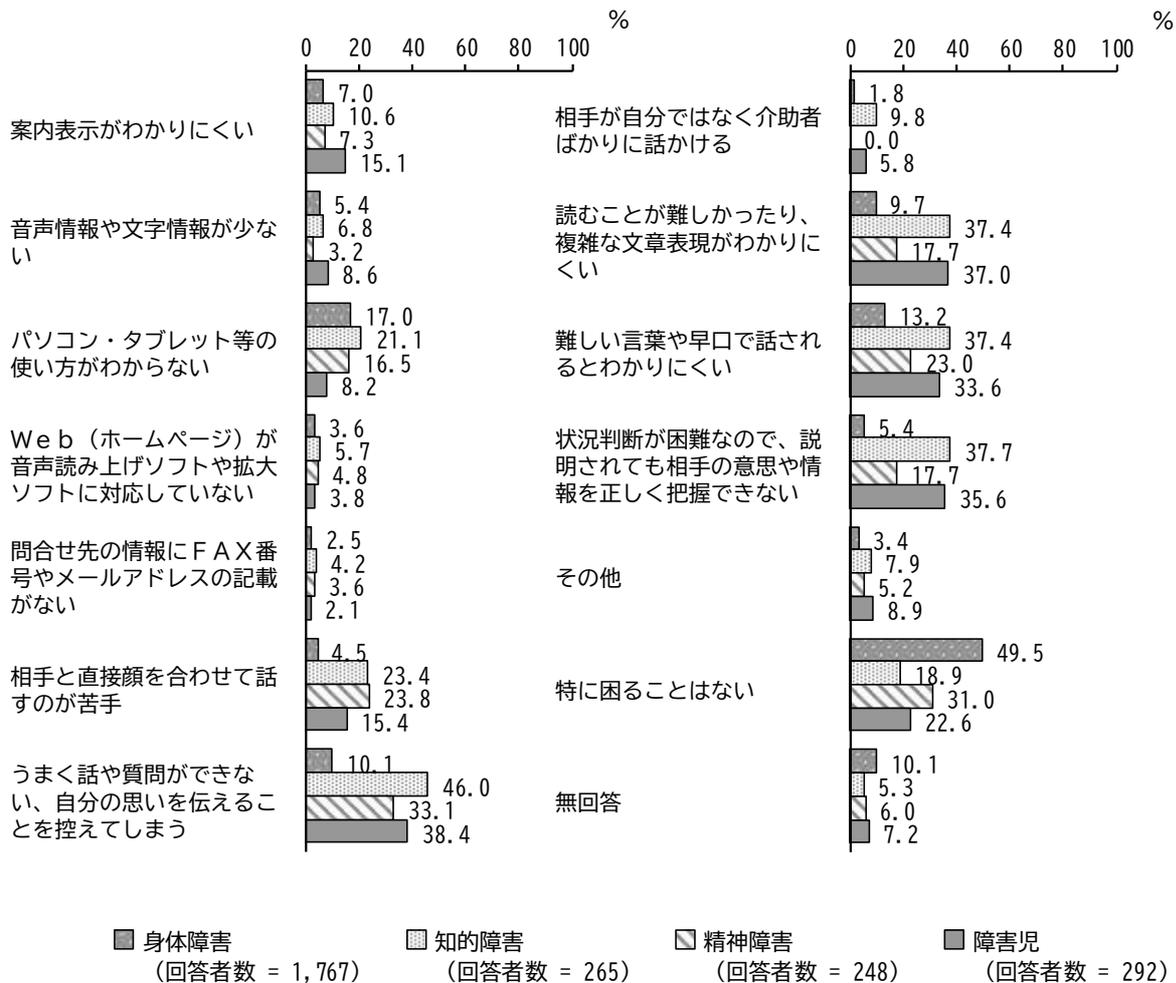
■ 障害福祉に関する情報の入手先[複数回答]



(2) 情報入手や意思疎通の際に困ること

情報入手や意思疎通の際に困ることをみると、身体障害は「特に困ることはない」、知的障害、精神障害、障害児で「うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう」、知的障害、障害児で「難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい」「読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい」「状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない」の割合が高くなっています。

■ 情報入手や意思疎通の際に困ること[複数回答]

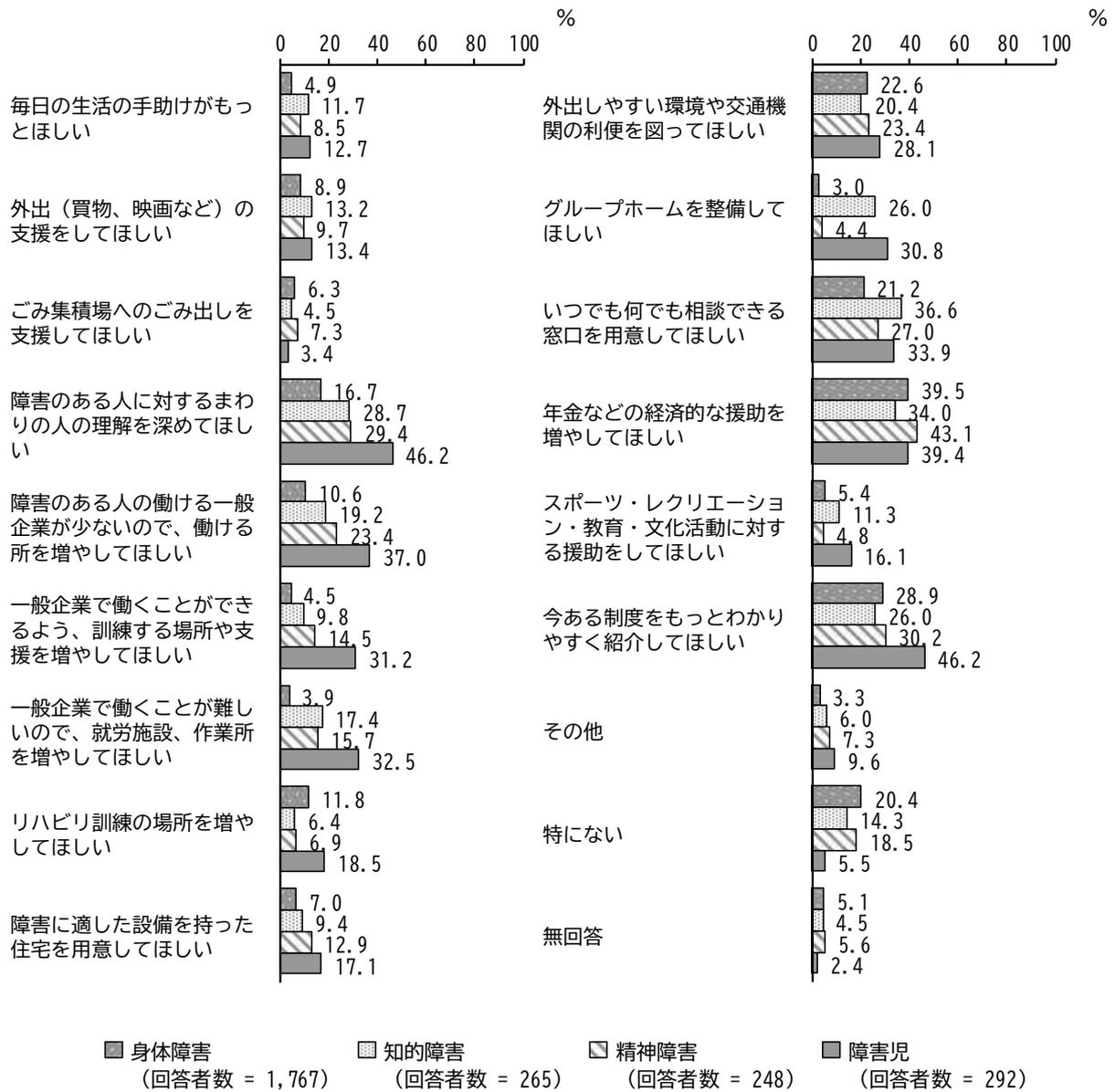


14 福祉施策について

(1) 暮らしやすくするためにしてほしいこと

暮らしやすくするためにしてほしいことをみると、いずれの障害でも「障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい」「いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい」「年金などの経済的な援助を増やしてほしい」「今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい」の割合が高くなっています。

■ 暮らしやすくするためにしてほしいこと[複数回答]

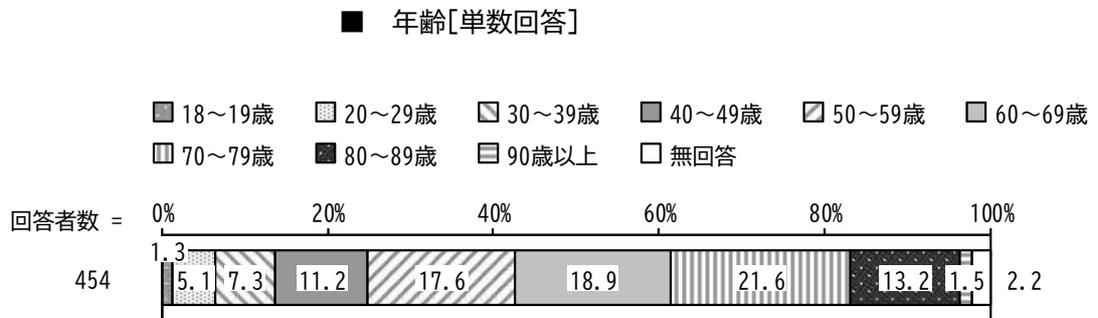


Ⅲ アンケート調査結果（障害のない市民）

1 回答者の基本属性

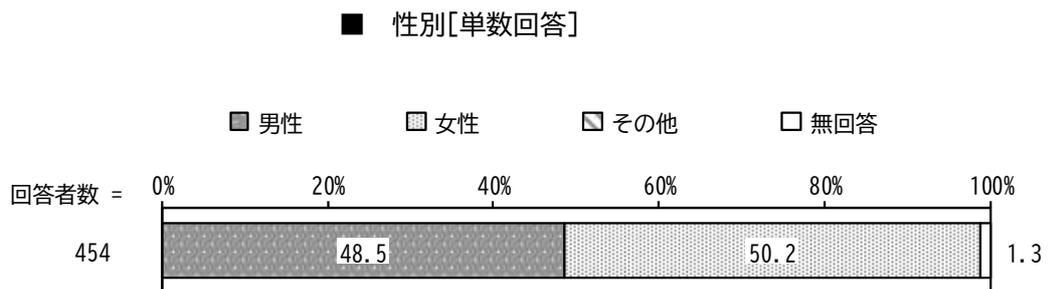
(1) 年齢

回答者の年齢は以下の通りです。



(2) 性別

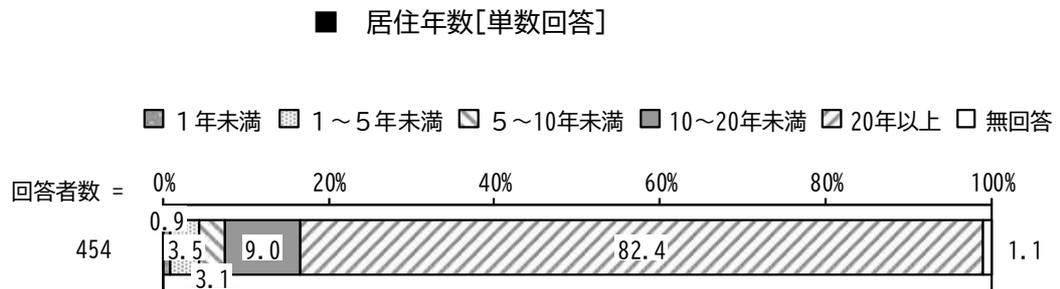
回答者の性別は以下の通りです。



2 お住いの地域について

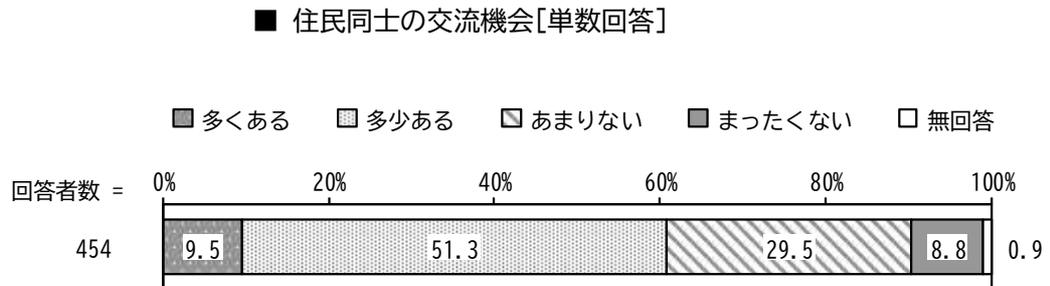
(1) 居住年数

「20年以上」の割合が82.4%と最も高くなっています。



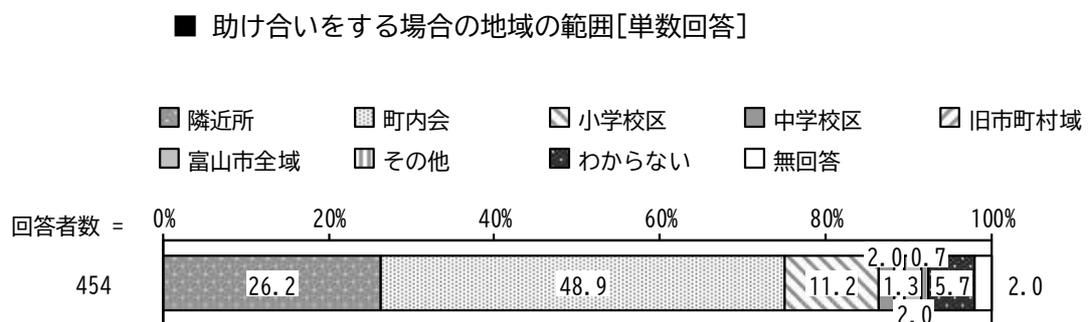
(2) 住民同士の交流機会

「多少ある」の割合が51.3%と最も高く、次いで「あまりない」の割合が29.5%となっています。



(3) 助け合いをする場合の地域の範囲

「町内会」の割合が48.9%と最も高く、次いで「隣近所」の割合が26.2%、「小学校区」の割合が11.2%となっています。

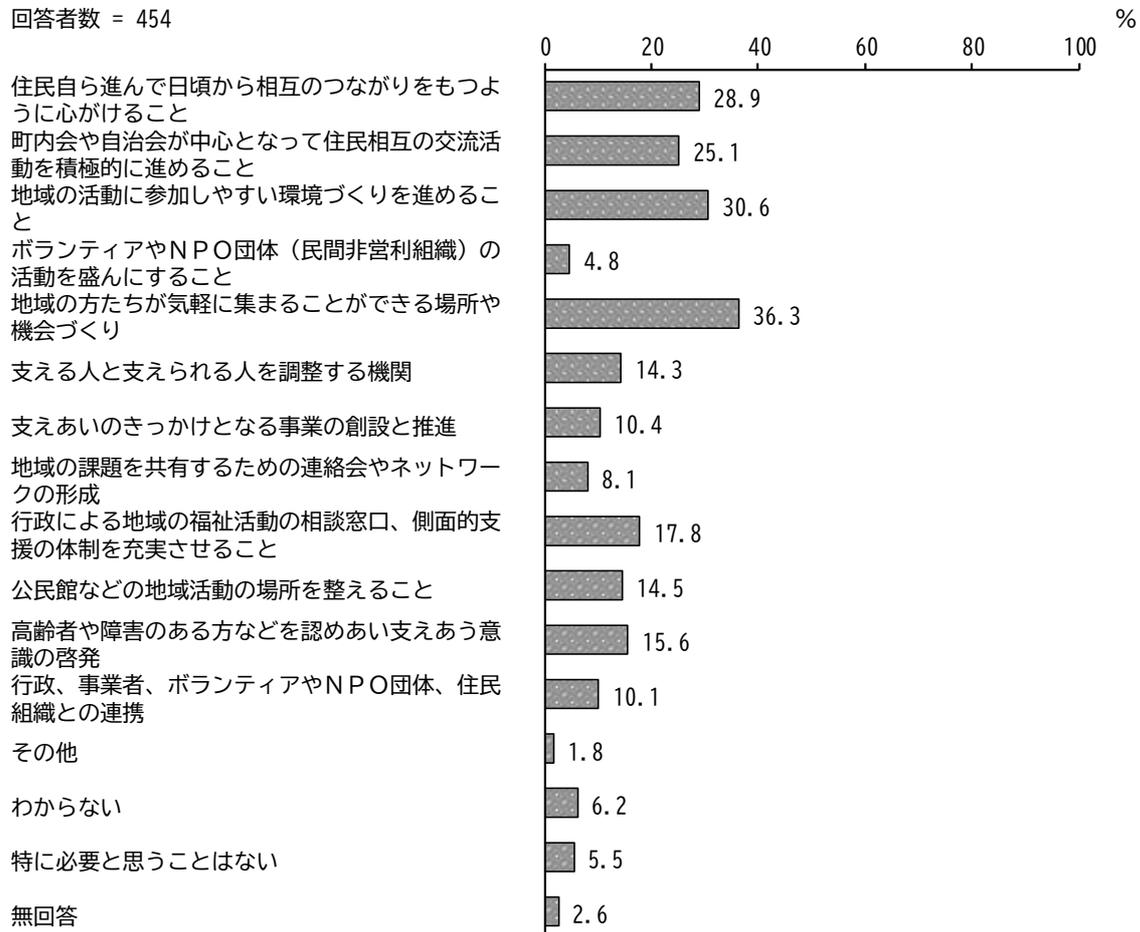


(4) 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと

「地域の方たちが気軽に集まることができる場所や機会づくり」の割合が36.3%と最も高く、次いで「地域の活動に参加しやすい環境づくりを進めること」の割合が30.6%、「住民自ら進んで日頃から相互のつながりをもつように心がけること」の割合が28.9%となっています。

■ 住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なこと[複数回答(3つまで)]

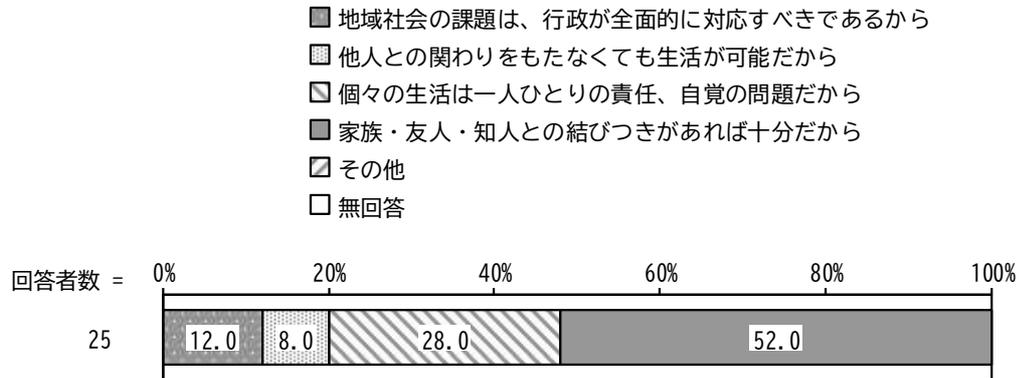
回答者数 = 454



(5) 特に必要と思うことはない理由

住民相互の支えあいの仕組みづくりに必要なことで、特に思うことはないと回答した方の理由をみると「家族・友人・知人との結びつきがあれば十分だから」の割合が52.0%と最も高く、次いで「個々の生活は一人ひとりの責任、自覚の問題だから」の割合が28.0%、「地域社会の課題は、行政が全面的に対応すべきであるから」の割合が12.0%となっています。

■ 特に必要と思うことはない理由[単数回答]

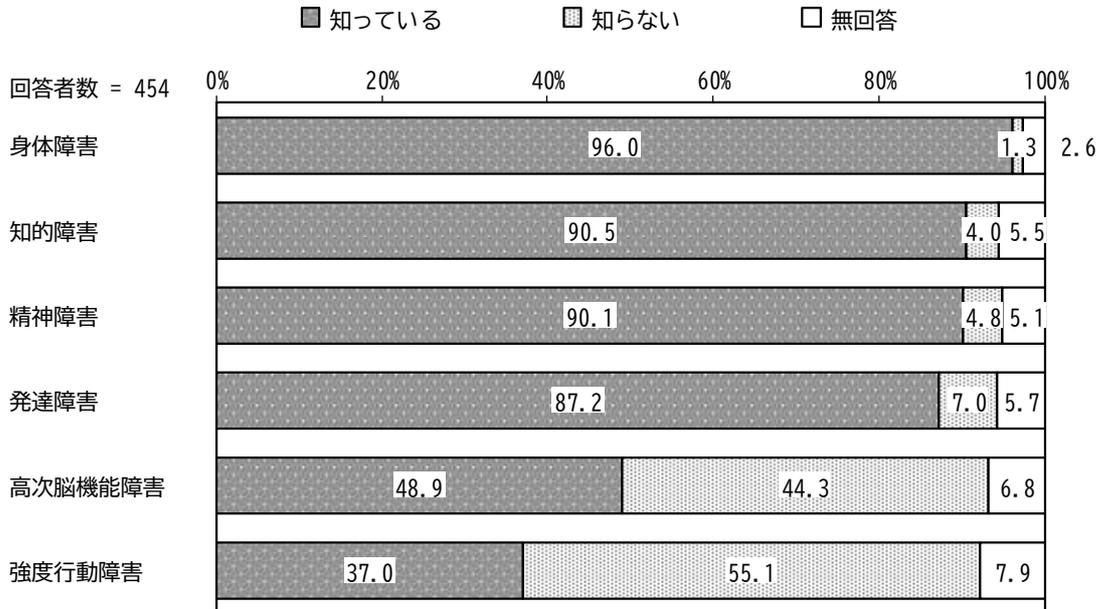


3 障害への理解について

(1) 障害種別の周知度

障害種別の周知度をみると「知っている」の割合が身体障害が96.0%、知的障害が90.5%、精神障害が90.1%、発達障害が87.2%、高次脳機能障害が48.9%、強度行動障害が37.0%となっています。

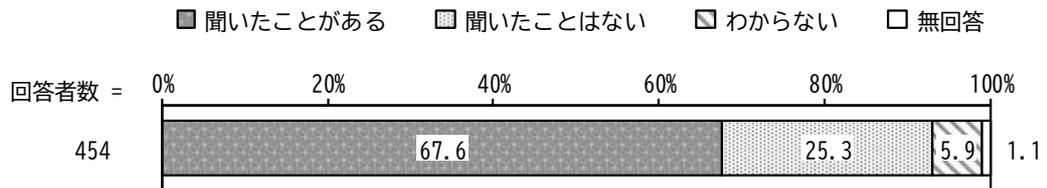
■ 障害種別の周知度[単数回答]



(2) 「共生社会」の周知度

「共生社会」の周知度をみると、「聞いたことがある」が67.6%、「聞いたことはない」が25.3%となっています。

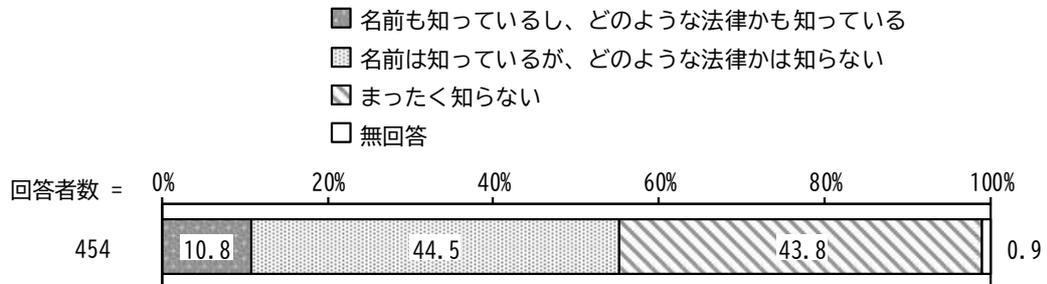
■ 「共生社会」の周知度[単数回答]



(3) 障害者差別解消法の周知度

障害者差別解消法の周知度をみると、「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」(44.5%)が最も多く、次いで「まったく知らない」(43.8%)、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」(10.8%)の順となっています。

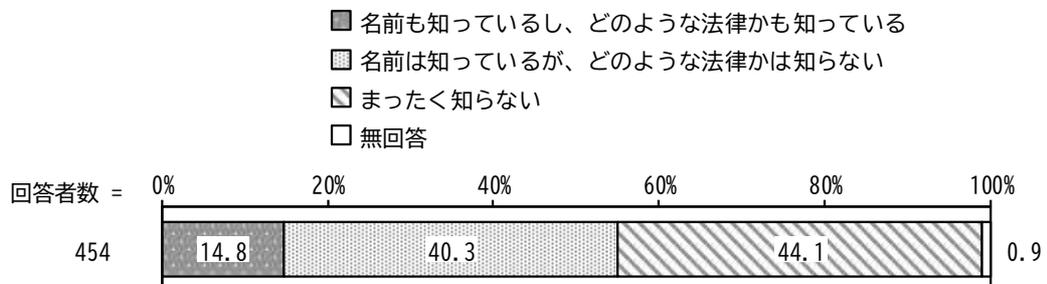
■ 障害者差別解消法の周知度[単数回答]



(4) 改正障害者雇用促進法の周知度

改正障害者雇用促進法の周知度をみると、「まったく知らない」(44.1%)が最も多く、次いで「名前は知っているが、どのような法律かは知らない」(40.3%)、「名前も知っているし、どのような法律かも知っている」(14.8%)の順となっています。

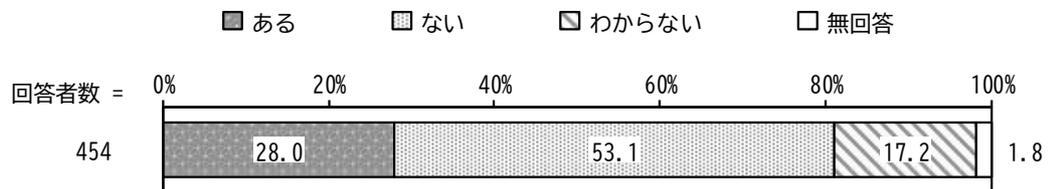
■ 改正障害者雇用促進法の周知度[単数回答]



(5) 障害を理由とした差別への遭遇

障害を理由とした差別への遭遇をみると、「ある」の割合が28.0%、「ない」の割合が53.1%となっています。

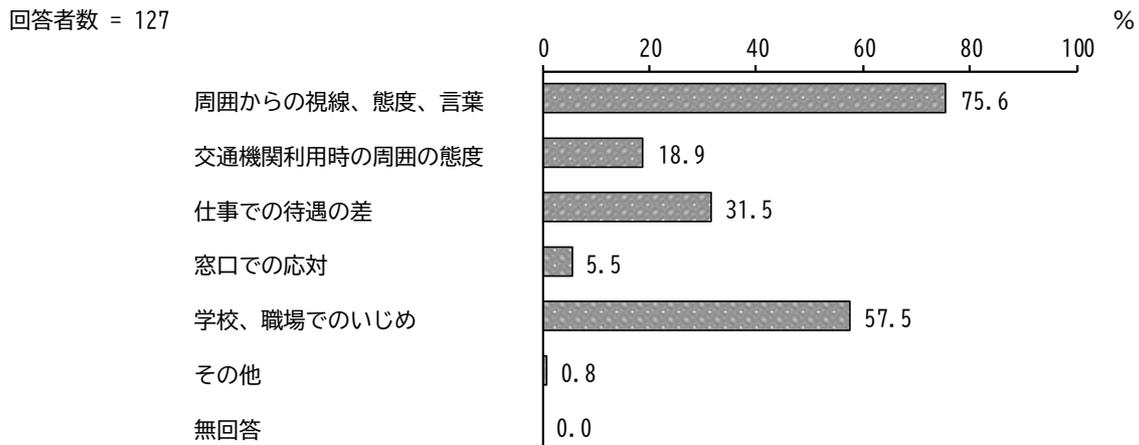
■ 障害を理由とした差別への遭遇[単数回答]



(6) 遭遇した差別の内容

障害を理由とした差別に遭遇したことがある方の内容をみると、「周囲からの視線、態度、言葉」の割合が75.6%と最も高く、次いで「学校、職場でのいじめ」の割合が57.5%、「仕事での待遇の差」の割合が31.5%となっています。

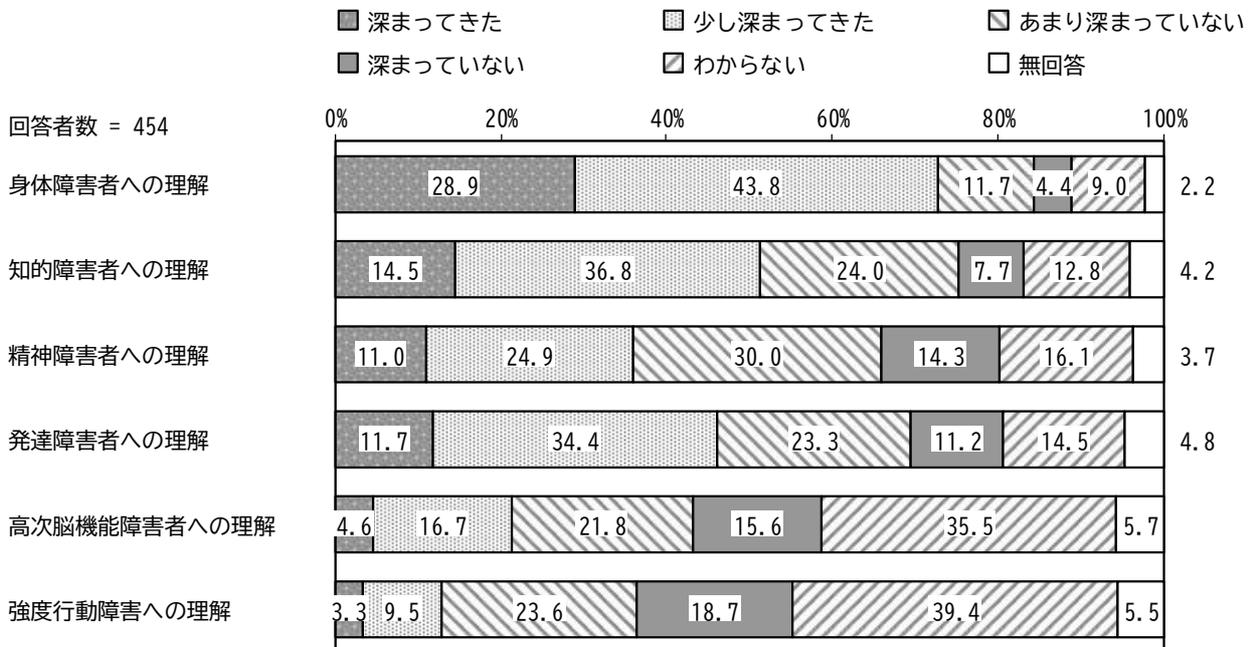
■ 遭遇した差別の内容[複数回答]



(7) 障害に対する理解の浸透度

障害に対する理解の浸透度をみると、「深まってきた」「少し深まってきた」の合計割合は、身体障害者で72.7%、知的障害者で51.3%、精神障害者で35.9%、発達障害者で46.1%、高次脳機能障害者で21.3%、強度行動障害で12.8%となっています。

■ 障害に対する理解の浸透度[単数回答]

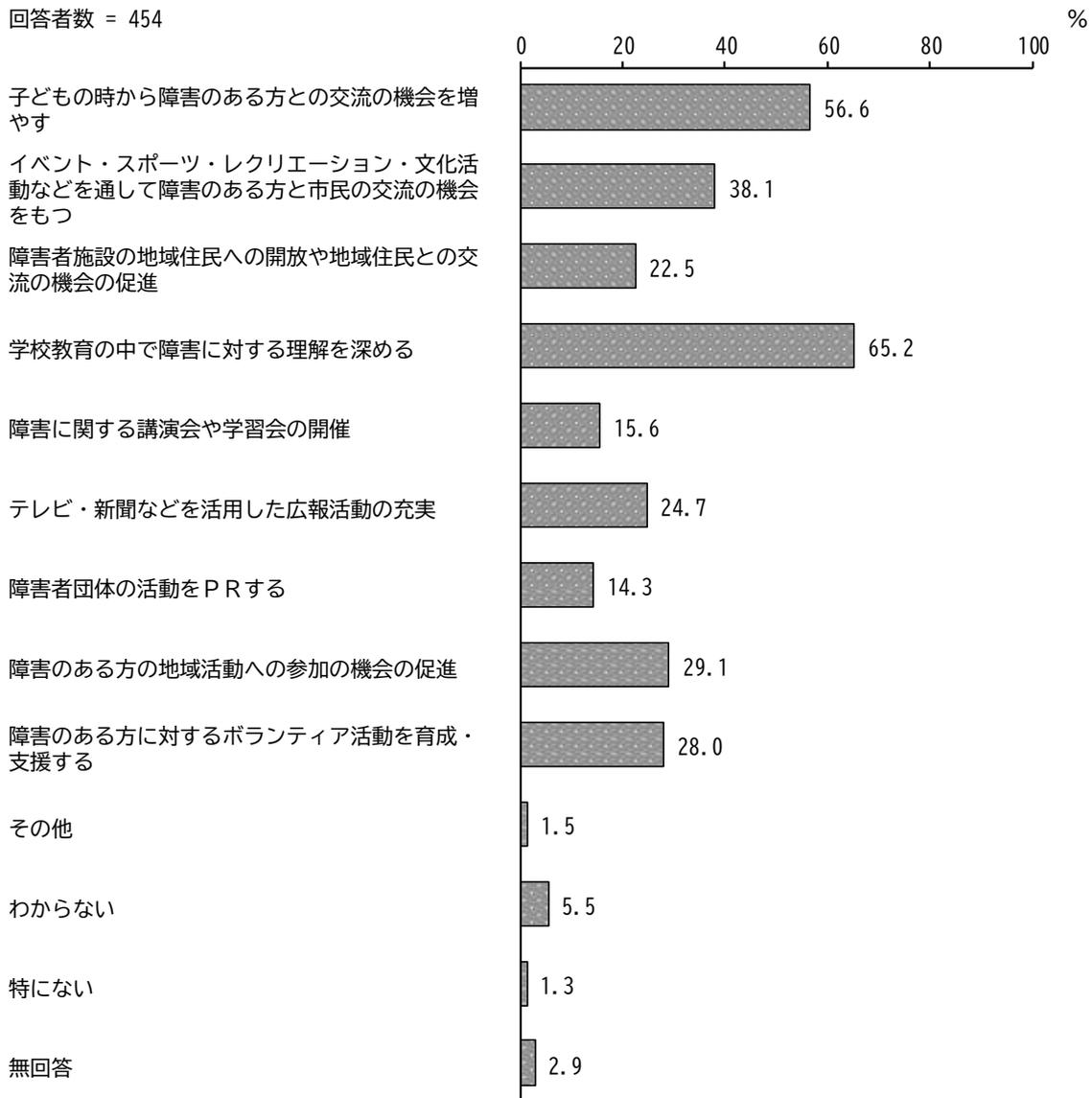


(8) 障害に対する理解を深めるために必要な取組

障害に対する理解を深めるために必要な取組をみると、「学校教育の中で障害に対する理解を深める」の割合が65.2%と最も高く、次いで「子どもの時から障害のある方との交流の機会を増やす」の割合が56.6%、「イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通して障害のある方と市民の交流の機会をもつ」の割合が38.1%となっています。

■ 障害に対する理解を深めるために必要な取組[複数回答]

回答者数 = 454

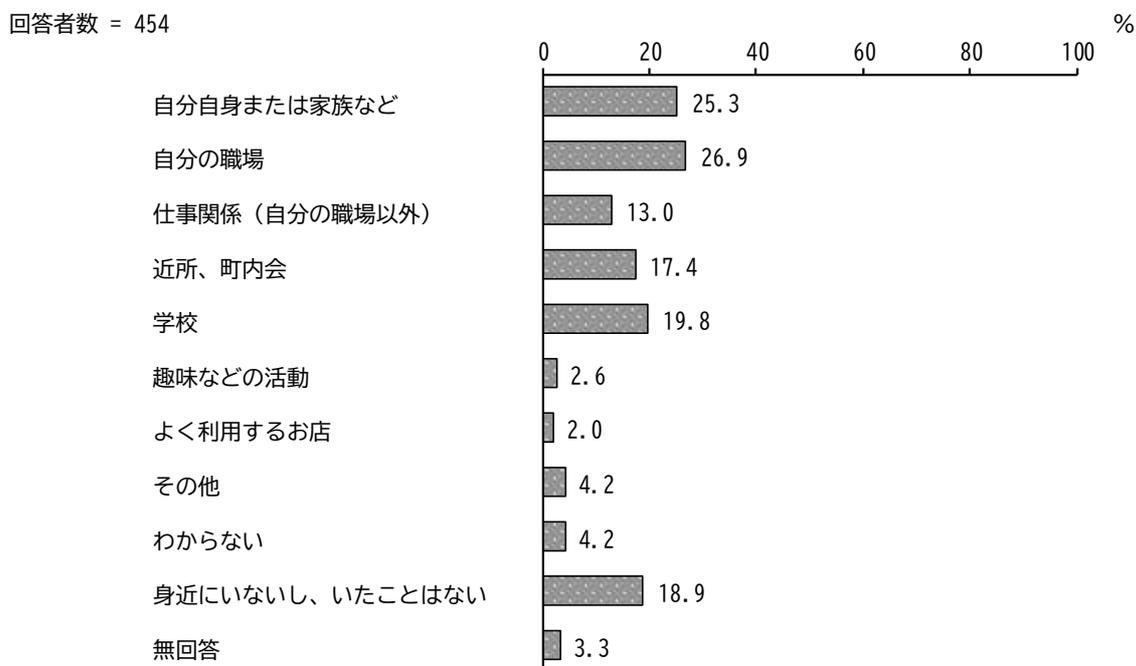


4 障害のある方との関わりについて

(1) 周囲における障害者の有無

周囲における障害者の有無をみると、「自分の職場」の割合が26.9%と最も高く、次いで「自分自身または家族など」の割合が25.3%、「学校」の割合が19.8%となっています。

■ 周囲における障害者の有無[複数回答]

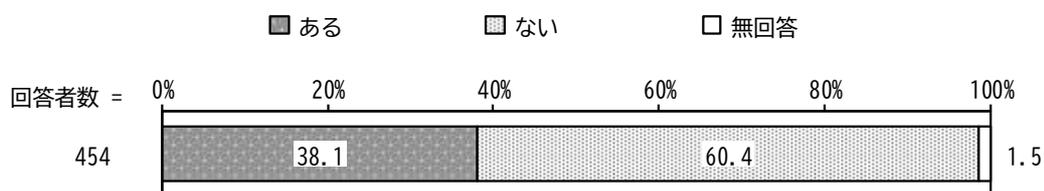


(2) 障害者への手助けについて

① 障害者への手助けの経験の有無

障害者への手助けの経験の有無をみると、「ある」の割合が38.1%、「ない」の割合が60.4%となっています。

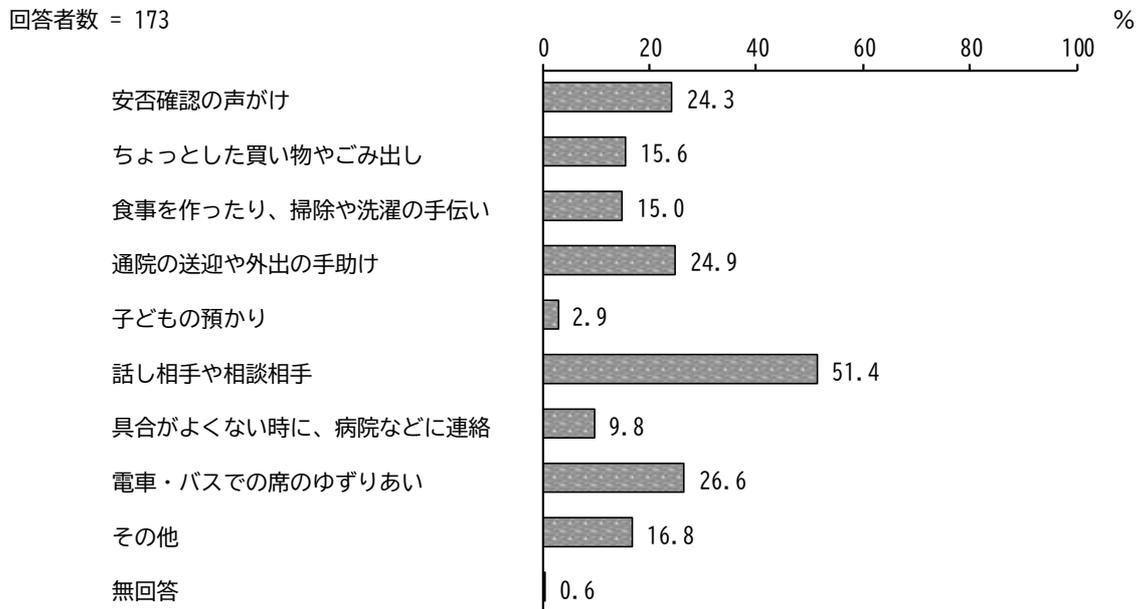
■ 障害者への手助けの経験の有無[単数回答]



② 手助けの内容

障害者への手助けの経験がある方の手助けの内容をみると、「話し相手や相談相手」の割合が51.4%と最も高く、次いで「電車・バスでの席のゆずりあい」の割合が26.6%、「通院の送迎や外出の手助け」の割合が24.9%となっています。

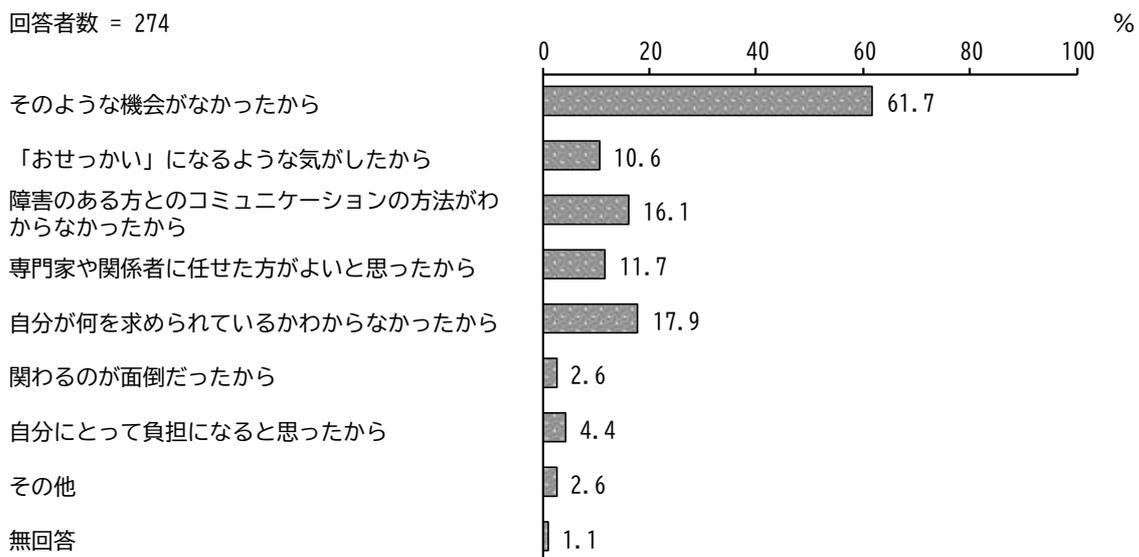
■ 手助けの内容[複数回答]



③ 手助けの経験がない理由

障害者への手助けの経験がない方の理由をみると、「そのような機会がなかったから」の割合が61.7%と最も高く、次いで「自分が何を求められているかわからなかったから」の割合が17.9%、「障害のある方とのコミュニケーションの方法がわからなかったから」の割合が16.1%となっています。

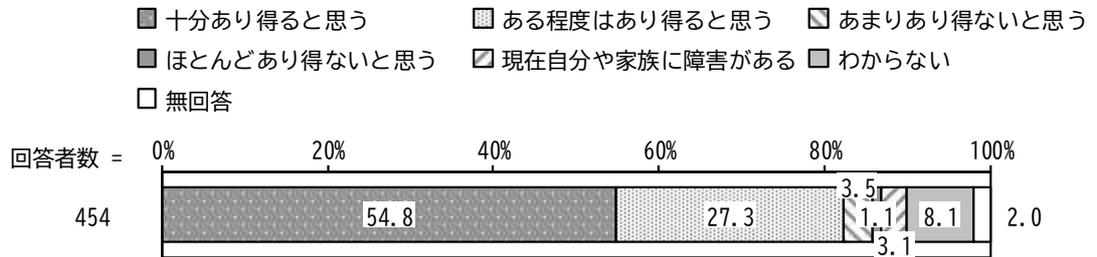
■ 手助けの経験がない理由[複数回答]



(3) 自分や家族が障害状態になる可能性の認識

自分や家族が障害状態になる可能性の認識をみると、「十分あり得ると思う」の割合が54.8%と最も高く、次いで「ある程度はあり得ると思う」の割合が27.3%となっています。

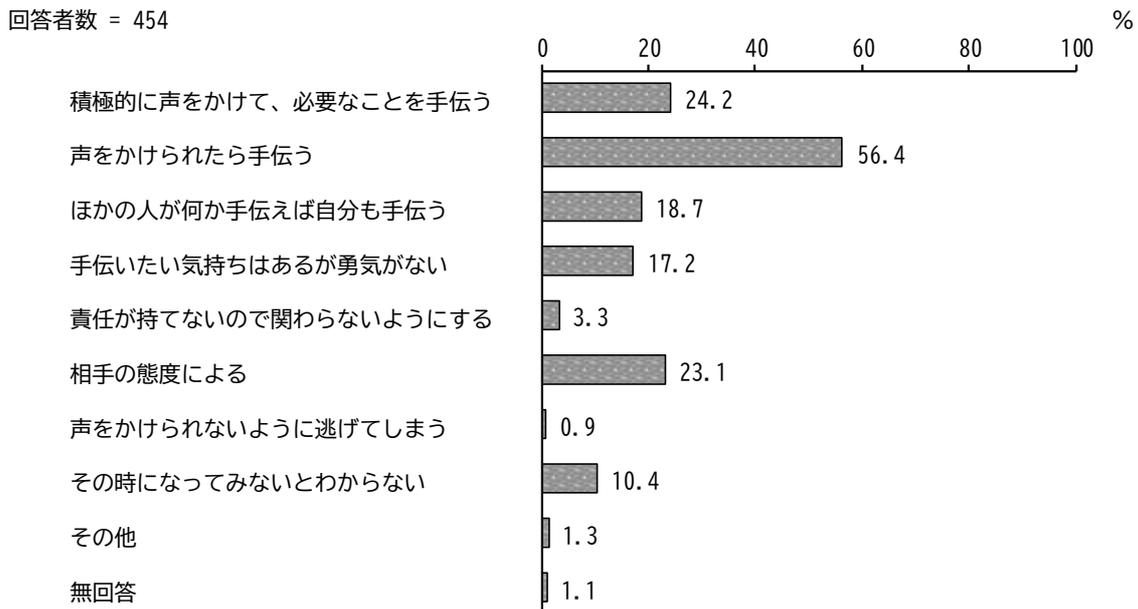
■ 自分や家族が障害状態になる可能性の認識[単数回答]



(4) 街中で障害者に出会った時の対応

街中で障害者に出会った時の対応をみると、「声をかけられたら手伝う」の割合が56.4%と最も高く、次いで「積極的に声をかけて、必要なことを手伝う」の割合が24.2%、「相手の態度による」の割合が23.1%となっています。

■ 街中で障害者に出会った時の対応[複数回答]

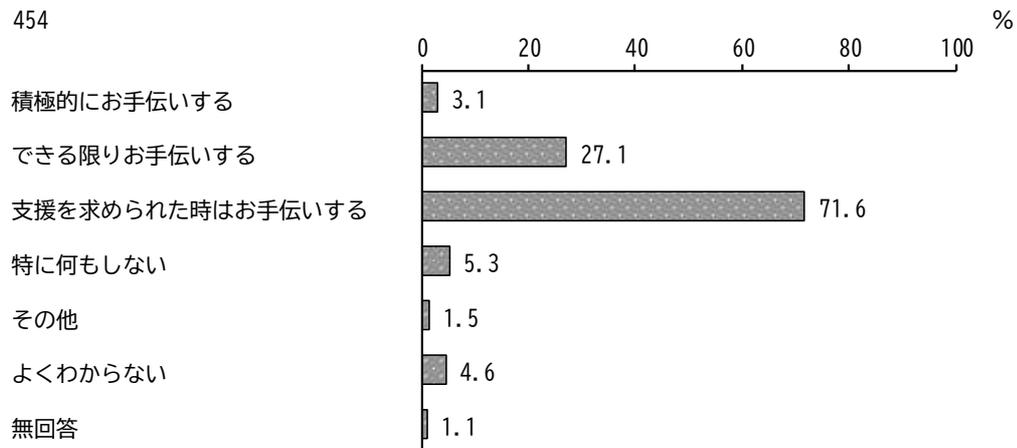


(5) 近所で障害のために困っている世帯への対応

近所で障害のために困っている世帯への対応をみると、「支援を求められた時はお手伝いする」の割合が71.6%と最も高く、次いで「できる限りお手伝いする」の割合が27.1%となっています。

■ 近所で障害のために困っている世帯への対応[複数回答]

回答者数 = 454

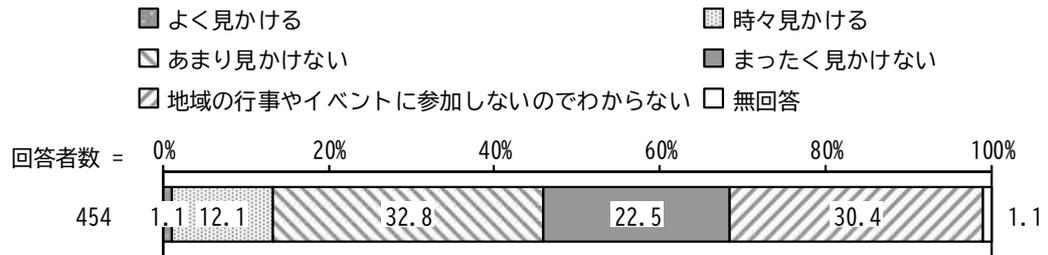


5 障害のある方の社会参加について

(1) 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況

地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況をみると、「あまり見かけない」の割合が32.8%と最も高く、次いで「まったく見かけない」の割合が22.5%、「時々見かける」の割合が12.1%となっています。

■ 地域の行事やイベントでの障害のある方の参加状況[単数回答]

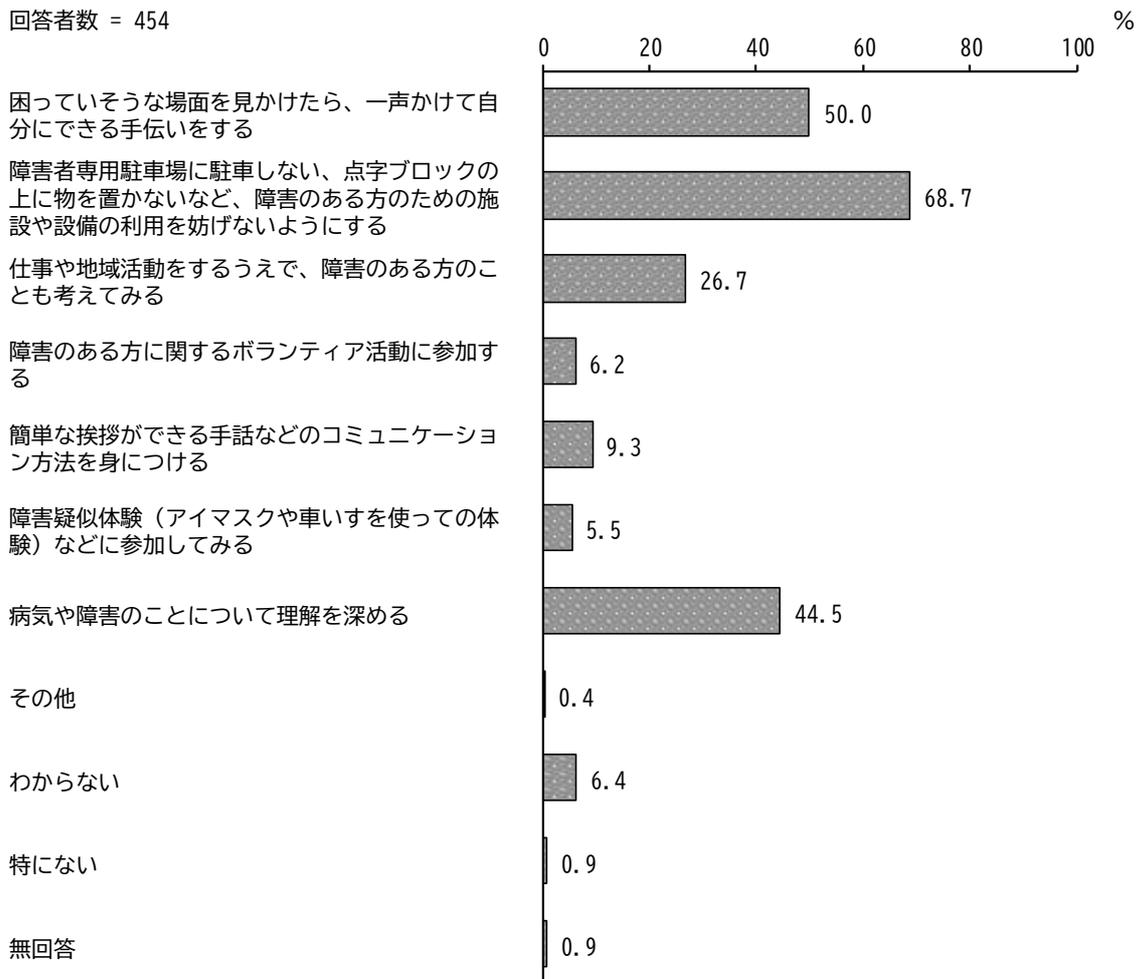


(2) 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること

障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できることをみると、「障害者専用駐車場に駐車しない、点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある方のための施設や設備の利用を妨げないようにする」の割合が68.7%と最も高く、次いで「困っていそうな場面を見かけたら、一声かけて自分にできる手伝いをする」の割合が50.0%、「病気や障害のことについて理解を深める」の割合が44.5%となっています。

■ 障害のある方の社会参加の機会拡大で自分が貢献できること[複数回答]

回答者数 = 454

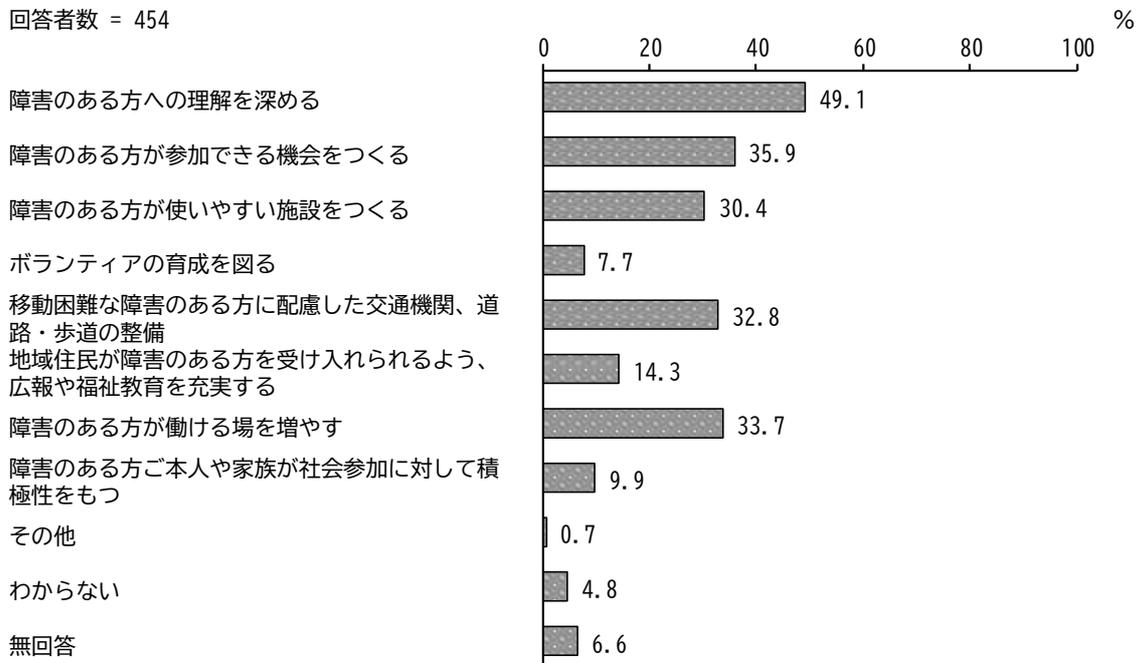


(3) 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと

障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なことをみると、「障害のある方への理解を深める」の割合が49.1%と最も高く、次いで「障害のある方が参加できる機会をつくる」の割合が35.9%、「障害のある方が働ける場を増やす」の割合が33.7%となっています。

■ 障害のある方が地域や社会に積極的に参加するために必要なこと[複数回答(3つまで)]

回答者数 = 454



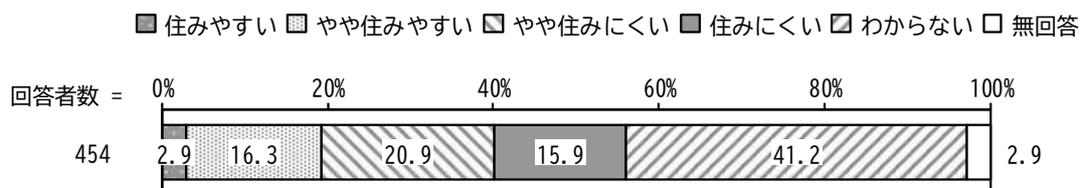
6 障害のある方の地域生活について

(1) 住みやすさについて

① お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいか

お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいかをみると、「住みやすい」「やや住みやすい」を合わせた割合が19.2%、「やや住みにくい」「住みにくい」を合わせた割合が36.8%となっています。

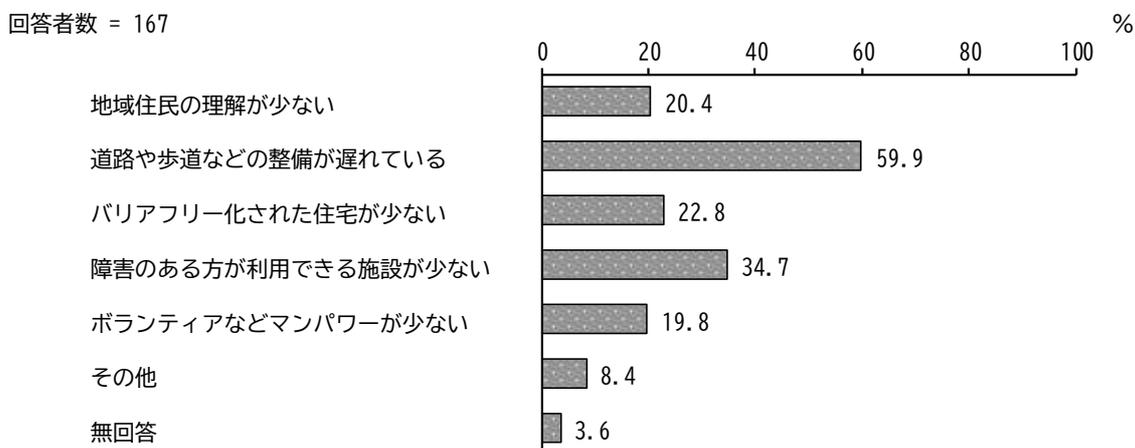
■ お住いの地域は障害のある方にとって住みやすいか[単数回答]



② 住みにくいと思う理由

お住まいの地域は障害のある方にとって住みやすいかの回答で、住みにくいと回答した方の理由をみると、「道路や歩道などの整備が遅れている」の割合が59.9%と最も高く、次いで「障害のある方が利用できる施設が少ない」の割合が34.7%、「バリアフリー化された住宅が少ない」の割合が22.8%となっています。

■ 住みにくいと思う理由[複数回答（2つまで）]

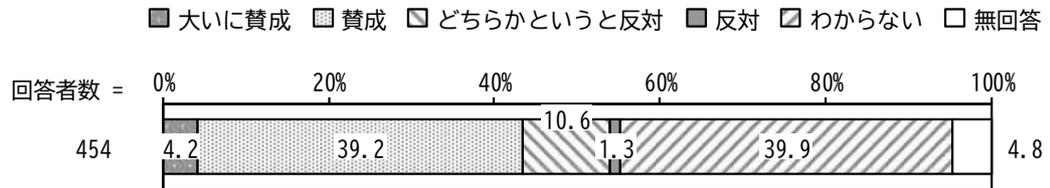


(2) 障害のある方の地域移行について

① 障害のある方の地域移行について

障害のある方の地域移行についてどのように思うかをみると、「大いに賛成」「賛成」を合わせた割合が43.4%、「どちらかという反対」「反対」を合わせた割合が11.9%となっています。

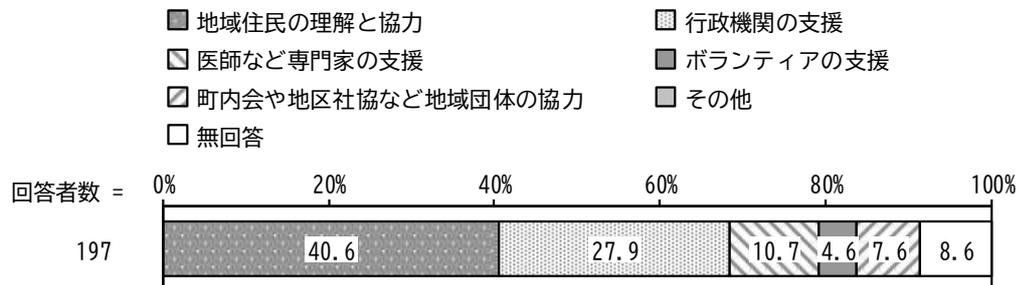
■ 障害のある方の地域移行についてどのように思うか[単数回答]



② 地域移行のための必要な基盤

障害のある方の地域移行についてどのように思うかで「大いに賛成」「賛成」と回答した方の地域移行のための必要な基盤をみると、「地域住民の理解と協力」の割合が40.6%と最も高く、次いで「行政機関の支援」の割合が27.9%、「医師など専門家の支援」の割合が10.7%となっています。

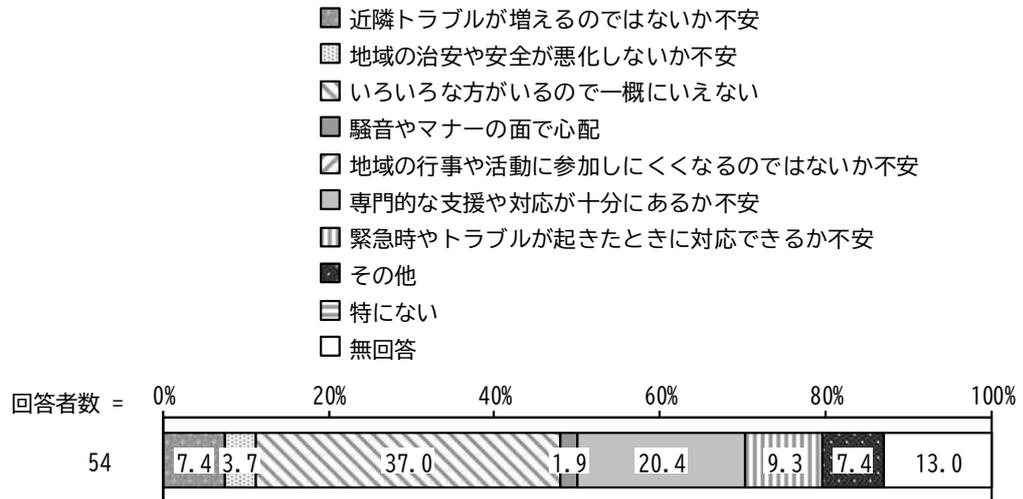
■ 地域移行を進めるために必要な基盤[単数回答]



② 地域移行に反対する理由

障害のある方の地域移行についてどのように思うかで「どちらかというとなら反対」「反対」と回答した方の理由をみると「いろいろな方がいるので一概にいけない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「専門的な支援や対応が十分にあるか不安」の割合が20.4%となっています。

■ 地域移行に反対する理由[単数回答]

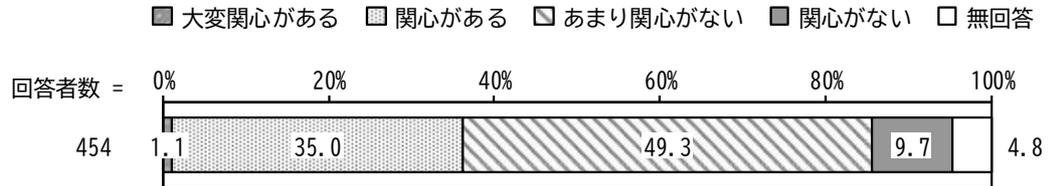


7 ボランティアについて

(1) ボランティアの関心度

ボランティアの関心度をみると、「大変関心がある」「関心がある」を合わせた割合が36.1%、「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた割合が59.0%となっています。

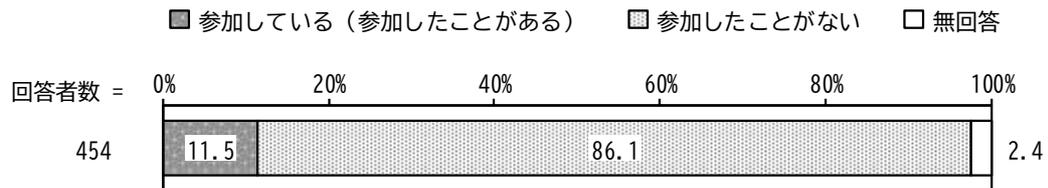
■ ボランティアの関心度[単数回答]



(2) ボランティア活動への参加の有無

ボランティア活動への参加の有無をみると、「参加している(参加したことがある)」の割合が11.5%、「参加したことがない」の割合が86.1%となっています。

■ ボランティア活動への参加の有無[単数回答]

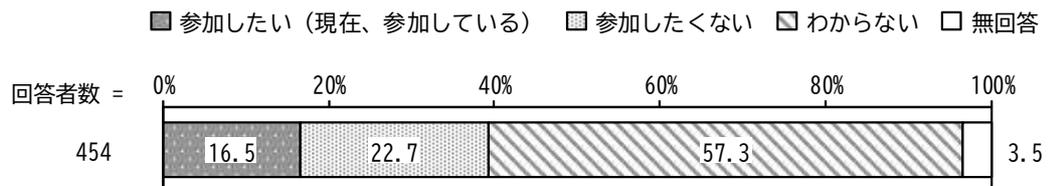


(3) 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向

① 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向

障害のある方に関わるボランティアへの参加意向をみると、「わからない」の割合が57.3%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が22.7%、「参加したい(現在、参加している)」の割合が16.5%となっています。

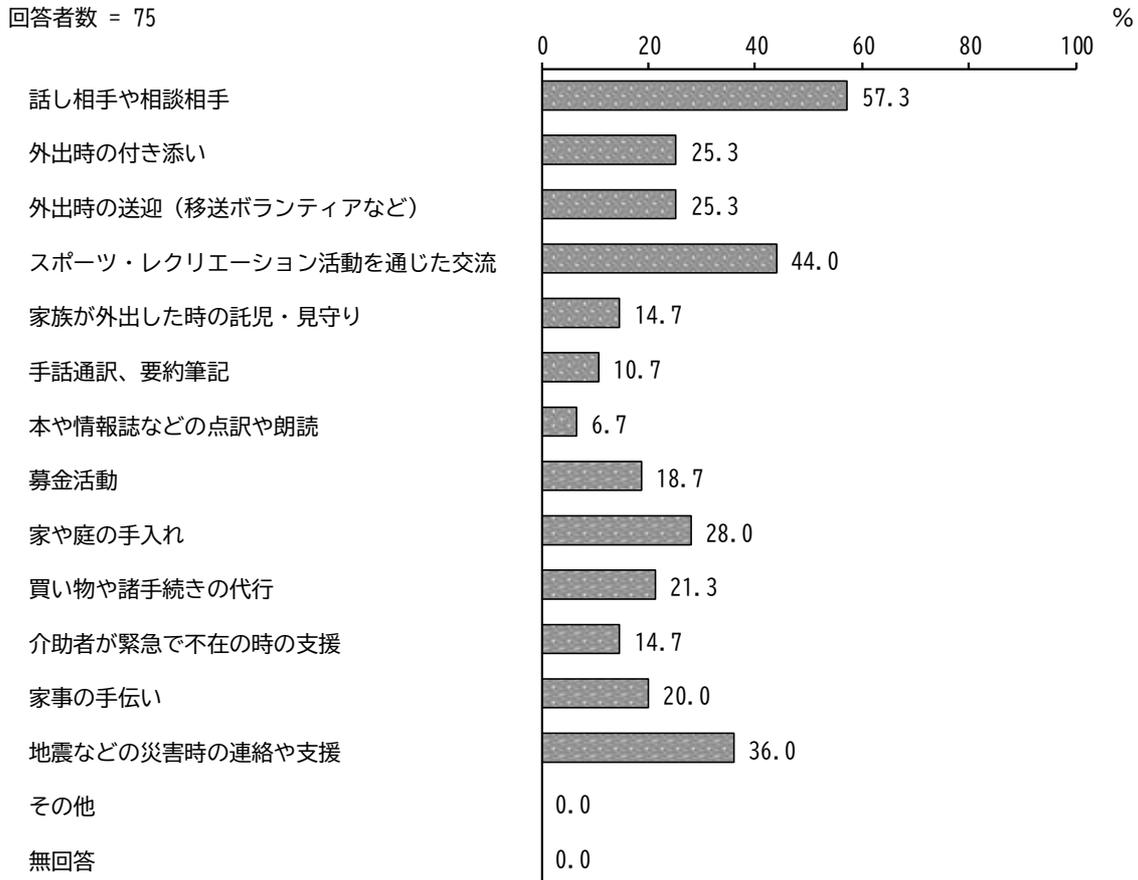
■ 障害のある方に関わるボランティアへの参加意向[単数回答]



② 参加したい（している）ボランティア

障害のある方に関わるボランティアの参加意向で、「参加したい（現在、参加している）」と回答した方の参加したい（している）ボランティアをみると、「話し相手や相談相手」の割合が57.3%と最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流」の割合が44.0%、「地震などの災害時の連絡や支援」の割合が36.0%となっています。

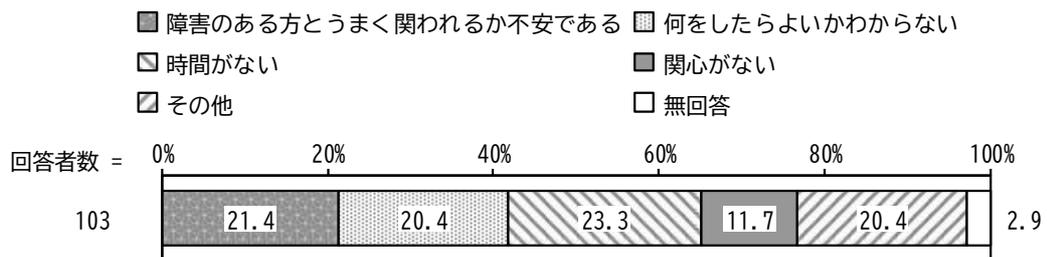
■ 参加したい（している）ボランティア[複数回答]



③ 参加したくない理由

障害のある方に関わるボランティアの参加意向で、「参加したくない」と回答した方の理由をみると、「時間がない」の割合が23.3%と最も高く、次いで「障害のある方とうまく関わられるか不安である」の割合が21.4%、「何をしたらよいかわからない」の割合が20.4%となっています。

■ 参加したくない理由[単数回答]



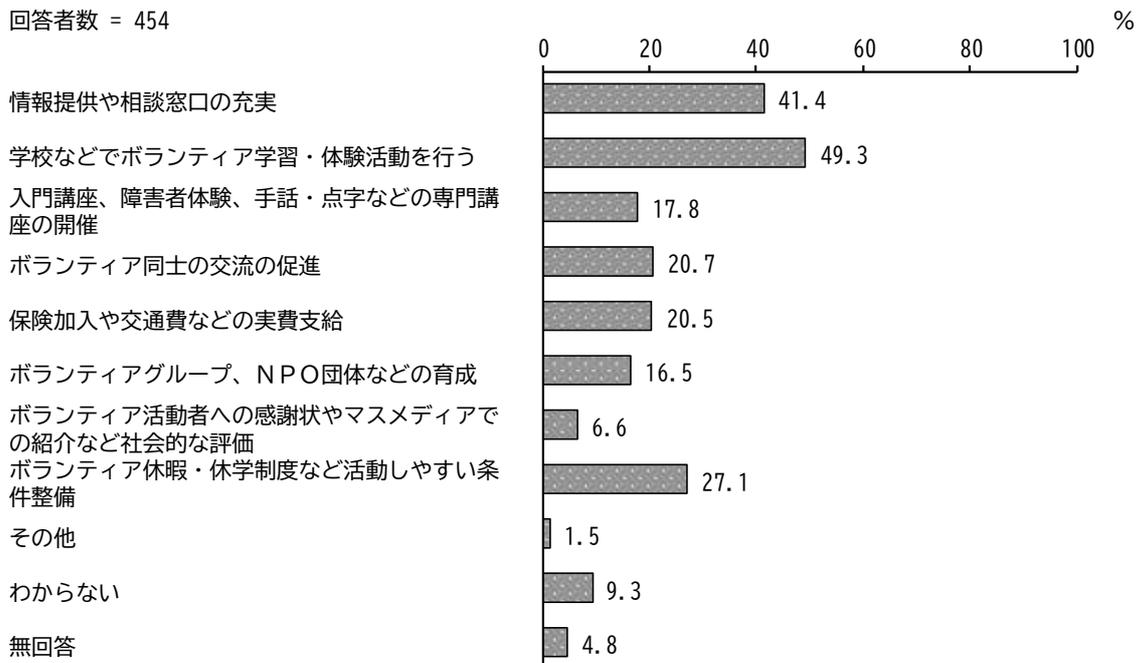
(4) 障害のある方に関わるボランティアを活発化するために必要なこと

障害のある方に関わるボランティアを活発化するために必要なことをみると、「学校などでボランティア学習・体験活動を行う」の割合が49.3%と最も高く、次いで「情報提供や相談窓口の充実」の割合が41.4%、「ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備」の割合が27.1%となっています。

■ 障害のある方に関わるボランティアを活発化させるために必要なこと

[複数回答(3つまで)]

回答者数 = 454

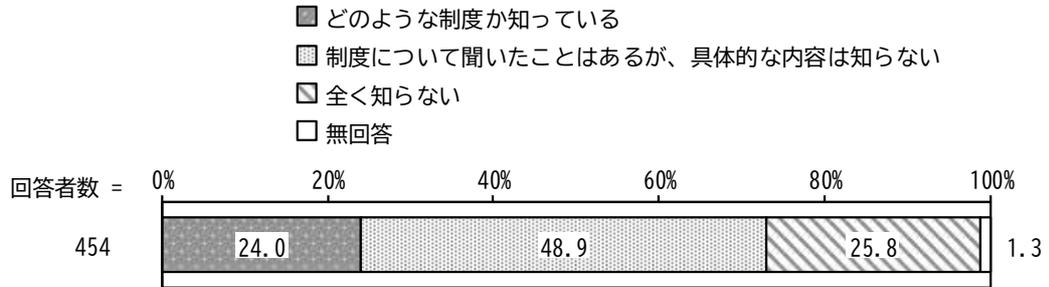


8 障害のある方の権利擁護について

(1) 成年後見制度の認知度

成年後見制度の認知度について、「どのような制度か知っている」の割合が24.0%、「制度について聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない」の割合が48.9%、「全く知らない」の割合が25.8%となっています。

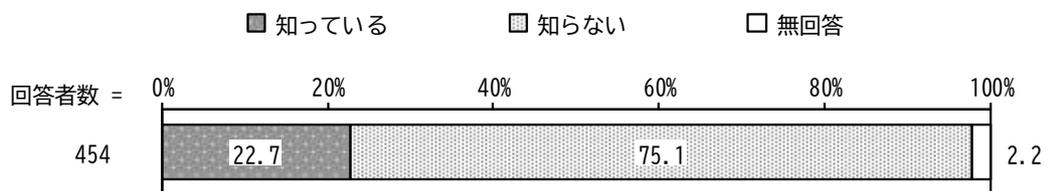
■ 成年後見制度の認知度[単数回答]



(2) 障害者虐待についての通報義務について

障害者虐待についての通報義務について、「知っている」の割合が22.7%、「知らない」の割合が75.1%となっています。

■ 障害者虐待についての通報義務について[単数回答]



IV 自由記載意見

1 自由記載意見

(1) 受けた差別やいやな思いの具体的な内容

① 障害のある市民（身体障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

② 障害のある市民（知的障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

③ 障害のある市民（精神障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

④ 障害のある市民（障害児）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

(2) 障害者施策に関するご意見・要望等

① 障害のある市民（身体障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。

整理中

② 障害のある市民（知的障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

③ 障害のある市民（精神障害）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

④ 障害のある市民（障害児）

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。

整理中

⑤ 障害のない市民

※自由記載意見は、主だった意見を抜粋しており、誤字脱字も含めて修正せずに記載しています。



整理中

V 資料編

1 アンケート調査票（障害のある市民-身体障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
 富山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
 同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの障害者手帳をお持ちの方々はこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力ください。よろしくお願いいたします。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることはありません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分かりにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
- このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などごまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問に進んでください。

<調査票の返信について>

○ご記入いただいた調査票は、**回封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日**

【月曜日】までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
 F A X 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。（○は1つだけ）

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他（ ）

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。（令和7年11月1日現在）

満（ ）歳

問3 あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

（ ）人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。（○は1つだけ）

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。（○は1つだけ）

1. 本人または家族の持ち家
 （マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
 3. 公営住宅 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設 6. その他（ ）

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。

（○は1つだけ）

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8へ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1へ
 3. わからない/決められない ⇒ 問8へ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。（○は1つだけ）

1. 本人または家族の持ち家
 （マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
 3. 公営住宅 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設 6. その他（ ）

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く
2. 5年以内
3. 10年以内
4. 特に考えていない

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

1. 同居者（家族等）と折り合いが悪いから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 家族に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活（食事・入浴・排せつなど）の支援が必要だから
9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職（支援員・看護師等）が身近にいと安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
17. その他（ ）

問8 あなたの主な介助者（支援者）は、どなたですか。(○は1つだけ)

1. 父または母
2. 夫または妻
3. 子どもやその配偶者
4. その他の家族
5. 各種ヘルパー
6. 施設・病院の職員
7. その他（ ）
8. 介助を受けていない⇒ 問9ハ

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】

問8-1 介助されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問8-2 あなたが主な介助者（支援者）から介助（支援）を受けられなるときはどのようなか。(○は1つだけ)

1. 同居している他の家族や親戚に頼む
2. 別居している他の家族や親戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護師に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他（ ）
10. ひとりりでなんとかする

問9 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありませんか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問9-1ハ
2. ない ⇒ 問10ハ
3. わからない ⇒ 問10ハ

【問9で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問9-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望した学校に入学できなかった
2. 希望する仕事に就けなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった
7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が退院を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された
12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 食堂やホテルなどで利用を断られた
14. 医療機関から受診や治療を断られた
15. その他（ ）

あなたの障害の状況について

問10 あなたがお持ちの手帳の種類と等級について、該当する番号1つに○をつけてください。

※ただし、障害が重複している方は、主な障がいをもつ選んで○をつけてください。

①視覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
②聴覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 持っていない			
③音声機能・言語機能・そしやく機能障害	1. 3級	2. 4級	3. 持っていない	
④肢体不自由(上肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑤肢体不自由(下肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑥肢体不自由(体幹)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
⑦内部障害(①～⑥以外)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 持っていない		
⑧持っていない、わからない				

問11 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1	2. 区分2	3. 区分3	4. 区分4
5. 区分5	6. 区分6	7. 受けていない	8. わからない

問12 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 強度行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等を受けることが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問13 あなたは何により生活費を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就労(給料・自営業)	2. 家賃などの不動産収入	3. 同居家族による扶養
4. 仕送り	5. 障害年金	6. 障害年金以外の年金
7. 特別障害者手当	8. 生活保護	9. その他()

就労について

問14 仕事や通学の状況は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている(就労継続支援・作業所を含む)	⇒ 問14-1ハ
2. 仕事はしていない	⇒ 問14-5ハ
3. 通学・職業訓練中	⇒ 問15ハ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤(正規の職員・社員)	2. 自営業(家の仕事)
3. パート、臨時雇用(派遣社員含む)	4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職	6. その他()

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 一般募集	2. 学校(卒業時)からの紹介
3. 知人等からの紹介	4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者就業・生活支援センターからの紹介	6. その他()

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満	2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満	4. 5年以上

問14-4 仕事のことなどで悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事がむずかしい	2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない	
4. 職場までの通勤が大変	5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない	
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない	
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある	
9. 障害がない人と比べて給料が安い	10. その他()
11. 特に困っていることや悩みはない	

⇒ 問15ハ

【問14で「2. 仕事はしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 働く所がないため
2. 通勤が困難なため
3. 自分に合った仕事がないため
4. 高齢のため
5. 病気のため
6. 重度の障害のため
7. 家事に専念しているため
8. その他 ()

⇒ 問15へ

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

問16 障害福祉サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業所の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者同士がお互いに安心して安心してサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他 ()
12. 特にない

問17 音声や言語に障害のある人となない人の意思疎通を図るために派遣する手話通訳者あるいは要約筆記者の利用状況と希望を教えてください。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない

問18 外出時における移動の介護などのお手伝いをする同行援護または移動支援事業の利用状況と希望を教えてください。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない

外出について

問19 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 年に数回
6. ほとんど外出していない

問20 あなたが外出する際に、よく利用する移動手段は何ですか。(○は1つだけ)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 電車
4. バス
5. タクシー
6. 自家用車(乗せてもらう)
7. 自家用車(自分で運転)
8. 施設・事業所の車
9. その他 ()

問21 外出するうえで困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 電車・バスなどの便が悪い
2. バス・電車などが容易に利用できるよう改良されていない
3. 乗り物や公共施設の案内表示がわかりにくい
4. 道路や駅に段差や階段、障害物が多い
5. 出入口や階段、トイレなど建物が容易に利用できるよう改良されていない
6. 車などに危険を感じる
7. まわりが気にかかる
8. 介助してくれる人がいない
9. 人と話すのがむずかしい
10. ほとんど外出しないのでわからない
11. その他 ()
12. 特にない

災害時について

問22 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。(あてはまるもの2つまで○)

1. 避難所までの避難方法
2. 避難するタイミング
3. 避難所での生活
4. 家屋の倒壊や家具などの転倒
5. 災害情報が分からないこと
6. その他 ()

問23 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の準備などしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難経路も含め避難場所を確認している
2. 地域の人に助けを頼んである
3. 非常持出品(水食料、常備薬、医薬品など)を準備してある
4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
6. 杖や車いすなどの福祉用具
7. その他()
8. 特に何もしていない

問24 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、日頃からその情報を地域の方に提供し、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です。

1. どのような制度が知っているが登録していない ⇒ 問24-1ハ
2. 既に登録している ⇒ 問25ハ
3. 全く知らない ⇒ 問25ハ

【問24で「1. どのような制度が知っているが登録していない。」に○をつけた方におたずねします。】

問24-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 支援を必要としていない
2. 個人情報や地域の人に知られるのが嫌だ
3. 登録したいが地域で頼れる人がいない
4. その他()

医療について

問25 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 薬の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他()
12. 特に困っていることはない

相談先について

問26 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 身体障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいかわからない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問27 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問28 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問29 障害や疾病などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。(1つに○)

1. すでに利用している ⇒ 問30ハ
2. どのような制度か知っており、今後、制度を利用したい ⇒ 問30ハ
3. どのような制度か知っているが、今後、制度を利用する予定はない ⇒ 問29-1ハ
4. どのような制度か知らない ⇒ 問30ハ

【問29で「3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない」に○を
つけた方おたずねします。】

問29-1. 利用しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 利用方法がわからない | 2. 相談先がわからない |
| 3. 制度の利用に不安があるから | 4. 親族や自分でなんとかしたい |
| 5. 必要としないため | 6. その他 () |

情報入手等について

問30 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 市の広報 | 2. 市のガイドブック |
| 3. 新聞・雑誌 | 4. テレビ・ラジオ |
| 5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど) | 6. 家族や友人 |
| 7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など | 8. 障害福祉関係事業所・施設 |
| 9. 学校・職場 | 10. 病院などの医療機関 |
| 11. 障害者団体 | 12. 障害者就業・生活支援センター |
| 13. その他 () | 14. 福祉に関する情報を得たことがない |
| 15. 福祉に関する情報を必要としない | |

問31 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 案内表示がわかりにくい |
| 2. 音声情報や文字情報が少ない |
| 3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない |
| 4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない |
| 5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない |
| 6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手 |
| 7. うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう |
| 8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける |
| 9. 読むことが難しくかったり、複雑な文章表現がわかりにくい |
| 10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい |
| 11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない |
| 12. その他 () |
| 13. 特に困ることはない |

福祉施策について

問32 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい |
| 2. 外出 (買物、映画など) の支援をしてほしい |
| 3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい |
| 4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい |
| 5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい |
| 6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい |
| 7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい |
| 8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい |
| 9. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい |
| 10. 外出しやすい環境や交通機関の利用を図ってほしい |
| 11. グループホームを整備してほしい |
| 12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい |
| 13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい |
| 14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい |
| 15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい |
| 16. その他 () |
| 17. 特にない |

問33 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

--

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入もれがないかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、
12月15日 (月曜日) までに、お近くのポストに投函してください。

2 アンケート調査票（障害のある市民-知的障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。高山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの療育手帳をお持ちの方々にこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名で回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決まいません。

令和7年11月

高山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分からにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
- このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、()内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。
- <調査票の返信について>
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日（月曜日）までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

高山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満 () 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅 4. グループホーム
5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8へ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1へ
3. わからない/決められない ⇒ 問8へ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む） 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
3. 公営住宅 4. グループホーム
5. 福祉入所施設 6. その他 ()

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く 2. 5年以内
3. 10年以内 4. 特に考えていない

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなですか。(〇は3つ)

1. 同居者(家族等)と折り合いが悪いから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 病状に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活(食卓・入浴・排せつなど)の支障が必発だから
9. 災害時や緊急時に支障を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職(介護員・看護師等)が身近にいると安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所での生活したいから
17. その他()

問8 あなたの主な介護者(支援者)は、どなたですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|--------------|---------|-------------|---------|
| 1. 父または母 | ⇒ 問8-1ハ | 2. 夫または妻 | ⇒ 問8-1ハ |
| 3. 子どもやその配偶者 | ⇒ 問9ハ | 4. その他の家族 | ⇒ 問9ハ |
| 5. 各種ヘルパー | ⇒ 問9ハ | 6. 施設・病院の職員 | ⇒ 問9ハ |
| 7. その他() | ⇒ 問9ハ | | |
| 8. 介護は受けていない | ⇒ 問9ハ | | |

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に〇をつけた方におたずねします。】
問8-1 介護されている方は何歳代ですか。(〇は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問8-2 あなたが主な介護者(支援者)から介助(支援)を受けられないときはどうしますか。(〇は1つだけ)

1. 同居している他の家族や親戚に頼む
2. 別居している他の家族や親戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護士に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他()
10. ひとりですることとする

あなたの障害の状況について

問9 あなたがお持ちの手の種類の種類についてお答えください。

- | | | |
|------|------|------|
| 療育手帳 | 1. A | 2. B |
|------|------|------|

問10 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4
5. 区分5
6. 区分6
7. 受けていない
8. わからない

問11 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 強硬行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の身体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、経液吸引等を要することが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問12 あなたは何により生活費を得ていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 就労(給料・自営業)
2. 家賃などの不動産収入
3. 同居家族による扶養
4. 仕送り
5. 障害年金
6. 障害年金以外の年金
7. 特別障害者手当
8. 生活保護
9. その他

問13 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありますか。(〇は1つだけ)

1. ある ⇒ 問13-1ハ
2. ない ⇒ 問14ハ
3. わからない ⇒ 問14ハ

【問13で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(○はいくつでも)

1. 希望した学校に入學できなかった
2. 希望する任事に就職できなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、関心を知らされなかった
7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が退院を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された
12. 貸食物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 貸室やホテルなどで利用を断られた
14. 図解欄から受診や治療を断られた
15. その他()

就労・昼間の活動の場について

問14 仕事や通学の状況は次のどれに当てはまりますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている (就労継続支援・作業所を含む) 問14-1ハ
2. 仕事をしていない 問14-5ハ
3. 通学・職業訓練中 (学生を含む) 問14-6ハ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤 (正職)の職員・社員
2. 自営業 (家の仕事)
3. パート、臨時雇用 (派遣社員含む)
4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職
6. その他 ()

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 一般募集
2. 学校 (卒業時)からの紹介
3. 知人等からの紹介
4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者就業・生活支援センターからの紹介
6. その他 ()

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上

問14-4 仕事のことや悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事が好きでない
2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない
4. 職場までの通勤が大変
5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある
9. 障害がない人と比べて給料が安い
10. その他 ()
11. 特に困っていることや悩みはない

⇒ 問15ハ

【問14で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 働く所がないため
2. 通勤が困難なため
3. 自分に合った仕事がないため
4. 高齢のため
5. 病気のため
6. 重症の障害のため
7. 家事に専念しているため
8. その他

⇒ 問15ハ

【問14で「3. 通学・職業訓練中 (学生を含む)」に○をつけた方におたずねします。】

問14-6 平日の昼間はどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

なお、「4. 自宅にいる」に○をつける方はその理由もあわせてお答えください。

1. 高等学校に通っている (特別支援学校を含む)
2. 大学・専門学校・高等技術専門学校 (職業訓練校)に通っている
3. 障害福祉サービス事業所等に通所・入所している
4. 自宅にいる (理由:)
5. その他 ()

問14-7 活動している場について困っていることや不満はありますか。(〇は1つだけ)

1. 施設や学校での理解や配慮が足りない
2. 施設や学校での人間関係が難しい
3. 通うのが大変である
4. その他 ()
5. 特に困っていることや不満などはない

問14-8 学校・施設に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 相談体制を充実させてほしい
2. 能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい
3. 施設・設備・設備・教材等を充実してほしい
4. 医療的ケア(導尿・経管栄養・痰の吸引など)が受けられるようにしてほしい
5. 障害特性の理解と支援
6. その他 ()
7. 特に望むことはない

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(〇は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

問16 障害福祉サービスについて、あなたが改善してほしい(こうなってほしい)と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業所の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者同士が互いに安心してサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他 ()
12. 特にない

問17 外出時における移動の介護などのお手伝いをする行動支援または移動支援事業の採用状況と希望を教えてください。(〇は1つだけ)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはないが、今後利用しない

問18 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(〇は1つだけ)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 月に数回
6. ほとんど外出していない

成年後見制度について

問19 障害や疾病などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。また、利用したいですか。(1つに〇)

1. すでに利用している ⇒問20へ
2. どのような制度が知っており、今後、制度を利用したい ⇒問20へ
3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない ⇒問19へ
4. どのような制度が知らない ⇒問20へ

【問19で「3. どのような制度が知っているが、今後、制度を利用する予定はない」に〇をつけた方におたずねします。】

問19-1. 利用しない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利用方法がわからない
2. 相談先がわからない
3. 制度の利用に不安があるから
4. 親族や自分でなんとかしたい
5. 必要としないため
6. その他 ()

災害時について

問20 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。(あてはまるもの2つまで〇)

1. 避難前までの避難方法
2. 避難するタイミング
3. 避難先での生活
4. 家族の健康や家具などの転倒
5. 災害情報がわからないこと
6. その他 ()

問21 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の準備などしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 避難経路も含め避難場所を確認している
2. 地域の人に助けを頼んである
3. 非常持ち出し品(水、食料、常備薬、医薬品など)を準備してある
4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している
6. 杖や車いすなどの福祉用具
7. その他()
8. 特に何もしてない

問22 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、自身からその情報を地域の芳に提供し、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です

1. どのような制度か知っているが登録していない ⇒ 問22-1A
2. 既に登録している ⇒ 問23A
3. 全く知らない ⇒ 問23B

【問22で「1. どのような制度か知っているが登録していない」に○をつけた方におたずねします。】

- 問22-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
1. 支援を必要としていない
 2. 個人情報や地域の人に知られるのが嫌だ
 3. 登録したいが地域で頼める人がいない
 4. その他()

医療について

問23 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならぬ
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 歯の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他()
12. 特に困っていることはない

相談先について

問24 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 知的障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障壁のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいか分からない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問25 障害者に対する不当な差別取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。

あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前も知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問26 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。

あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前も知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

しよほうじゆうにゆうしゆどう
情報入手等について

問27 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど)
6. 家族や友人
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他 ()
14. 福祉に関する情報を得たことがない
15. 福祉に関する情報を必要としていない

問28 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手
7. うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話しかける
9. 聞くことが難しかったり、複雑な文章がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他 ()
13. 特に困ることはない

ふくししじやく
福祉施策について

問29 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいこととはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出 (買い物、映画など) の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に通じた設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい、障害や交通機関の利便を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他 ()
17. 特にない

問30 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
記入もれがないかも一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、
12月15日 (月曜日) までに お近くのポストに投函してください。

3 アンケート調査票（障害のある市民-精神障害）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
 富山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
 同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方々はこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会の実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決まっています。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- 質問の意味が分かりにくい場合は、ご家族や支援者（施設職員など）と一緒に考えてご回答ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方や、日頃からご本人の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。その際は、ご本人の意思を尊重してご回答ください。
- このアンケート調査は無作為に抽出しましたので、点字を使用しておられる方や読み書きの不自由な方はご家族などまわりの方に代筆していただくか、障害福祉課までご連絡ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日（月曜日）までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。**

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
 FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満 () 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 配偶者（夫、妻）がいますか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない

問6 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む）
 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
 3. 公営住宅
 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設
 6. その他 ()

問7 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問8へ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問7-1へ
 3. わからない/決められない ⇒ 問8へ

【問7で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家（マンションを含む）
 2. 借家（マンションを含む）・民間アパート
 3. 公営住宅
 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設
 6. その他 ()

問7-2 問7-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

1. できるだけ早く
2. 5年以内
3. 10年以内
4. 特に考えていない

問7-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

1. 同居者(家族等)と折り合いが悪いから
2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
3. 家族に負担をかけたくないから
4. 近隣との関係に不安があるから
5. 今の地域では孤立感があるから
6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
7. 一人で暮らすのが不安だから
8. 日常生活(食事・入浴・排せつなど)の支援が必要だから
9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
14. 専門職(支援員・看護師等)が身近にいると安心だから
15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
17. その他()

問8 あなたの主な介助者(支援者)は、どなたですか。(○は1つだけ)

1. 父または母
 2. 夫または妻
 3. 子どもやその配偶者
 4. その他の家族
 5. 各種ヘルパー
 6. 施設・病院の職員
 7. その他()
 8. 介助は受けていない
- ⇒ 問8-1ハ ⇒ 問8-1ハ
⇒ 問9ハ ⇒ 問9ハ

【問8で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】
問8-1 介助されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳代以上

問8-2 あなたが主な介助者(支援者)から介助(支援)を受けられないときはどうしますか。(○は1つだけ)

1. 同居している他の家族や親戚に頼む
2. 別居している他の家族や親戚に頼む
3. 近所の人や知人に頼む
4. ボランティアに頼む
5. ホームヘルパーに依頼する
6. ガイドヘルパーに依頼する
7. 訪問看護師に依頼する
8. 施設や病院などに依頼する
9. その他()
10. ひとりですることとする

あなたの障害の状況について

問9 あなたがお持ちの手帳の等級についてお答えください。

- | | | | |
|-------------|-------|-------|-------|
| 精神障害者保健福祉手帳 | 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 |
|-------------|-------|-------|-------|

問10 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 区分1
2. 区分2
3. 区分3
4. 区分4
5. 区分5
6. 区分6
7. 受けていない
8. わからない

問11 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 強行行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア(日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等を受けることが不可欠)を必要としている
5. いずれにも該当しない

問12 あなたは何により生活費を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就労(給料・自営業)
2. 家賃などの不動産収入
3. 同居家族による扶養
4. 仕送り
5. 障害年金
6. 障害年金以外の年金
7. 特別障害者手当
8. 生活保護
9. その他()

問13 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありませんか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問13-1ハ
2. ない ⇒ 問14ハ
3. わからない ⇒ 問14ハ

【問13で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問13-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望した学校に入学できなかった
2. 希望する仕事に就けなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 親族や施設の人から暴力による虐待を受けた
7. 親族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が施設を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金引き出されるなど、自分の財産が侵害された
12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 食堂やホテルなどで利用を断られた
14. 医療機関から受診や治療を断られた
15. その他()

就労について

問14 仕事や通学の状況は次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしている (就労継続支援・作業所を含む) ⇒ 問14-1へ
2. 仕事をしていない ⇒ 問14-5へ
3. 通学・職業訓練中 ⇒ 問15へ

【問14で「1. 仕事をしている」に○をつけた方におたずねします。】

問14-1 あなたは、現在、どのような形で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 常勤 (正規の職員・社員)
2. 自営業 (家の仕事)
3. パート、臨時雇用 (派遣社員含む)
4. 就労継続支援、作業所等
5. 内職
6. その他()

問14-2 現在の仕事はどのようにして見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 一般募集
2. 学校 (卒業時) からの紹介
3. 知人等からの紹介
4. 障害者職業センターからの紹介
5. 障害者就業・生活支援センターからの紹介
6. その他()

問14-3 現在の仕事に従事している期間はどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上

問14-4 仕事のことや悩んでいることや困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事がおもしろくない
2. 休みが少ない
3. 障害について理解や支援が得られない
4. 職場までの通勤が大変
5. 通勤の費用がかかる
6. 職場の建物や机などの設備が障害のある人に合っていない
7. 職場でのコミュニケーションがうまくとれない
8. 障害がない人と比べて仕事の内容や昇進などに差がある
9. 障害がない人と比べて給料が安い
10. その他()
11. 特に困っていることや悩みはない

⇒ 問15へ

【問14で「2. 仕事をしていない」に○をつけた方におたずねします。】

問14-5 働いていない理由は次のどれですか。(あてはまるもの3つまで○)

1. 働く所がないため
2. 通勤が困難なため
3. 自分に合った仕事がないため
4. 高齢のため
5. 病気のため
6. 重度の障害のため
7. 家事に専念しているため
8. その他()

⇒ 問15へ

福祉サービスについて

問15 現在障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

医療について

問23 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通院するときに付き添いをしてくれる人がいない
2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない
3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない
4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない
5. ちょっとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない
6. いくつもの病院に通わなければならない
7. 気軽に往診を頼める医師がいない
8. 薬の治療を受けられない
9. 医療費の負担が大きい
10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置
11. その他 ()
12. とくに困っていることはない

問24 あなたが初めて精神科（神経科・神経内科・心療内科等）で診療を受けたのは何歳頃ですか。

() 歳頃

問25 あなたの病名は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 統合失調症
2. うつ病エピソード
3. 双極性感情障害
4. 広汎性発達障害
5. アルツハイマー病型認知症
6. てんかん
7. 多動性障害
8. 他の不安障害
9. 知らない
10. 答えたくない
11. その他 ()

問26 あなたは現在、精神科（神経科・神経内科・心療内科等）で治療を受けていますか。(○は1つだけ)

1. 通院中
2. 入院中
3. 治療は受けていない

問27 あなたはこれまでに精神科（神経科・神経内科・心療内科等）に入院されたことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問27-1へ
2. ない ⇒ 問28へ

【問27で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問27-1 入院の回数は通算何回くらいですか。(○は1つだけ)

1. 1回
2. 2～5回
3. 6～10回
4. 11～20回
5. 21回以上

問27-2 入院の期間は通算するとどれくらいですか。(○は1つだけ)

1. 3か月未満
2. 3か月以上6か月未満
3. 6か月以上1年未満
4. 1年以上5年未満
5. 5年以上10年未満
6. 10年以上

相談先について

問28 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 民生委員・児童委員
2. 身体(知的)障害者相談員
3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター)
4. 障害者就業・生活支援センター
5. 相談支援事業所
6. まちなか総合ケアセンター
7. 市役所の相談窓口
8. 保健所・保健福祉センター
9. 医療機関・主治医
10. 社会福祉協議会
11. ケアマネジャー・ホームヘルパー
12. 障害のある人の団体・グループ
13. 家族・友人・知人
14. 公共職業安定所(ハローワーク)
15. 地域包括支援センター
16. その他 ()
17. 相談する機関がない
18. どこへ相談に行ったらよいかわからない
19. 誰もいない

障害に関する法律について

問29 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

問30 雇用の分野における障害者に対する差別的禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

情報入手等について

問31 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット (市の公式ホームページや公式LINEなど)
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他 ()
14. 福祉に関する情報を得たことがない
15. 福祉に関する情報を必要としない

問32 あなたは、情報入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web (ホームページ) が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問い合わせ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すが苦手
7. うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける
9. 読むことが難しかったり、複雑な文章表現がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他 ()
13. 特に困ることはない

福祉施策について

問33 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出 (買物、映画など) の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に適した設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい環境や交通機関の利用を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他 ()
17. 特になし

問34 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
記入もれがないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手は不要) に入れて、**12月15日 (月曜日) までに** お近くのポストに投函してください。

4 アンケート調査票（障害のある市民-障害児）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をたまわり、厚くお礼を申し上げます。
 高山市では、障害のある方々の生活全般の向上をめざして、「障害者計画」を策定します。
 同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。

このため市内にお住まいの身体障害者福祉手帳及び療育手帳をお持ちの方々はこの調査票を送らせていただきます。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーがもれることは決してございません。

令和7年11月

高山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- このアンケートは、お子様の保護者の方が、封筒の宛名のお子様についてご回答ください。保護者が回答できない場合は、ご家族の方や、日頃からお子様の状況をよく理解されている支援者（施設職員など）による代筆も可能です。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問にすすんでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、**回封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、**12月15日【月曜日】まで**にポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

高山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
 FAX 076-443-2143

回答者について

問1 このアンケートにご記入いただいたのはどなたですか。(○は1つだけ)

1. 本人 2. 親 3. その他の家族 4. その他 ()

あなた（宛名の方）の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。(令和7年11月1日現在)

満()歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問4 あなたの世帯は何人家族ですか。

() 人家族

問5 現在の住まいは、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む)
 2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
 3. 公営住宅
 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設
 6. その他 ()

問6 あなたは、今後の暮らしについて、どのような住まいを希望されていますか。(○は1つだけ)

1. 現在と同じ場所 ⇒ 問7ハ 2. 現在と違う場所 ⇒ 問6-1ハ
 3. わからない/決められない ⇒ 問7ハ

【問6で「2. 現在と違う場所」に○をつけた方におたずねします。】

問6-1 どこで生活したいですか。(○は1つだけ)

1. 本人または家族の持ち家 (マンションを含む)
 2. 借家 (マンションを含む)・民間アパート
 3. 公営住宅
 4. グループホーム
 5. 福祉入所施設
 6. その他 ()

問6-2 問6-1で○をつけた住まいについて、いつ頃までに移行を希望されていますか。(○は1つだけ)

- 1. できるだけ早く
- 2. 5年以内
- 3. 10年以内
- 4. 特にかえていない

問6-3 現在と違う場所で生活したい理由はなにか。(○は3つ)

- 1. 同居者(家族等)と折り合いが悪いから
- 2. 家族の高齢化や介護力の低下が心配だから
- 3. 家族に負担をかけたくないから
- 4. 近隣との関係に不安があるから
- 5. 今の地域では孤立感があるから
- 6. より安心して過ごせる地域で暮らしたいから
- 7. 一人で暮らすのが不安だから
- 8. 日常生活(食事・入浴・排せつなど)の支援が必要だから
- 9. 災害時や緊急時に支援を受けたいから
- 10. 今後の身体能力や健康に不安があるから
- 11. 医療的ケアが必要になる可能性があるから
- 12. 経済的に自宅での生活が維持しにくいから
- 13. 公的支援や制度を活用できる施設・住まいの方が安心だから
- 14. 専門職(支援員・看護師等)が身近にいると安心だから
- 15. 仲間や同じ立場の人がいる場で過ごしたいから
- 16. 趣味や余暇活動の機会がある場所で生活したいから
- 17. その他()

問7 あなたの主な介護者(支援者)は、どなたですか。(○は1つだけ)

- 1. 父または母 ⇒ 問7-1ハ
- 2. 夫または妻 ⇒ 問7-1ハ
- 3. 子どもやその配偶者 ⇒ 問7-1ハ
- 4. その他の家族 ⇒ 問7-1ハ
- 5. 各種ヘルパー ⇒ 問8ハ
- 6. 施設・病院の職員 ⇒ 問8ハ
- 7. その他() ⇒ 問8ハ
- 8. 介護を受けていない ⇒ 問8ハ

【問7で「1. 父または母」～「4. その他の家族」に○をつけた方におたずねします。】

問7-1 介護されている方は何歳代ですか。(○は1つだけ)

- 1. 20歳未満
- 2. 20歳代
- 3. 30歳代
- 4. 40歳代
- 5. 50歳代
- 6. 60歳代
- 7. 70歳代
- 8. 80歳代以上

問7-2 あなたが主な介護者(支援者)から介助(支援)を受けられないときはどうしますか。(○は1つだけ)

- 1. 同居している他の家族や親戚に頼む
- 2. 別居している他の家族や親戚に頼む
- 3. 近所の人や知人に頼む
- 4. ボランティアに頼む
- 5. ホームヘルパーに依頼する
- 6. ガイドヘルパーに依頼する
- 7. 訪問看護師に依頼する
- 8. 施設や病院などに依頼する
- 9. その他()
- 10. ひとりでなんとかする

あなたの障害の状況について

問8 あなたがお持ちの手の種類と等級について、該当する番号1つに○をつけてください。
 ※ただし、障害が重複している方は、主な障がいを1つ選んで○をつけてください。

また、身体障害者手帳と療育手帳両方をお持ちの方は、両方に○をつけてください。

①視覚障害	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
②聴覚障害	1. 2級	2. 3級	3. 4級	4. 6級
	5. 持っていない			
③音声機能・言語機能・そしゃく機能障害	1. 3級	2. 4級	3. 持っていない	
④肢体不自由(上肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑤肢体不自由(下肢)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 7級	8. 持っていない
⑥肢体不自由(体幹)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 6級	7. 持っていない	
⑦内部障害(①～⑥以外)	1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 4級
	5. 5級	6. 持っていない		
⑧持っていない、わからない				
療育手帳	1. A		2. B	

問9 あなたは障害者総合支援法による障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- 1. 区分1
- 2. 区分2
- 3. 区分3
- 4. 区分4
- 5. 区分5
- 6. 区分6
- 7. 受けていない
- 8. わからない

問10 以下の選択肢のうち、あなたの心身の状態に該当するものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 強硬行動障害
2. 高次脳機能障害
3. 重症心身障害 (重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態)
4. 医療的ケア (日常生活を営むにあたって恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引等を受けることが不可欠) を必要としている
5. いずれにも該当しない

問11 あなたはこれまでに、障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことはありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問11-1ハ 2. ない ⇒ 問12ハ 3. わからない ⇒ 問12ハ

【問11で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。】

問11-1 差別を受けたり、いやな思いをしたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 希望した学校に入学できなかった
2. 希望する仕事に就けなかった
3. 職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い
4. 障害を理由に退職を迫られた
5. 電車や施設の利用を断られた
6. 親族の冠婚葬祭への出席を断られた、開催を知らされなかった
7. 家族や施設の人から暴力による虐待を受けた
8. 家族が退院を許可しなかった
9. 家族が治療・受診させなかった
10. 周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた
11. 知らない間に預金引き出されるなど、障害を理由に断られた
12. 賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた
13. 食堂やホテルなどで利用を断られた
14. 医療機関から受診や治療を断られた
15. その他()

就学等の状況や将来について

問12 就学の状況や将来についておたずねします。現在の通園・通学先 (在宅訪問教育も含む) は次のうちどれですか (○は1つだけ)

なお、「4. 小学校・小学部」～「6. 高等学校・高等部」に○を付けた方は【】の中もあわせてお答えください。

1. 幼稚園
2. 保育園 (認可外保育施設・小規模保育施設・事業所内保育施設等を含む)・認定こども園
3. 児童発達支援施設
4. 小学校・小学部 ⇒ 【1. 通常の学級 2. 特別支援学級 3. 特別支援学校】
5. 中学校・中学部 ⇒ 【1. 通常の学級 2. 特別支援学級 3. 特別支援学校】
6. 高等学校・高等部 ⇒ 【1. 通常の学級 2. 特別支援学級】
7. 専門学校・専修学校・各種学校
8. 職業訓練校
9. 仕事をしている (就労施設・作業所を含む)
10. 小学校入学前のため、自宅にいる
11. その他 ()

問13 通園・通学などで特に困っていることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通うのに付き添いが必要
2. 授業についていけない・よくわからない
3. 設備などが障害のある児童に配慮されていない
4. 学校内・園内での介助が十分でない
5. 友だちができない
6. 先生の配慮や生徒たちの理解が得られない
7. 「特別支援学級」に入れてもらえない
8. 「通常の学級」に入れてもらえない
9. 教科指導が十分に受けられない
10. 寄宿舎が利用しにくい
11. その他 ()
12. 特にない

問14 幼稚園・保育園・学校・施設に望むことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談体制を充実させてほしい
2. 能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい
3. 施設・設備・教材等を充実してほしい
4. 通常学級への受け入れを進めてほしい
5. 周囲の子ども達の理解を深めるような交流の機会を増やしてほしい
6. 医療的ケア（導尿・経管栄養・療の吸引など）が受けられるようにしてほしい
7. 療育指導（理学療法・言語や聴覚指導など）が受けられるようにしてほしい
8. 通称を増やしてほしい
9. 通常学校での支援の促進
10. 通常学級での教員・職員の加配
11. 障害特性の理解と支援
12. 障害を理由としたいじめや不登校などの対応
13. 特別支援教育支援員やコーディネーターの増員
14. その他 ()
15. 特に望むことはない

問15 あなたは、将来（未成年の方は教育課程が修了した後）どのようにしたいですか。
(○は1つだけ)

1. 社員（契約社員を含む）や従業員として働きたい
2. パート・アルバイトとして働きたい
3. 生活介護などの介護を受けられる施設に通いたい
4. 就労移行支援や就労継続支援などの就労するための訓練などを行う施設に通いたい
5. 専門の知識や技術を学ぶための学校・専門学校などに通いたい
6. 家事の手伝いをしたい
7. 自宅でできる仕事をしたい
8. 働きたくない
9. その他 ()
10. わからない

福祉サービスについて

問16 現在障害福祉サービスを利用していますか。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 利用していない
3. わからない

問17 障害福祉サービスについて、あなたが改善してほしい（こうなってほしい）と思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用できる回数や日数を増やす
2. 利用したいサービスを受けやすくする
3. 現在、利用しているサービスをもっと受けやすくする
4. サービス利用の手続きをわかりやすく簡単にする
5. 利用できる事業所の数を増やす
6. 通学・通所・通院するための送迎や交通手段を整える
7. サービス利用料を安くする
8. サービスの質をよくする
9. サービスについての情報提供を増やす
10. 利用者同士がお互いに安心してサービスを利用しやすい環境をつくる
11. その他 ()
12. 特になし

問18 外出時における移動の介護などのお手伝いをする行動援護または移動支援事業の利用状況と希望を教えてください。(○は1つだけ)

1. 利用している
2. 今は利用していないが、利用したことはある
3. 利用したことはないが、今後利用したい
4. 利用したことはなく、今後も利用しない

問19 あなたは過去1年間にどれくらい外出しましたか。(○は1つだけ)

1. ほぼ毎日
2. 週3～4回
3. 週1～2回
4. 月1～2回
5. 年に数回
6. ほとんど外出していない

成年後見制度について

問20 障害や疾病などにより判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」に関心がありますか。また、将来的に利用したいですか。(○は1つだけ)

1. 関心があり、今後、制度を利用したい
2. 関心があるが、今後、制度を利用する予定はない
3. 関心がない
4. どのような制度か知らない

災害時について

問21 災害が起こった時に、不安であったり、困ることは何ですか。

(あてはまるもの2つまで○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 避難所までの避難方法 | 2. 避難するタイミング |
| 3. 避難所での生活 | 4. 家屋の倒壊や家具などの転倒 |
| 5. 災害情報が分からないこと | 6. その他 () |

問22 災害が起こった時に備え、避難場所等の確認や備蓄物資の準備などしていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 避難経路も含め避難場所を確認している。 | 2. 地域の人に助けを頼んである |
| 3. 非常持出し品(水食料、常備薬、医薬品など)を準備してある | |
| 4. 1～2日ほど生活できる水や食料などを備蓄している | |
| 5. 3～7日ほど生活できる水や食料などを備蓄している | |
| 6. 杖や車いすなどの福祉用具 | |
| 7. その他 () | |
| 8. 特に何もしていない | |

問23 避難行動要支援者支援制度(※)をご存じですか。(○は1つだけ)

※地域における支援を希望される方を登録し、日頃からその情報を地域の方に提供し、災害時の安否確認や避難誘導等に役立てる制度です。

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. どのような制度か知っているが登録していない | ⇒ 問23-1ハ |
| 2. 既に登録している | ⇒ 問24ハ |
| 3. 全く知らない | ⇒ 問24ヘ |

【問23で「1. どのような制度か知っているが登録していない。」に○をつけた方におたずねします。】

問23-1 この制度へ登録されない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. 支援を必要としていない | 2. 個人情報や地域の人に知られるのが嫌だ。 |
| 3. 登録したいが地域で頼れる人がいない | 4. その他 () |

医療について

問24 医療のことで、なにか困っていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1. 通院するとき付き添いをしてくれる人がいない | |
| 2. 医師・看護師などに病気の症状が正しく伝えられない | |
| 3. 医師・看護師などの指示などがよくわからない | |
| 4. 専門的な治療をしてくれる病院が近くにない | |
| 5. ちよつとした病気やケガのときに受け入れてくれる病院が近くにない | |
| 6. いくつもの病院に通わなければならない | |
| 7. 気軽に往診を頼める医師がいない | |
| 8. 薬の治療を受けられない | |
| 9. 医療費の負担が大きいの | |
| 10. 家庭・学校・会社等における日常的な医療処置 | |
| 11. その他 () | |
| 12. とくに困っていることはない | |

相談先について

問25 医療・福祉サービスや就労などについて誰に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 民生委員・児童委員 | 2. 身体(知的)障害者相談員 |
| 3. 障害者福祉プラザ(基幹相談支援センター) | 4. 障害者就業・生活支援センター |
| 5. 相談支援事業所 | 6. まちなか総合ケアセンター |
| 7. 市役所の相談窓口 | 8. 保健所・保健福祉センター |
| 9. 医療機関・主治医 | 10. ケアマネジャー・ホームヘルパー |
| 11. 社会福祉協議会 | 12. 障害のある人の団体・グループ |
| 13. 家族・友人・知人 | 14. 公共職業安定所(ハローワーク) |
| 15. 地域包括支援センター | 16. その他 () |
| 17. 相談する機関がない | 18. どこへ相談に行ったらよいかわからない |
| 19. 誰もいない | |

障害に関する法律について

問26 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成28年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている |
| 2. 名前は知っているが、どのような法律かは知らない |
| 3. まったく知らない |

問27 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くにあたっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加え等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が令和6年4月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も知っているし、どのような法律かも知っている
2. 名前を知っているが、どのような法律かは知らない
3. まったく知らない

情報入手等について

問28 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市の広報
2. 市のガイドブック
3. 新聞・雑誌
4. テレビ・ラジオ
5. インターネット（市の公式ホームページや公式LINEなど）
6. 家族や友人
7. 市役所・保健福祉センター・保健所・児童相談所など
8. 障害福祉関係事業所・施設
9. 学校・職場
10. 病院などの医療機関
11. 障害者団体
12. 障害者就業・生活支援センター
13. その他（ ）
14. 福祉に関する情報を得たことがない
15. 福祉に関する情報を必要としていない

問29 あなたは、情報を入力したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 案内表示がわかりにくい
2. 音声情報や文字情報が少ない
3. パソコン・タブレット等の使い方がわからない
4. Web（ホームページ）が音声読み上げソフトや拡大ソフトに対応していない
5. 問合せ先の情報にFAX番号やメールアドレスの記載がない
6. 相手と直接顔を合わせて話すのが苦手
7. うまく話や質問ができない、自分の思いを伝えることを控えてしまう
8. 相手が自分ではなく介助者ばかりに話かける
9. 読むことが難しくかったり、複雑な文章表現がわかりにくい
10. 難しい言葉や早口で話されるとわかりにくい
11. 状況判断が困難なので、説明されても相手の意思や情報を正しく把握できない
12. その他（ ）
13. 特に困ることはない

福祉施策について

問30 あなたが、暮らしやすくなるために、特にしてほしいことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 毎日の生活の手助けがもっとほしい
2. 外出（買物、映画など）の支援をしてほしい
3. ごみ集積場へのごみ出しを支援してほしい
4. 障害のある人に対するまわりの人の理解を深めてほしい
5. 障害のある人の働ける一般企業が少ないので、働ける所を増やしてほしい
6. 一般企業で働くことができるよう、訓練する場所や支援を増やしてほしい
7. 一般企業で働くことが難しいので、就労施設、作業所を増やしてほしい
8. リハビリ訓練の場所を増やしてほしい
9. 障害に達した設備を持った住宅を用意してほしい
10. 外出しやすい環境や交通機関の利便を図ってほしい
11. グループホームを整備してほしい
12. いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい
13. 年金などの経済的な援助を増やしてほしい
14. スポーツ・レクリエーション・教育・文化活動に対する援助をしてほしい
15. 今ある制度をもっとわかりやすく紹介してほしい
16. その他（ ）
17. 特にない

問31 ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。
記入もれがないかも一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、**12月15日（月曜日）までに** お近くのポストに投函してください。

5 アンケート調査票（障害のない市民）

障害福祉に関するアンケート調査

ご協力をお願い

皆様には、日頃から福祉行政の推進にご協力をお願い、厚くお礼を申し上げます。
 富山市では、障害のある方々の生活全般の向上を目指して、「障害者計画」を策定します。同時に、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく「障害福祉計画・障害児福祉計画」も策定します。
 このため市内に住所を有する方の中から無作為に抽出してこの調査票を送らせていただきました。お忙しいところお手数をおかけしますが、安心して暮らせる福祉社会実現のための基礎資料として活用させていただきますので、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答いただき、結果の集計、分析は統計的に行いますので、個人のプライバシーが漏れることは決まてございません。

令和7年11月

富山市長 藤井 裕久

<ご記入について>

- この調査票は、あて名のご本人がお答えください。
- 鉛筆またはボールペンでご記入ください。
- 質問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、() 内に具体的に書いてください。
- 令和7年11月1日現在の内容でご記入ください。
- 答えたくない質問は無回答のまま、次の質問に進んでください。

<調査票の返信について>

- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒（切手不要）**に入れ、**12月15日（月曜日）**までにポストへ投函していただきますようお願いいたします。

<本調査についてのお問い合わせ先>

富山市 福祉保健部 障害福祉課 電話 076-443-2254（直通）
 FAX 076-443-2143

あなたのことについておたずねします

問1 あなたの年齢、性別（自認する性別でも可）についておたずねします。

(1) 年齢	満()歳(令和7年11月1日現在)
(2) 性別	1. 男性 2. 女性 3. その他

あなたのお住まいの地域についておたずねします

問2 富山市には、何年住んでいますか（合併前の旧町村の年数も含む）。○は1つだけ

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20年以上	

問3 あなたのお住まいの地域では、日頃住民同士が交流できる機会がありますか。

（○は1つだけ）

1. 多くある	2. 多少ある	3. あまりない	4. まったくない
---------	---------	----------	-----------

問4 日常生活をうるうえで、地域で助け合うことを意識した場合、あなたの考える地域とはどの範囲ですか。（○は1つだけ）

1. 隣近所	2. 町内会	3. 小学校区
4. 中学校区	5. 旧市町村域	6. 富山市全域
7. その他()	8. わからない	

問10 あなたは、障害を理由とした差別を見たことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問10-1へ
 2. ない ⇒ 問11へ
 3. わからない ⇒ 問11へ

【問10において「1. ある」を選んだ方におたずねします。】

問10-1 その差別は、どのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 周囲からの視線、態度、言葉 2. 交通機関利用時の周囲の態度
 3. 仕事での待遇の差 4. 窓口での応対
 5. 学校、職場でのいじめ 6. その他 ()

問11 あなたは、社会全体として障害のある方への理解は深まってきていると思いますか。(それぞれ○は1つだけ)

	深まって きた	少し 深まって きた	あまり 深まって いない	深まって いない	わからない
身体障害者への理解	1	2	3	4	5
知的障害者への理解	1	2	3	4	5
精神障害者への理解	1	2	3	4	5
発達障害者への理解	1	2	3	4	5
高次脳機能障害者への理解	1	2	3	4	5
強度行動障害者への理解	1	2	3	4	5

問12 あなたは、障害のある方に対する理解を深めるために、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの時から障害のある方との交流の機会を増やす
 2. イベント・スポーツ・レクリエーション・文化活動などを通して障害のある方と市民の交流の機会をもつ
 3. 障害者施設や地域住民への開放や地域住民との交流の機会の促進
 4. 学校教育の中で障害に対する理解を深める
 5. 障害に関する講演会や学習会の開催
 6. テレビ・新聞などを活用した広報活動の充実
 7. 障害者団体の活動をPRする
 8. 障害のある方の地域活動への参加の機会の促進
 9. 障害のある方に対するボランティア活動を育成・支援する
 10. その他 ()
 11. わからない
 12. 特にない

障害のある方との関わりについておたずねします

問13 あなたは身近に障害のある方がいますか(いましたか)。また、それは、どのようなところで関わりましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自分自身または家族など 2. 自分の職場
 3. 仕事関係(自分の職場以外) 4. 近所、町内会
 5. 学校 6. 趣味などの活動
 7. よく利用するお店 8. その他 ()
 9. わからない 10. 身近にいないし、いたことはない

問14 あなたは、障害のある方の相談相手になったり、手助けをした経験がありますか。(○は1つだけ)

1. ある ⇒ 問14-1へ 2. ない ⇒ 問14-2へ

【問14において「1. ある」を選んだ方におたずねします。】

問14-1 それほどのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 安否確認の声かけ | 2. ちよっとした買い物やごみ出し |
| 3. 食事を作ったり、掃除や洗濯の手伝い | 4. 通院の送迎や外出の手助け |
| 5. 子どもの預かり | 6. 話し相手や相談相手 |
| 7. 具合がよくない時に、病院などに連絡 | 8. 電車・バスでの席のゆずりあり |
| 9. その他 () | |

⇒ 問15へ

【問14において「2. ない」を選んだ方におたずねします。】

問14-2 そのようなことがないのは、なぜですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. そのような機会がなかったから |
| 2. 「おせっかい」になるような気がしたから |
| 3. 障害のある方とのコミュニケーションの方法がわからなかったから |
| 4. 専門家や関係者に任せられた方がよいと思ったから |
| 5. 自分が何を求められているかわからなかったから |
| 6. 関わるのが面倒だったから |
| 7. 自分にとって負担になると思ったから |
| 8. その他 () |

問15 あなたは、将来において自分や家族が、障害のある状態になることがあり得ると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 十分あり得ると思う | 2. ある程度はあり得ると思う |
| 3. あまりあり得ないと思う | 4. ほとんどあり得ないと思う |
| 5. 現在自分や家族に障害がある | 6. わからない |

問16 あなたは、街の中で何が困っている障害のある方に出会ったら、どのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う | 3. ほかの人が何か手伝えれば自分も手伝う |
| 2. 声をかけられたら手伝う | 4. 手伝いたい気持ちはあるが勇気がない |
| 5. 責任が持たないので関わらないようにする | 6. 相手の態度による |
| 7. 声をかけられぬように逃げてしまう | 8. その時になってみないとわからない |
| 9. その他 () | |

問17 あなたのご近所で、障害のために困っている世帯があったら、どのような対応をとると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 積極的にお手伝いする |
| 2. できる限りお手伝いする |
| 3. 支援を求められた時はお手伝いする |
| 4. 特に何もしない |
| 5. その他 () |
| 6. よくわからない |

障害のある方の社会参加についておたずねします

問18 あなたのお住まいの地域で開催される行事やイベントなどに、障害のある方は参加していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. よく見かける | 2. 時々見かける |
| 3. あまり見かけない | 4. まったく見かけない |
| 5. 地域の行事やイベントに参加しないのでわからない | |

問19 障害のある方の社会参加の機会を広げるために、あなた自身にできると思われることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 困っているような場面を見かけたら、一声かけて自分のできる手伝いをする |
| 2. 障害者専用駐車場に駐車しない、点字ブロックの上に物を置かないなど、障害のある方のための施設や設備の利用を妨げないようにする |
| 3. 仕事や地域活動をするうえで、障害のある方のことも考えてみる |
| 4. 障害のある方に関するボランティア活動に参加する |
| 5. 簡単な挨拶ができて話せる手話などのコミュニケーション方法を身につける |
| 6. 障害疑似体験（アイマスクや車いすを使っての体験）などに参加してみる |
| 7. 病气や障害のことについて理解を深める |
| 8. その他 () |
| 9. わからない |
| 10. 特にならない |

問20 障害のある方が、地域や社会に積極的に参加できるようにするために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 障害のある方への理解を深める
2. 障害のある方が参加できる機会をつくる
3. 障害のある方が使いやすい施設をつくる
4. ボランティアの育成を図る
5. 移動困難な障害のある方に配慮した交通機関、道路・歩道の整備
6. 地域住民が障害のある方を受け入れられるよう、広報や福祉教育を充実する
7. 障害のある方が働ける場を増やす
8. 障害のある方ご本人や家族が社会参加に対して積極性をもつ
9. その他 ()
10. わからない

障害のある方の地域生活についておたずねします

問21 現在あなたがお住まいの地域は、障害のある方にとって住みやすい地域だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 住みやすい } ⇒ 問22へ
2. やや住みやすい
3. やや住みにくい } ⇒ 問21-1へ
4. 住みにくい
5. わからない } ⇒ 問22へ

【問21において「3. やや住みにくい」または「4. 住みにくい」を選んだ方におたずねします。】

問21-1 住みにくいと思う理由は何ですか。(〇は2つまで)

1. 地域住民の理解が少ない
2. 道路や歩道などの整備が遅れている
3. バリアフリー化された住宅が少ない
4. 障害のある方が利用できる施設が少ない
5. ボランティアなどマンパワーが少ない
6. その他 ()

問22 あなたは、障害のある方が、長期に入所（入院）していた施設（病院）を退所（退院）して、あなたのお住まいの地域のグループホームやアパート・借家などを利用し生活する「地域移行」についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

1. 大いに賛成 } ⇒ 問22-1へ
2. 賛成
3. どちらかという反対 } ⇒ 問22-2へ
4. 反対
5. わからない } ⇒ 問23へ

【問22において「1. 大いに賛成」または「2. 賛成」を選んだ方におたずねします。】

問22-1 「地域移行」を進めるには、どのような基盤が必要だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 地域住民の理解と協力
2. 行政機関の支援
3. 医師など専門家の支援
4. ボランティアの支援
5. 町内会や地区社協など地域団体の協力
6. その他 ()

【問22において「3. どちらかという反対」または「4. 反対」を選んだ方におたずねします。】

問22-2 その理由は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 近隣トラブルが増えるのではないかな不安
 2. 地域の治安や安全が悪化しないかな不安
 3. いろいろな方がいるので一概にいえない
 4. 騒音やマナーの面で心配
 5. 地域の行事や活動に参加しにくくなるのではないかな不安
 6. 専門的な支援や対応が十分にあるかな不安
 7. 緊急時やトラブルが起きたときに対応できるかな不安
 8. その他 ()
 9. 特にない
- ⇒ 問23へ

ボランティアについておたずねします

問23 あなたは、「ボランティア」に関心がありますか。(〇は1つだけ)

1. 大変関心がある
2. 関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない

問24 あなたは、障害のある方に関わるボランティア活動に参加していますか（したことがありますか）。（○は1つだけ）

1. 参加している（参加したことがある） 2. 参加したことがない

問25 あなたは、今後障害のある方と関わるボランティア活動へ参加したいと思いませんか。（○は1つだけ）

1. 参加したい（現在、参加している） ⇒ 問25-1へ
 2. 参加したくない ⇒ 問25-2へ
 3. わからない ⇒ 問26へ

【問25において「1. 参加したい（現在、参加している）」を選んだ方におたずねします。】
 問25-1 あなたが、障害のある方に関わるボランティア活動で、今後参加したいと思う（あるいは、現在参加している）ものはどれですか。
 （あてはまるものすべてに○）

1. 話し相手や相談相手
 2. 外出時の付き添い
 3. 外出時の送迎（移送ボランティアなど）
 4. スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流
 5. 家族が外出した時の託児・見守り
 6. 手話通訳、要約筆記
 7. 本や情報誌などの点訳や朗読
 8. 募金活動
 9. 家や庭の手入れ
 10. 買い物や諸手続きの代行
 11. 介助者が緊急で不在の時の支援
 12. 家事の手伝い
 13. 地震などの災害時の連絡や支援
 14. その他（ ）
- ⇒ 問26へ

【問25において「2. 参加したくない」を選んだ方におたずねします。】

問25-2 その理由は何ですか。（○は1つだけ）

1. 障害のある方とうまく関われるか不安である
 2. 何をしたらよいかわからない
 3. 時間がない
 4. 関心がない
 5. その他（ ）
- ⇒ 問26へ

問26 障害のある方に関わるボランティア活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

1. 情報提供や相談窓口の充実
 2. 学校などでボランティア学習・体験活動を行う
 3. 入門講座、障害者体験、手話・点字などの専門講座の開催
 4. ボランティア同士の交流の促進
 5. 保険加入や交通費などの実費支給
 6. ボランティアアクトグループ、NPO団体などの育成
 7. ボランティア活動者への感謝状やマスメディアでの紹介など社会的な評価
 8. ボランティア休暇・休学制度など活動しやすい条件整備
 9. その他（ ）
 10. わからない

障害のある方の権利擁護についておたずねします

問27 障害や疾病などにより判断能力が十分でない方の権利を守る「成年後見制度」を知っていますか。（○は1つだけ）

1. どのような制度か知っている
 2. 制度について聞いたことはあるが、具体的な内容は知らない
 3. 全く知らない

問28 障害者虐待防止法では、家族、施設の職員、雇用主から障害者が虐待を受けていることに気づいた人は、市の窓口に通報することが義務付けられています。高山市の通報窓口は、障害福祉課の「障害者虐待相談窓口」です。あなたは、「障害者虐待に気づいた人の通報義務」について知っていますか。（どちらかに○）

1. 知っている 2. 知らない

問29 障害者施策に関するご意見、ご要望などがあれば、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

記入欄がないかももう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
12月15日（月曜日）までに お近くのポストに投函してください。

富山市障害福祉に関するアンケート調査報告書

発行年月：令和8年3月

発行者：富山県 富山市役所 福祉保健部 障害福祉課

発行者：〒930-8510

富山県富山市新桜町7番38号

TEL 076-443-2056

FAX 076-443-2143

URL <https://www.city.toyama.toyama.jp/>